

令和4年度

事務事業評価シート（建設経済部）

- ・ 建設課 1頁～31頁
- ・ 都市計画課 32頁～51頁
- ・ 商工観光課 52頁～82頁
- ・ 農林課 83頁～113頁
- ・ 茶業振興課 114頁～119頁

菊川市

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業																			
R4	事業名	市単独河川改修補助事業										事業成果	事業課題												
	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																							
	政策	1 防災力を高めるまちづくり																							
	施策	1 災害に強いまちをつくります																							
総合計画	体系・概要	事業の目的				事業の概要				事業成果				事業課題											
		災害に強いまちをつくるため、市単独河川改修補助事業により、自治会や土木区が施工する河川排水路工事費を補助することで、被害を未然防止し、市民の生活環境の向上を図る。				地元申請を基にして河川排水路の整備工事へ計画的に助成を行う。				生活関連排水路として市民生活に必要な4箇所(うち4箇所)で事業完了)で事業を実施し、生活環境向上を図った。 ・林昌寺線(下半済)、治郎前深田線(白岩下)、川西線(川上区)、西平尾4号排水路(西平尾)				生活関連排水路について修繕が必要な箇所は増加している。											
事業コスト分析	決算(円)	款 項 目		事業番号		事業名称										各評価結果				総合判定評価					
		8	3	3	200000	市単独河川改修補助事業費										事業コスト評価		指標評価		事業内容評価		A 計画どおりに事業を進めることが 適当			
		R3年度		R4年度		前年増減		前年比		財源内訳		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		R6年度の方向性			
		3,362,000		2,908,000		△ 454,000		86.5%		0		0		0		0		0		2,908,000		コスト 維持→ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方			
		事業費割合(事業費/施策費)				R2年度		R3年度		R4年度		事業費内訳				A 成果		評価視点		評価内容		R6年度の方向性			
		項目		R2年度		R3年度		R4年度		節		決算額		節		決算額		1 B		効率性		4:高い		A 現状維持	
		予算額		3,573,000		3,362,000		2,908,000		01 報酬		0		16 公有財産購入費		0		2		有効性		4:高い		計画の進捗と成果に 近い状態⇔「計画通り」	
		決算額		3,573,000		3,362,000		2,740,000		02 給料		0		17 備品購入費		0		1		必要性		4:高い		R6年度の方向性	
		不用額		0		0		168,000		03 職員手当等		0		18 負担金、補助及び交付金		2,740,000		効		人件費				改善	
		執行率		100.0%		100.0%		94.2%		04 共済費		0		19 扶助費		0		率						①事業の進め方	
CHECK評価	決算(円)	国庫支出金		0		0		0		04 共済費		0		19 扶助費		0		4箇所の事業を完了し、河川環境の整備・保全が図れた。 地元申請を基にして生活関連排水路の補助事業を計画的に進めることが必要である。							
		県支出金		0		0		0		05 災害補償費		0		20 貸付金		0		課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性							
		地方債		0		0		0		06 恩給及び退職年金		0		21 補償、補填及び賠償金		0		地元との調整を図り、良好な生活関連排水路の維持につなげていく。							
		その他		0		0		0		07 報償費		0		22 償還金、料子及び割引料		0		A 効果							
		一般財源		3,573,000		3,362,000		2,740,000		08 旅費		0		23 投資及び出資金		0		A 効果							
		前年比較		— —		94.1% B		81.5% A		09 交際費		0		24 積立金		0		A 効果							
		職員人件費		0		82,000		192,000		10 需用費		0		25 寄附金		0		A 効果							
		総事業コスト		3,573,000		3,444,000		2,932,000		11 役務費		0		26 公課費		0		A 効果							
		前年比較		— —		96.4% B		85.1% A		12 委託料		0		27 繰出金		0		A 効果							
		主財源								13 使用料及び賃借料		0		予備費		0		A 効果							
								14 工事請負費		0						A 効果									
								15 原材料費		0		合計		2,740,000		A 効果									
予算の範囲内において、要望内容の審査により適正な事業採択を継続していく。												A 効果				A 効果									
CHECK評価	コスト分析	事業指標・評価										R2年度		R3年度		R4年度		実行計画事業(円)							
		指標名		単位		現状値		目標値		目標値		実績値		目標値		実績値		目標値		実績値		R5年度			
		成果1		箇所		0.0		1.0		0.0		6.0		0.0		5.0		4.0		4.0		R6年度			
		成果2		箇所		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		R5年度比較増減要因			
		効率1		日		0.0		0.0		0.0		18.9		0.0		39.2		0.0		5.8		R7年度増減見込み			
		効率人件費		日		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		R5年度比較増減要因			
		地元施行の河川排水路改修事業に補助金を交付する。												R5年度比較増減要因				R7年度増減見込み							
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明												R5年度比較増減要因				R7年度増減見込み							
		受益者(自治会または土木区)が市内の土木工事を共同で行うことで、地域の生活環境の整備保全が図れるため事業の実施は有効である。												R5年度比較増減要因				R7年度増減見込み							
		R5年度比較増減要因												R7年度増減見込み				R5年度比較増減要因							

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業									
R4	事業名	市単独河川維持整備事業													
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち					事業成果	事業課題							
	政策	1 防災力を高めるまちづくり													
	施策	1 災害に強いまちをつくります													
	事業の目的	災害に強いまちをつくるため、市単独河川維持整備事業により、施設修繕や土砂等の撤去を行い、河川排水路の機能を維持し、浸水被害の防止を図る。		河川排水路の機能を維持するため破損や劣化した施設の修繕及び堆積した土砂などの撤去を行う。											
事業の概要															
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称			CHECK評価						
		8	3	2	300000	市単独河川維持整備事業費									
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		11,834,000		9,916,000		△ 1,918,000	83.8%			0	0	0	0	9,916,000	
		事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度								
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳									
		予算額	10,287,000	11,834,000	9,916,000	節	決算額	節		決算額					
		決算額	10,265,200	11,782,100	9,107,400	01	報酬	0		16	公有財産購入費	0			
		不用額	21,800	51,900	808,600	02	給料	0		17	備品購入費	0			
		執行率	99.8%	99.6%	91.8%	03	職員手当等	0		18	負担金、補助及び交付金	0			
	国庫支出金	0	0	0	04	共済費	0	19	扶助費	0					
	県支出金	0	0	0	05	災害補償費	0	20	貸付金	0					
	地方債	0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0					
	その他	0	0	0	07	報償費	0	22	償還金、料子及び割引料	0					
	一般財源	10,265,200	11,782,100	9,107,400	08	旅費	0	23	投資及び出資金	0					
	前年比較	—	—	114.8%	D	77.3%	A	09	交際費	0	24	積立金	0		
	職員人件費	0	715,000	361,000	10	需用費	1,908,500	25	寄附金	0					
	総事業コスト	10,265,200	12,497,100	9,468,400	11	役務費	0	26	公課費	0					
	前年比較	—	—	121.7%	D	75.8%	A	12	委託料	0	27	繰出金	0		
	主財源			13	使用料及び賃借料	0	予備費	0							
				14	工事請負費	7,183,000									
				15	原材料費	15,900	合計	9,107,400							
	コスト分析	今後、既存施設の維持管理や更新に要する費用の増大が予想されることから、事業の精査及び長期的な視点での事業投資は必要である。あわせて、計画的に事業を実施できるよう財源確保が必要である。													
CHECK評価	指標・実施内容	事業指標・評価													
		指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
		成果1	河川等浚渫箇所	箇所	6.0	6.0	0.0	11.0	0.0	8.0	6.0	14.0			
		成果2	河川排水路維持修繕の発注	件	7.0	7.0	0.0	3.0	0.0	10.0	7.0	5.0			
		効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
		河川排水路の劣化した施設の維持整備及び河川等の浚渫工事を行った。													
		事業実施内容													
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明													
		浸水被害を防止していくためには、適切に河川の維持管理を行う必要がある。良好な状態に保つよう維持・修繕し、もって公共の安全を保持する本事業の実施は妥当である。													
CHECK評価	事業コスト分析	款	項	目	事業番号	事業名称			ACTION改善						
		8	3	2	300000	市単独河川維持整備事業費									
		予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金		地方債	その他	一般財源			
		34,079,000		24,163,000	343.7%		0	0		30,500,000	0	3,579,000			
		R5年度		実施内容		破損した河川排水路施設の修繕や流水を阻害する堆積土砂の浚渫を行う。河床に堆積した土砂の撤去を推進し、適切な河川維持を促進する。(緊急浚渫推進事業)					下期実施内容変更見込み				
		計画額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金		地方債	その他	一般財源			
		60,470,000		26,391,000	177.4%		0	0		0	0	60,470,000			
		R6年度		実施内容		破損した河川排水路施設の修繕や流水を阻害する堆積土砂の浚渫を行う。河床に堆積した土砂の撤去を推進し、適切な河川維持を促進する。(緊急浚渫推進事業)					R5年度比較増減要因				
		R7年度		実施内容							R7年度増減見込み				
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明													
浸水被害を防止していくためには、適切に河川の維持管理を行う必要がある。良好な状態に保つよう維持・修繕し、もって公共の安全を保持する本事業の実施は妥当である。															

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業						
R4	事業名	社会資本整備総合交付金事業防災・安全										
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち										
	政策	1 防災力を高めるまちづくり										
	施策	1 災害に強いまちをつくります										
	事業の目的	災害に強いまちをつくるため、社会資本整備総合交付金事業防災・安全により、道路や道路施設を適切に維持管理することで道路機能を維持し、長寿命化と道路が起因する被害の軽減を図る。		事業の概要 市が管理する道路施設(舗装、道路付属物)について、現状の把握や健全性を判断し措置を講じ長寿命化を進めるとともに、市内道路ネットワークの維持と道路利用者及び第三者被害の防止を図る。								
事業成果	土質調査について、上平川堂山線及び赤土河東線の土質調査を行い、舗装に必要な諸元を調査し補修実施に向けた準備が進捗した。嶺田川上線の舗装補修工事を延べ4,041㎡実施し長寿命化が図られた。											
事業課題	舗装個別施設計画を策定し計画的に補修工事を実施しているが、舗装の劣化が策定計画と乖離が大きくなってきていることから、令和6年度の舗装個別施設計画の見直しに向けて進めていく。											
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称						
		8	2	2	500000	社会資本整備総合交付金事業防災・安全						
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		50,232,000	51,140,000	908,000	101.8%		25,320,000	0	22,700,000	0	3,120,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	25,652,000	50,232,000	51,140,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	25,652,000	50,160,000	51,117,000	01	報酬	0	16	公有財産購入費	0	
		不用額	0	72,000	23,000	02	給料	0	17	備品購入費	0	
		執行率	100.0%	99.9%	100.0%	03	職員手当等	0	18	負担金、補助及び交付金	0	
	国庫支出金	12,800,000	24,841,000	25,320,000	04	共済費	0	19	扶助費	0		
	県支出金	0	0	0	05	災害補償費	0	20	貸付金	0		
	地方債	5,600,000	22,300,000	22,700,000	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0		
	その他	0	0	0	07	報償費	0	22	償還金、料子及び割引料	0		
	一般財源	7,252,000	3,019,000	3,097,000	08	旅費	0	23	投資及び出資金	0		
	前年比較	—	—	41.6% A	102.6% D	09	交際費	0	24	積立金	0	
	職員人件費	0	1,563,000	594,000	10	需用費	0	25	寄附金	0		
	総事業コスト	25,652,000	51,723,000	51,711,000	11	役務費	0	26	公課費	0		
	前年比較	—	—	201.6% D	100.0% B	12	委託料	4,598,000	27	繰出金	0	
	主財源	道路橋梁長寿命化事業社会資本整備総合交付金		25,320,000	13	使用料及び賃借料	0		予備費	0		
		道路橋梁整備事業債		22,700,000	14	工事請負費	46,519,000					
					15	原材料費	0	合計	51,117,000			
	コスト分析	①事業費内の一般財源は、年間70,000千円を上限とし、長期財政計画及び長寿命化計画を策定し、費用の平準化をしているため大きく変動はしない見込みである。 ②交付金の内示に伴い事業費の組替を行うことが予想される。										
指標・実施内容	事業指標・評価	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
		成果1	業務委託の発注	件	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		成果2	舗装補修工事の発注件数	件	1.0	2.0	0.0	1.0	4.0	2.0	2.0	2.0
		効率1	工事の有効率	日	29.0	0.0	0.0	29.0	0.0	6.0	0.0	59.0
		効率	人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		事業実施内容	社会資本整備総合交付金制度を活用し、舗装補修に必要な情報を得るための土質調査、舗装補修を実施しライフラインの長寿命化を図った。 委託料 土質調査(上平川堂山線、赤土河東線) 工事請負費 舗装補修工事(嶺田川上線の各一部)									
		指標評価	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 個別施設計画に基づき現状の健全度を把握し対策を行うことで、道路や道路施設の長寿命化が図られるほか、第三者被害の防止が図られるため事業の実施は妥当である。									
		実施内容	R5年度 ・委託料 土質調査 路面性状調査 舗装修繕計画の見直し ・工事請負費 舗装修繕工事 R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み									
		実施内容	R6年度 ・委託料 土質調査 路面性状調査 舗装修繕計画の見直し ・工事請負費 舗装修繕工事									
	CHECK評価	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称					
		8	2	2	500000	社会資本整備総合交付金事業防災・安全						
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		44,584,000	△ 6,556,000	87.2%		22,187,000	0	19,900,000	0	2,497,000		
		R5年度 実施内容		下期実施内容変更見込み 要求した交付金の内示額に伴う補正が必要である。								
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		69,113,000	24,529,000	155.0%		34,725,000	0	31,200,000	0	3,188,000		
		R6年度 実施内容		R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み								
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 個別施設計画に基づき現状の健全度を把握し対策を行うことで、道路や道路施設の長寿命化が図られるほか、第三者被害の防止が図られるため事業の実施は妥当である。										

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業											
R4	事業名	道路災害防止対策事業															
総合計画	体系・概要	基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち 政策 1 防災力を高めるまちづくり 施策 1 災害に強いまちをつくります															
	事業の目的	災害に強いまちをつくるため、道路災害防止対策事業により、道路法面の対策を行い、通行の安全を確保し、防災機能の向上を図る。		道路法面の対策を行い、道路災害の発生予防を図るとともに、通行の安全を確保する。													
	事業の概要																
	事業成果	市道三堂上川原線(菊川市本所地内)に係る道路の法面災害防止対策に必要な測量設計業務を実施した。															
事業課題	市道三堂上川原線(菊川市本所地内)の法面は切土自然斜面となっているが、局所的に不安定土塊や崩壊跡がみられ、近年頻発している大雨により崩落の危険性がある。																
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称											
		8	2	3	1000000	道路災害防止対策事業											
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
		0		16,117,000		16,117,000			0	0	16,100,000	0	17,000				
		事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度										
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳											
		予算額	0	0	16,117,000	節	決算額	節	決算額								
		決算額	0	0	16,116,100	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0								
		不用額	0	0	900	02 給料	0	17 備品購入費	0								
		執行率			100.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0								
	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0									
	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0									
	地方債	0	0	16,100,000	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0									
	その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0									
	一般財源	0	0	16,100	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0									
	前年比較	—	—		09 交際費	0	24 積立金	0									
	職員人件費	0	0	228,000	10 需用費	0	25 寄附金	0									
	総事業コスト	0	0	16,344,100	11 役務費	177,100	26 公課費	0									
	前年比較	—	—		12 委託料	15,939,000	27 繰出金	0									
	主財源	緊急自然災害防止対策事業債			16,100,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0								
						14 工事請負費	0										
						15 原材料費	0	合計	16,116,100								
	コスト分析	計画的に事業を実施できるよう財源確保が必要である。															
指標・実施内容	事業指標・評価	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値					
		成果1	測量設計業務の発注	件	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0					
					4	0					100.0%	B					
		成果2	道路改良工事の発注	件	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
					4	5											
		効率1	工事の有効率	日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
					4	5											
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
					0	0											
		事業実施内容	災害の発生を予防し、又は災害の拡大を防止することを目的とした道路防災に係る事業を実施する。														
CHECK評価	各評価結果	事業コスト評価										指標評価		事業内容評価		総合判定評価	
	評価分析・総合判定評価	事業コスト	一般財源	D	成果	1	B	評価視点		評価内容		B	事業の進め方の改善の検討				
								効率	1	有効性	4:高い		計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	R6年度の方向性			
														コスト	縮小↓	成果	維持→
	人件費	1	必要性	4:高い	①事業の進め方改善												
	担当評価	市道三堂上川原線(菊川市本所地内)の災害防止対策に対し、測量設計業務を完了するとともに、事業計画へ地元同意が得られた。															
	CHECK評価	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性	市道三堂上川原線(菊川市本所地内)は、地区集会所や小学校に近接しており、多くの市民が利用する道路であることから、利用者の安全性の確保のため、法面の補強改修を実施する。														
		R5年度	実施内容	三堂上川原線(下本所)法面对策事業 ・法面对策工事 ・用地取得及び物件移転補償契約										下期実施内容変更見込み			
			計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
			0	△ 70,820,000	0.0%		0	0	0	0	0						
R6年度		実施内容	三堂上川原線(下本所)法面对策事業 ・法面对策工事										R5年度比較増減要因				
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明												R7年度増減見込み			
緊急自然災害防止対策事業計画(道路防災)に基づき、市道通行の安全を確保し、防災機能の向上を図るため事業の実施は有効である。																	

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業				
R4	事業名	菊川流域治水対策事業								
総合計画	体系・概要	基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち								
	政策	1 防災力を高めるまちづくり								
	施策	1 災害に強いまちをつくります								
	事業の目的	災害に強いまちをつくるため、市単独河川改修整備事業により、排水不良対策などの河川整備を推進し、浸水被害の防止を図る。		事業の概要 菊川水系流域治水プロジェクトに位置付けられた黒沢川流域等の内水被害軽減を図る取組みを推進する。						
事業コスト分析	事業の目的									
	事業成果	防災対策強化事業基本構想を公表し、市南部地域の浸水対策における治水対策を推進した。								
	事業課題	気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化から市民の生命と財産を守るため、防災対策の強化を図ることは、重要かつ喫緊の課題である。 「菊川水系流域治水プロジェクト」により、国や県とともに、流域のあらゆる関係者で協働し、水災害対策を進めていく必要がある。								
	各評価結果	事業コスト評価				総合判定評価				
	評価分析・総合判定評価	指標評価		事業内容評価		B 事業の進め方の改善の検討				
		一般財源	成果	1	評価視点		評価内容			
	決算前年比	総事業コスト	D	2	効率性	4:高い				
	担当評価	R6年度の方向性		R6年度の方向性		R6年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方				
		公共用地等を活用した雨水貯留施設について、黒沢川流域を対象に検討に着手した。								
	CHECK評価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 国の河川整備基本方針の見直しを考慮しつつ、「菊川水系流域治水プロジェクト」により、引き続き国・県・市が協力して治水対策を推進する。							
実行計画事業		事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	
指標・実施内容		成果1		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		効率1		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		効率人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事業実施内容		黒沢川流域の治水対策 ・市立岳洋中学校校庭等への貯留施設の整備 ・棚草川隣接地への雨水貯留施設の建設								
CHECK評価		実施内容	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度	
		実施内容	黒沢川流域等の内水被害軽減のために必要な治水対策の基本設計に基づき、雨水貯留施設の整備を行う。 ・市立岳洋中学校校庭等への貯留施設の整備		黒沢川流域等の内水被害軽減のために必要な治水対策の基本設計に基づき、雨水貯留施設の整備を行う。 ・市立岳洋中学校校庭等への貯留施設の整備		黒沢川流域等の内水被害軽減のために必要な治水対策の基本設計に基づき、雨水貯留施設の整備を行う。 ・市立岳洋中学校校庭等への貯留施設の整備		黒沢川流域等の内水被害軽減のために必要な治水対策の基本設計に基づき、雨水貯留施設の整備を行う。 ・市立岳洋中学校校庭等への貯留施設の整備	
CHECK評価	実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 黒沢川流域の治水対策により防災対策の強化を図り、住宅への浸水軽減や道路の冠水を防止し、災害対策本部から市南部地域への交通を確保することによる迅速な災害対策の実施が可能となる。								
	実施内容	黒沢川流域等の内水被害軽減のために必要な治水対策の基本設計に基づき、雨水貯留施設の整備を行う。 ・市立岳洋中学校校庭等への貯留施設の整備								

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業	○					
R4	事業名	掛川浜岡線バイパス整備事業										
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち						事業成果				
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり							事業課題			
	施策	2 幹線道路や生活道路を整備します										
	事業の目的	幹線道路や生活道路を整備するため、掛川浜岡線バイパス整備事業における県施行の道路事業に対し、「静岡県建設事業等市町負担金徴収条例」に基づき負担支払い事務を的確に行うことで、幹線道路の整備促進を図る。										
事業の概要	静岡県道路改良事業負担金											
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称		CHECK評価				
		8	2	3	400000	県道整備事業費						
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比		財源内訳			
		7,469,000		6,984,000		△ 485,000	93.5%		国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 6,984,000			
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度		R3年度			R4年度			
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	9,015,000	7,469,000	6,984,000	節	決算額		節	決算額		
		決算額	9,015,000	7,469,000	6,984,000	01 報酬	0		16 公有財産購入費	0		
		不用額	0	0	0	02 給料	0		17 備品購入費	0		
		執行率	100.0%	100.0%	100.0%	03 職員手当等	0		18 負担金、補助及び交付金	6,984,000		
CHECK評価	決算内訳	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0			
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0			
		地方債	0	7,000,000	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0			
		その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0			
		一般財源	9,015,000	469,000	6,984,000	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0			
		前年比較	—	—	5.2% A	1489.1% D	09 交際費	0	24 積立金	0		
		職員人件費	0	10,000	331,000	10 需用費	0	25 寄附金	0			
		総事業コスト	9,015,000	7,479,000	7,315,000	11 役務費	0	26 公課費	0			
		前年比較	—	—	83.0% A	97.8% B	12 委託料	0	27 繰出金	0		
		主財源				13 使用料及び賃借料	0	予備費	0			
					14 工事請負費	0						
					15 原材料費	0	合計	6,984,000				
コスト分析	県の事業費が減額となったため、前年度に比べて事業費が減額となった。											
指標・実施内容	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		実施計画事業(円)			
	指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値		目標値	実績値	
	成果1	県が施行する道路改良事業負担金支払い	回	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0		0.0	1.0	
				1	7			100.0%		B		
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	
				0	0							
	効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	
				0	0							
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	
				0	0							
事業実施内容	・菊川市高橋地内において、掛川浜岡線バイパスの道路改良工事を実施した。											
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 掛川浜岡線バイパスは災害時の緊急輸送路であるため、円滑な事業推進と早期の全線開通が待たれる。												
CHECK評価	各評価結果								総合判定評価			
	事業コスト評価		指標評価		事業内容評価				B 事業の進め方の改善の検討			
	一般財源	1489.1%	D	成果	1	評価視点	評価内容					
	総事業コスト	97.8%	B	効率	1	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」				
				人件費		必要性	4:高い					
	R6年度の方向性								コスト 縮小↓ 成果 維持→			
	計画通り県事業が進捗し、負担金の支払いを完了した。								改善 ①事業の進め方			
	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 道路整備にあたり、引き続き県と歩調を合わせて相互に推進していく。											
	CHECK評価	款	項	目	事業番号	事業名称						
		8	2	3	400000	県道整備事業費						
予算額		前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
7,760,000		776,000		111.1%			0	0	0	0	7,760,000	
・掛川浜岡線道路改良に係る負担金								下期実施内容変更見込み	・特になし			
R5年度 実施内容												
計画額		前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,700,000		1,940,000		125.0%			0	0	9,200,000	0	500,000	
・掛川浜岡線道路改良に係る負担金								R5年度比較増減要因	・特になし			
R6年度 実施内容												
・掛川市高橋地内において、掛川浜岡線バイパスの道路改良工事を実施した。								R7年度増減見込み	・特になし			
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 掛川浜岡線バイパスは災害時の緊急輸送路であるため、円滑な事業推進と早期の全線開通が待たれる。												

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業																																																																																																																																	
R4	事業名	市単独市道改良整備事業																																																																																																																																					
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																																																																																																																																					
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり																																																																																																																																					
	施策	2 幹線道路や生活道路を整備します																																																																																																																																					
	事業の目的	幹線道路や生活道路を整備するため、市単独市道改良整備事業により、地元調整や生活道路の整備を進め、市民の日常生活における安全性や利便性の向上を図る。		事業の概要 地元要望などに基づき計画により整備を進めていく。																																																																																																																																			
事業コスト分析	事業成果	市道改良工事として9路線(うち8路線が事業完了)で整備を実施し、安全性や利便性の向上を図った。 ・前岡東谷線(河東)、虚空蔵線(山西)、居沼西田線(沢水加)、池通り松下線(小出)、東富田線(東富田)、横地本線(段横地)、河東線(東河東)、牛淵谷田部線(和田)																																																																																																																																					
	事業課題	生活道路の整備については、用地や物件移転補償等について協力が必要である。																																																																																																																																					
	各評価結果	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト評価</th> <th>指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> </tr> <tr> <td>一般財源 65.8% A</td> <td>成果 1 B</td> <td>評価視点</td> <td>評価内容</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト 72.1% A</td> <td>効率 1</td> <td>効率性</td> <td>4:高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費</td> <td>必要性</td> <td>4:高い</td> </tr> </table>				事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		一般財源 65.8% A	成果 1 B	評価視点	評価内容	総事業コスト 72.1% A	効率 1	効率性	4:高い		人件費	必要性	4:高い	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">総合判定評価</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td colspan="3">計画どおりに事業を進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="4">R6年度の方向性</td> </tr> <tr> <td>コスト</td> <td>維持→</td> <td>成果</td> <td>維持→</td> </tr> <tr> <td>改善</td> <td colspan="3">①事業の進め方</td> </tr> </table>		総合判定評価				A	計画どおりに事業を進めることが適当			R6年度の方向性				コスト	維持→	成果	維持→	改善	①事業の進め方																																																																																														
	事業コスト評価	指標評価	事業内容評価																																																																																																																																				
	一般財源 65.8% A	成果 1 B	評価視点	評価内容																																																																																																																																			
	総事業コスト 72.1% A	効率 1	効率性	4:高い																																																																																																																																			
		人件費	必要性	4:高い																																																																																																																																			
	総合判定評価																																																																																																																																						
	A	計画どおりに事業を進めることが適当																																																																																																																																					
	R6年度の方向性																																																																																																																																						
コスト	維持→	成果	維持→																																																																																																																																				
改善	①事業の進め方																																																																																																																																						
担当評価	事業計画の見直しにより、市道改良工事の発注件数が減となった。その他9路線は、計画通り事業を進捗し、効果が発現された。																																																																																																																																						
加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 地元代表者と調整を密にして、計画的に生活道路の整備を推進していく。																																																																																																																																						
CHECK評価	予算(円)	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>100000</td> <td>市単独市道改良整備事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R3年度</td> <td colspan="2">R4年度</td> <td>前年増減</td> </tr> <tr> <td colspan="2">78,092,000</td> <td colspan="2">56,813,000</td> <td>△ 21,279,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年比</td> <td colspan="2">72.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費割合(事業費/施策費)</td> <td colspan="2">R2年度</td> <td>R3年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">R4年度</td> <td></td> </tr> </table>		款	項	目	事業番号	事業名称	8	2	3	100000	市単独市道改良整備事業費	R3年度		R4年度		前年増減	78,092,000		56,813,000		△ 21,279,000	前年比		72.8%			事業費割合(事業費/施策費)		R2年度		R3年度			R4年度			<table border="1"> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>15,357,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>41,456,000</td> </tr> </table>			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	0	15,357,000	0	0	41,456,000																																																																																				
	款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																																		
	8	2	3	100000	市単独市道改良整備事業費																																																																																																																																		
	R3年度		R4年度		前年増減																																																																																																																																		
	78,092,000		56,813,000		△ 21,279,000																																																																																																																																		
	前年比		72.8%																																																																																																																																				
	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度		R3年度																																																																																																																																		
			R4年度																																																																																																																																				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																		
	0	15,357,000	0	0	41,456,000																																																																																																																																		
決算(円)	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>事業費内訳</th> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>65,896,000</td> <td>78,092,000</td> <td>56,813,000</td> <td>節 決算額</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>65,780,970</td> <td>78,069,374</td> <td>56,631,861</td> <td>01 報酬 0 16 公有財産購入費 0</td> </tr> <tr> <td>不用額</td> <td>115,030</td> <td>22,626</td> <td>181,139</td> <td>02 給料 0 17 備品購入費 0</td> </tr> <tr> <td>執行率</td> <td>99.8%</td> <td>100.0%</td> <td>99.7%</td> <td>03 職員手当等 0 18 負担金、補助及び交付金 0</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>04 共済費 0 19 扶助費 0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>15,357,034</td> <td>15,357,034</td> <td>15,357,034</td> <td>05 災害補償費 0 20 貸付金 0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 1,707,533</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>07 報償費 0 22 償還金、料子及び割引料 0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>50,423,936</td> <td>62,712,340</td> <td>41,274,827</td> <td>08 旅費 0 23 投資及び出資金 0</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>124.4% D</td> <td>65.8% A</td> </tr> <tr> <td>職員人件費</td> <td>0</td> <td>2,493,000</td> <td>1,461,000</td> <td>10 需用費 49,928 25 寄附金 0</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>65,780,970</td> <td>80,562,374</td> <td>58,092,861</td> <td>11 役務費 0 26 公課費 0</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>122.5% D</td> <td>72.1% A</td> </tr> <tr> <td>主財源</td> <td colspan="2">特定発電所周辺地域振興対策交付金</td> <td>15,357,034</td> <td>13 使用料及び賃借料 0 予備費 0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>14 工事請負費 52,828,600</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>15 原材料費 0 合計 56,631,861</td> </tr> </table>		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳	予算額	65,896,000	78,092,000	56,813,000	節 決算額	決算額	65,780,970	78,069,374	56,631,861	01 報酬 0 16 公有財産購入費 0	不用額	115,030	22,626	181,139	02 給料 0 17 備品購入費 0	執行率	99.8%	100.0%	99.7%	03 職員手当等 0 18 負担金、補助及び交付金 0	国庫支出金	0	0	0	04 共済費 0 19 扶助費 0	県支出金	15,357,034	15,357,034	15,357,034	05 災害補償費 0 20 貸付金 0	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 1,707,533	その他	0	0	0	07 報償費 0 22 償還金、料子及び割引料 0	一般財源	50,423,936	62,712,340	41,274,827	08 旅費 0 23 投資及び出資金 0	前年比較	—	—	124.4% D	65.8% A	職員人件費	0	2,493,000	1,461,000	10 需用費 49,928 25 寄附金 0	総事業コスト	65,780,970	80,562,374	58,092,861	11 役務費 0 26 公課費 0	前年比較	—	—	122.5% D	72.1% A	主財源	特定発電所周辺地域振興対策交付金		15,357,034	13 使用料及び賃借料 0 予備費 0					14 工事請負費 52,828,600					15 原材料費 0 合計 56,631,861	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>100000</td> <td>市単独市道改良整備事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td colspan="2">前年増減額</td> <td>前年比</td> </tr> <tr> <td colspan="2">45,386,000</td> <td colspan="2">△ 11,427,000</td> <td>79.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">財源内訳</td> <td colspan="2">国庫支出金</td> <td>県支出金</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">0</td> <td>12,106,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">地方債</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">0</td> <td>2,939,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">一般財源</td> <td>30,341,000</td> </tr> </table>			款	項	目	事業番号	事業名称	8	2	3	100000	市単独市道改良整備事業費	予算額		前年増減額		前年比	45,386,000		△ 11,427,000		79.9%	財源内訳		国庫支出金		県支出金			0		12,106,000			地方債		その他			0		2,939,000			一般財源		30,341,000
項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳																																																																																																																																			
予算額	65,896,000	78,092,000	56,813,000	節 決算額																																																																																																																																			
決算額	65,780,970	78,069,374	56,631,861	01 報酬 0 16 公有財産購入費 0																																																																																																																																			
不用額	115,030	22,626	181,139	02 給料 0 17 備品購入費 0																																																																																																																																			
執行率	99.8%	100.0%	99.7%	03 職員手当等 0 18 負担金、補助及び交付金 0																																																																																																																																			
国庫支出金	0	0	0	04 共済費 0 19 扶助費 0																																																																																																																																			
県支出金	15,357,034	15,357,034	15,357,034	05 災害補償費 0 20 貸付金 0																																																																																																																																			
地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 1,707,533																																																																																																																																			
その他	0	0	0	07 報償費 0 22 償還金、料子及び割引料 0																																																																																																																																			
一般財源	50,423,936	62,712,340	41,274,827	08 旅費 0 23 投資及び出資金 0																																																																																																																																			
前年比較	—	—	124.4% D	65.8% A																																																																																																																																			
職員人件費	0	2,493,000	1,461,000	10 需用費 49,928 25 寄附金 0																																																																																																																																			
総事業コスト	65,780,970	80,562,374	58,092,861	11 役務費 0 26 公課費 0																																																																																																																																			
前年比較	—	—	122.5% D	72.1% A																																																																																																																																			
主財源	特定発電所周辺地域振興対策交付金		15,357,034	13 使用料及び賃借料 0 予備費 0																																																																																																																																			
				14 工事請負費 52,828,600																																																																																																																																			
				15 原材料費 0 合計 56,631,861																																																																																																																																			
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																																			
8	2	3	100000	市単独市道改良整備事業費																																																																																																																																			
予算額		前年増減額		前年比																																																																																																																																			
45,386,000		△ 11,427,000		79.9%																																																																																																																																			
財源内訳		国庫支出金		県支出金																																																																																																																																			
		0		12,106,000																																																																																																																																			
		地方債		その他																																																																																																																																			
		0		2,939,000																																																																																																																																			
		一般財源		30,341,000																																																																																																																																			
コスト分析	今後、既存施設の維持管理や更新に要する費用の増大が予想されることから、事業の精査及び長期的な視点での事業投資は必要である。 あわせて、計画的に事業を実施できるよう財源確保が必要である。																																																																																																																																						
指標・実施内容	事業指標・評価	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業指標・評価</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>成果1</td> <td>市道改良工事の発注</td> <td>件</td> <td>6.0</td> <td>10.0</td> <td>0.0</td> <td>10.0</td> <td>6.0</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td>工事の有効率</td> <td>日</td> <td>1.4</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>1.4</td> <td>0.0</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>効率人件費</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> </table>		事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果1	市道改良工事の発注	件	6.0	10.0	0.0	10.0	6.0	6.0	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	効率1	工事の有効率	日	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	8.5	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<table border="1"> <tr> <th>達成率</th> <th>評価</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>100.0%</td> <td>B</td> <td>90.0%</td> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	100.0%	B	90.0%	B																																																																			
	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度																																																																																																																																
	指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																																																																															
	成果1	市道改良工事の発注	件	6.0	10.0	0.0	10.0	6.0	6.0																																																																																																																														
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																														
	効率1	工事の有効率	日	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	8.5																																																																																																																														
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																														
	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価																																																																																																																																	
	100.0%	B	90.0%	B																																																																																																																																			
	実施内容	生活道路として市民生活に必要な市道整備を実施した。																																																																																																																																					
実施内容	<table border="1"> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>67,353,000</td> <td>21,967,000</td> <td>148.4%</td> <td></td> <td>0</td> <td>15,357,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>51,996,000</td> </tr> </table>					計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	67,353,000	21,967,000	148.4%		0	15,357,000	0	0	51,996,000																																																																																																																
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																															
67,353,000	21,967,000	148.4%		0	15,357,000	0	0	51,996,000																																																																																																																															
実施内容	<table border="1"> <tr> <th>実施内容</th> <th>R5年度比較増減要因</th> </tr> <tr> <td>継続路線の整備を実施する。 地元要望などに基づき新規路線の整備を実施する。</td> <td>R5年度比較増減要因</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R7年度増減見込み</td> </tr> </table>					実施内容	R5年度比較増減要因	継続路線の整備を実施する。 地元要望などに基づき新規路線の整備を実施する。	R5年度比較増減要因		R7年度増減見込み																																																																																																																												
実施内容	R5年度比較増減要因																																																																																																																																						
継続路線の整備を実施する。 地元要望などに基づき新規路線の整備を実施する。	R5年度比較増減要因																																																																																																																																						
	R7年度増減見込み																																																																																																																																						
実施内容	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>生活道路の整備により、市民の日常生活における安定の確保及び向上を図られるため事業の実施は有効である。なお、交通形態は各種事業や開発などにより変化するものであるため、計画的な整備を推進する。</p>																																																																																																																																						

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業				
R4	事業名	市単独市道舗装改良等整備事業								
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり								
	施策	2 幹線道路や生活道路を整備します								
	事業の目的	幹線道路や生活道路を整備するため、市単独市道舗装改良等整備事業により、生活道路の舗装を行い、生活道路の機能や利便性の向上を図る。		事業の概要 地元要望などに基づき計画により生活道路の舗装工事を行う。						
事業コスト分析	事業の目的									
	事業の概要									
	事業内容	生活道路として市民生活に必要な2路線で事業を実施し、生活環境向上を図った。 ・南53号線(赤土下)、秋常鍛冶段線(友田)								
	事業課題	生活道路の未舗装道路は解消されつつあるが、修繕を必要とする路線は増加している。								
	各評価結果	事業コスト評価				総合判定評価				
	事業成果	指標評価		事業内容評価		A 計画どおりに事業を進めることが 適当				
		一般財源	成果	1	B		評価視点	評価内容		
	事業課題	80.2%	A	2		効率性	4:高い	A	現状維持	
		79.5%	A	1		有効性	4:高い		計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	
	事業内容	人件費				必要性	4:高い		R6年度の方向性 コスト 維持→ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方	
担当評価	2路線の事業を完了し、生活道路の舗装整備・保全が図れた。 地元補助申請を基にして生活関連道路の舗装工事を計画的に進める。									
CHECK評価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 生活道路を良好に保つためには道路監視の体制をさらに強化することが望ましい。道路パトロールと連携を図り、良好な道路維持につなげていく。 地元自治会等と調整を図り、計画的に事業を進める。								
	実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称				
	R5年度	8	2	3	200000	市単独市道舗装改良等整備事業費				
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	R6年度	7,015,000	△ 2,566,000	73.2%		0	0	0	351,000	6,664,000
		申請等に基づき生活道路の舗装工事を実施する。 新規路線の舗装工事					下期実施内容変更見込み			
	実施内容	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	R6年度	7,015,000	△ 2,566,000	73.2%		0	0	0	351,000	6,664,000
		申請等に基づき生活道路の舗装工事を実施する。 新規路線の舗装工事					R5年度比較増減要因			
	実施内容	事業指標・評価	R2年度		R3年度		R4年度			
R6年度	指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	成果1	箇所	6.0	1.0	0.0	6.0	0.0	3.0	2.0	2.0
R6年度	成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	効率1	日	26.9	0.0	0.0	26.9	0.0	34.5	0.0	44.4
R6年度	効率2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	人件費		0	0						
事業実施内容	自治会等からの申請により、生活道路の舗装を実施した。									
事業実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 受益者(自治会または土木区)が市内の土木工事を共同で行うことで、地域の生活環境の整備保全が図れるため事業の実施は有効である。									

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業	○					
R4	事業名	社会資本整備総合交付金事業市道赤土高橋線										
総合計画	体系・概要	基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち						事業 事業成果 事業課題				
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり										
	施策	2 幹線道路や生活道路を整備します										
	事業の目的	幹線道路や生活道路を整備するため、社会資本整備総合交付金事業市道赤土高橋線により、道路整備や用地買収を行い、市内外を結ぶ幹線連絡道路として、円滑な交通の確保や緊急輸送路としての役割の確保を図る。		事業の概要 主要地方道掛川浜岡線のバイパスとして県と共に整備を行うものであり、市道赤土高橋線は市の整備区間として延長1.1km、全幅員16m、2車線、両側歩道の計画であり、平成21年度より社会資本整備総合交付金を活用して整備を進めている。								
事業コスト分析	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称				CHECK評価				
	8 2 3	500000	社会資本整備総合交付金事業市道赤土高橋線									
	R3年度		R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金		県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,456,000		273,164,000	258,708,000	1889.6%	134,664,000	0		128,400,000	0	0	10,100,000
	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度							
	項目		R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
	予算額		12,698,000	14,456,000	273,164,000	節	決算額		節	決算額		
	決算額		12,643,434	14,382,700	56,752,848	01 報酬	83,160		16 公有財産購入費	22,508,699		
	不用額		54,566	73,300	216,411,152	02 給料	100,000		17 備品購入費	0		
	執行率		99.6%	99.5%	20.8%	03 職員手当等	0		18 負担金、補助及び交付金	0		
CHECK評価	決算(円)	国庫支出金	6,545,000	7,472,000	17,303,000	04 共済費	0	19 扶助費	0			
	財源内訳	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0			
		地方債	5,700,000	6,400,000	36,700,000	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	2,126,964			
		その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0			
		一般財源	398,434	510,700	2,749,848	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0			
	前年比較	—	—	128.2% D	538.4% D	09 交際費	0	24 積立金	0			
	職員人件費	0	854,000	1,000,000	10 需用費	40,405	25 寄附金	0				
	総事業コスト	12,643,434	15,236,700	57,752,848	11 役務費	0	26 公課費	0				
	前年比較	—	—	120.5% D	379.0% D	12 委託料	0	27 繰出金	0			
	コスト分析	主財源	社会資本整備総合交付金	17,303,000		13 使用料及び賃借料	433,620	予備費	0			
道路橋梁整備事業債			12,100,000		14 工事請負費	31,460,000						
		合併特例債	24,600,000		15 原材料費	0	合計	56,752,848				
社会資本整備により、走行経費や通行の安全性等による便益が見込まれるとともに、地域間の一体性を図るアクセス強化が図られることから計画的な事業投資は必要である。あわせて、計画的に事業を実施できるよう財源確保が必要である。												
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度				
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
		成果1	道路築造工事の発注	件	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		成果2			1	7			100.0%	B	100.0%	B
		効率1	工事の有効率	日	9.3	0.0	0.0	9.3	0.0	27.7	0.0	0.0
		効率人件費			2	7						
					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					0	0						
		市道嶺田川上線から市道南71号線までの区間0.4kmが完成し、市道南71号線以南の未供用区間0.7kmについて工事を進めている。										
		事業実施内容										
CHECK評価	事業コスト分析	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称				ACTION改善			
		8 2 3	500000	社会資本整備総合交付金事業市道赤土高橋線								
		予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金		地方債	その他	一般財源
		88,404,000		△ 184,760,000	32.4%	38,976,000	0	45,350,000		0	4,078,000	
		R5年度	実施内容	道路築造工事		未供用の約0.7kmの区間内で道路築造工事を実施する。		下期実施内容変更見込み				
				R5年度比較増減要因								
		R6年度	実施内容	R6年度比較増減見込み								
				事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 主要地方道掛川浜岡線バイパスが全線供用した際には、現道掛川浜岡線に集中する交通が更に分散されることで、走行時間が短縮されるとともに、走行経費や通行の安全性等による便益が向上することが予想される本事業は有効である。								

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業								
R4	事業名	社会資本整備総合交付金事業市道井矯堂線												
総合計画	体系・概要	基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち 政策 5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり 施策 2 幹線道路や生活道路を整備します												
	事業の目的	幹線道路や生活道路を整備するため、社会資本整備総合交付金事業市道井矯堂線における国の社会資本整備総合交付金を活用し、整備することで、通学路の自転車歩行者の安全な通行及び円滑な交通確保を図る。												
	事業の概要	市道井矯堂線は整備延長380mの計画となっており、令和4年度から社会資本整備総合交付金を活用して整備を進めていく。												
	事業成果	令和4年度に予定した用地測量業務を完了した。												
事業課題	令和4年度より交付金事業に着手した。継続的に事業進捗を図る必要がある。													
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称								
		8	2	3	900000	社会資本整備総合交付金事業市道井矯堂線								
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0		6,699,000		6,699,000			3,520,000	0	2,500,000	0	679,000	
		事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度							
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳								
		予算額	0	0	6,699,000	節	決算額	節	決算額					
		決算額	0	0	6,677,000	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0					
		不用額	0	0	22,000	02 給料	0	17 備品購入費	0					
		執行率	99.7%			03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0					
	国庫支出金	0	0	3,520,000	04 共済費	0	19 扶助費	0						
	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0						
	地方債	0	0	2,500,000	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0						
	その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0						
	一般財源	0	0	657,000	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0						
	前年比較	—	—		09 交際費	0	24 積立金	0						
	職員人件費	0	0	1,441,000	10 需用費	0	25 寄附金	0						
	総事業コスト	0	0	8,118,000	11 役務費	0	26 公課費	0						
	前年比較	—	—		12 委託料	6,677,000	27 繰出金	0						
	主財源	社会資本整備総合交付金			3,520,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0					
		道路橋梁整備事業債			2,500,000	14 工事請負費	0							
						15 原材料費	0	合計	6,677,000					
	コスト分析	通学路等の交通安全プログラムに基づく、道路環境整備へ計画的な事業投資は必要である。 あわせて、計画的に事業を実施できるよう財源確保が必要である。												
指標・実施内容	事業指標・評価	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
		成果1	測量設計業務の発注	件	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
					3	7							100.0%	B
		成果2	道路改良工事の発注	件	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					3	7								
		効率1	工事の有効率	日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					3	7								
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					0	0								
		事業実施内容	通学路等の交通安全プログラムに基づき、安全な道路環境整備を行い、通学児童の安全を確保する。											
CHECK評価	各評価結果	事業コスト評価 一般財源 成果 1 B 2 総事業コスト 効率 1 有効性 4:高い 人件費 必要性 4:高い												
	総合判定評価	B 事業の進め方の改善の検討 R6年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方												
	評価分析・総合判定評価	安全な道路環境整備を行い、通学児童の安全を確保するため、計画的に整備を進めていく。												
	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 交付金事業であるため、国の予算配分に対して計画的に整備を進めていく。												
	PLAN取り組み・DO実施	実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称							
			8	2	3	900000	社会資本整備総合交付金事業市道井矯堂線							
			予算額		前年増減額		前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
			75,430,000		68,731,000		1126.0%		37,180,000	0	30,000,000	0	8,250,000	
			・用地(物件)調査業務委託 ・用地取得及び物件移転補償契約 ・補償工事											
			下期実施内容変更見込み											
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
		44,681,000	△ 30,749,000	59.2%		20,000,000	0	18,000,000	0	6,681,000				
		・用地(物件)調査業務委託 ・用地取得及び物件移転補償契約 ・補償工事												
		R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み												
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 通学路等の交通安全プログラムに基づく、通学児童の安全に寄与する事業のため有効である。													

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業	○				
R4	事業名	社会資本整備総合交付金事業道路橋梁長寿命化									
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち						事業成果			
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり							CHECK評価		
	施策	5 橋梁や道路施設を適切に維持管理し、長寿命化を図ります									
	事業の目的	橋梁や道路施設を適切に維持管理し、長寿命化を図るため、社会資本整備総合交付金事業道路橋梁長寿命化により、状況調査や修繕等を行うことで、施設の長寿命化と安全で快適な道路環境の維持を図る。		市の管理する道路施設(橋梁、トンネル)について、現状の把握や健全性を判断し措置を講じ長寿命化を進めるとともに、市内道路ネットワークの維持と道路利用者及び第三者被害の防止を図る							
事業の概要	96橋の定期点検を実施し健全度を評価した。令和3年度の定期点検にて確認された健全度が劣る石山隧道を補修し長寿命化を図った。評価がⅢaとなった菊川橋の支承交換の補修工事を実施し長寿命化を図った。東名高速道路に掛かる2橋のこ道橋の定期点検を負担金事業として実施し、こ道橋の健全性を評価した。法華寺橋、耳川橋歩道橋の実施設計について、繰越明許対応としたが令和4年9月30日に完了した。国の補正対策により、谷欠橋ほか2橋の補修実施設計や、追加となる4橋の点検業務及び、菊川橋(橋面)、稲木橋の補修工事を3月に発注したことにより繰越となった。										
事業課題	橋梁の構造基準の改定に伴い不適格橋梁となった既存橋梁や、当初から構造基準を満たしていないについて、改築などの更新を求められることもありその対策についても大きな課題である。今後の維持管理にかかる費用を抑制していくため、橋梁の集約化を図っていく必要がある。										
各評価結果											
事業コスト評価				指標評価		事業内容評価		総合判定評価			
決算前年比	一般財源	A	成果	1	B	評価視点	評価内容	A 計画どおりに事業を進めることが適当			
	75.8%		2	B	効率性				4:高い	A 現状維持	
総事業コスト	B	効率	1		有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	R6年度の方向性			
97.6%		人件費			必要性	4:高い	コスト 維持→ 成果 維持→				
担当評価								①事業の進め方			
橋梁の定期点検を実施した結果、現状の健全度を把握することができた。菊川橋や石山隧道の補修工事により施設の長寿命化を図ることができた。											
課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性											
評価結果により補修が必要と判断される橋梁が確認された場合には、評価の内容により個別施設計画を随時見直しをする必要がある。											
加える変化											
課に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性											
評価結果により補修が必要と判断される橋梁が確認された場合には、評価の内容により個別施設計画を随時見直しをする必要がある。											
実行計画事業(円)											
R5年度 実施内容											
R6年度 実施内容											
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明											
定期点検を実施し現状の健全度を把握し対策を行うことで、橋梁やトンネルの長寿命化が図られるほか、第三者被害を未然に防ぐことが図られるため事業の実施は妥当である。											
事業コスト分析	予算(円)	事業名称						CHECK評価			
8	2	2	400000	社会資本整備総合交付金事業道路橋梁長寿命化							
R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債		その他	一般財源	
215,537,000	264,962,000	49,425,000	122.9%	143,259,000	0	85,800,000	0		0	35,903,000	
事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度							
項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳							
予算額	375,946,000	215,537,000	264,962,000	節	決算額	節	決算額				
決算額	367,350,625	199,719,121	195,741,236	01 報酬	1,209,600	16 公有財産購入費	0				
不用額	8,595,375	15,817,879	69,220,764	02 給料	0	17 備品購入費	0				
執行率	97.7%	92.7%	73.9%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	10,583,985				
財源内訳	国庫支出金	199,094,500	106,801,500	105,598,000	04 共済費	0	19 扶助費		0		
	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金		0		
	地方債	119,700,000	47,500,000	55,800,000	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金		0		
	その他	426,000	134,000	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料		0		
一般財源	48,130,125	45,283,621	34,343,236	08 旅費	16,800	23 投資及び出資金	0				
前年比較	—	—	94.1% B	75.8% A	09 交際費	0	24 積立金	0			
職員人件費	0	2,115,000	1,204,000	10 需用費	32,851	25 寄附金	0				
総事業コスト	367,350,625	201,834,121	196,945,236	11 役務費	0	26 公課費	0				
前年比較	—	—	54.9% A	97.6% B	12 委託料	68,321,000	27 繰出金	0			
主財源	道路橋梁長寿命化事業社会資本整備総合交付金	105,598,000		13 使用料及び賃借料	2,079,000	予備費	0				
	道路橋梁長寿命化整備事業債	55,800,000		14 工事請負費	113,498,000						
15 原材料費	0	合計	195,741,236								
コスト分析	①長寿命化事業の事務費を除く事業費は、年間210,000千円を上限とし長期財政計画及び長寿命化計画を策定しているため大きく変動はしない見込みである。 ②事業に関する事務費については、固定的経費のため大きく増減はしない見込み。 ③国補正に伴う補正予算で事業費は加算されているが、財源を補正予算債としているため単年度において単独費の充当は抑えられている。										
指標・実施内容	事業指標・評価										
	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	成果1	委託による橋梁点検の発注	箇所	167.0	97.0	0.0	167.0	166.0	168.0	98.0	98.0
	成果2	橋梁補修工事の発注	件	3.0	5.0	0.0	3.0	3.0	3.0	1.0	1.0
	効率1	事業の有効率	日	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	10.0	0.0	9.0
	効率	人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	人件費			0	0						
	社会資本整備総合交付金制度を活用し、橋梁及の定期点検や橋梁やトンネルの補修工事を実施し施設の長寿命化を図った。										
	委託料 橋梁定期点検 96橋 工事請負費 橋梁補修工事(菊川橋)トンネル補修工事(石山隧道) 負担金 東名高速道路に掛かるこ道橋点検(2橋) 事務費 事業に必要な経費 R3→R4線 橋梁補修実施設計(法華寺橋、耳川橋歩道橋) R4→R5線 橋梁補修実施設計(谷欠橋、東52号線3号橋、雨垂牛淵原線1号橋) 橋梁A点検(三軒家橋ほか3橋) 橋梁補修工事(菊川橋(橋面)、稲木橋)										
	事業の実施内容										
R5年度 実施内容											
R6年度 実施内容											
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明											
定期点検を実施し現状の健全度を把握し対策を行うことで、橋梁やトンネルの長寿命化が図られるほか、第三者被害を未然に防ぐことが図られるため事業の実施は妥当である。											

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業				
R4	事業名	道路橋梁総務事業								
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり								
	施策	5 橋梁や道路施設を適切に維持管理し、長寿命化を図ります								
	事業の目的	橋梁や道路施設を適切に維持管理し、長寿命化を図るため、道路橋梁総務事業により、道路橋梁の施設管理に係る費用と道路関係団体への活動や負担金支援を適切に行うことで、事業の円滑化及び道路の安全と利便性の確保を図る。		道路橋梁の施設管理に係る費用及び道路関係団体の負担金						
事業の概要										
事業成果	・道路橋梁施設の適正な維持管理が図られた。									
事業課題	・土地借上げ料に係る契約の見直しが出来れば、コスト縮減に繋がる。									
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称				
		8	2	1	100000	道路橋梁総務費				
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源			
		10,495,000	11,847,000	1,352,000	112.9%	0 0 0 26,000 11,821,000				
		事業費割合(事業費/施策費)	R2年度	R3年度	R4年度					
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳				
		予算額	10,320,000	10,495,000	11,847,000	節 決算額 節 決算額				
		決算額	9,828,998	10,424,461	11,088,003	01 報酬 3,836,904 16 公有財産購入費 0				
		不用額	491,002	70,539	758,997	02 給料 0 17 備品購入費 0				
		執行率	95.2%	99.3%	93.6%	03 職員手当等 754,639 18 負担金、補助及び交付金 315,000				
CHECK評価	決算(円)	国庫支出金	0	0	0	04 共済費 0 19 扶助費 0				
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費 0 20 貸付金 0				
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 0				
		その他	0	26,670	32,010	07 報償費 0 22 償還金、料子及び割引料 0				
		一般財源	9,828,998	10,397,791	11,055,993	08 旅費 74,400 23 投資及び出資金 0				
		前年比較	—	—	105.8% D 106.3% D	09 交際費 0 24 積立金 0				
		職員人件費	0	619,000	479,000	10 需用費 5,938,960 25 寄附金 0				
		総事業コスト	9,828,998	11,043,461	11,567,003	11 役務費 0 26 公課費 0				
		前年比較	—	—	112.4% D 104.7% D	12 委託料 27,500 27 繰出金 0				
		主財源	菊川駅前広場電気料等使用者負担金	32,010	13 使用料及び賃借料 140,600 予備費 0					
				14 工事請負費 0						
				15 原材料費 0 合計 11,088,003						
コスト分析	電気使用料の増額により、前年度に比べて事業費が増額となった。									
CHECK評価	事業指標・評価	R2年度		R3年度		R4年度				
	指標名	単位	現状値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
	成果1	道路関係団体への加入数	団体	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0
				1	7		100.0%	B	100.0%	B
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				0	0					
	効率1		円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				0	0					
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				0	0					
事業実施内容	・会計年度任用職員等の報酬及び手当てを支払った。 ・道路橋梁施設に係る光熱水費及び土地借上げ料を支払った。 ・道路関係団体への負担金を支払った。									
実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 行政に対する市民ニーズが多様化する中、会計年度任用職員を雇用し、業務の効率化を図る必要性が益々増大する。									
予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称					
	8	2	1	100000	道路橋梁総務費					
	予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源					
	12,467,000	620,000	105.2%	0 0 0 26,000 12,441,000						
実施内容	・臨時職員等の報酬及び手当 ・施設の光熱水費及び修繕料 ・土地借上げ料 ・道路関係団体の負担金				下期実施内容変更見込み ・特になし					
実施内容	・臨時職員等の報酬及び手当 ・施設の光熱水費及び修繕料 ・土地借上げ料 ・道路関係団体の負担金				R5年度比較増減要因 ・特になし					
実施内容	・臨時職員等の報酬及び手当 ・施設の光熱水費及び修繕料 ・土地借上げ料 ・道路関係団体の負担金				R7年度増減見込み ・特になし					
実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 行政に対する市民ニーズが多様化する中、会計年度任用職員を雇用し、業務の効率化を図る必要性が益々増大する。									

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業
R4	事業名	道路台帳管理事業				
総合計画	基本目標	78 道路等の適正な維持管理を図る				
	政策	1 道路等の財産管理・許可				
	施策	1 道路等の財産管理				
	事業の目的	道路等の適正な維持管理を図るため、道路台帳管理事業において、道路法第28条により、台帳の更新修正等を行い、道路の適正な維持管理を図る。				
事業の概要	道路改良や橋梁点検等に伴う道路台帳の修正及びデータ化					
事業成果	・更新及び修正作業を約4.0km、デジタル化作業を215.0km完了した。					
事業課題	・きくのみマップへの路線網図の掲載を行い、市民サービスを向上させるため、令和5年度にデジタル化作業を完了させる必要がある。					
各評価結果						
事業コスト評価			指標評価		事業内容評価	
決算前年比	一般財源	101.1%	D	成果	1	評価視点
	総事業コスト	103.0%	D	効率	1	評価内容
				人件費		
B 事業の進め方の改善の検討			R6年度の方向性		コスト 縮小↓ 成果 維持→	
①事業の進め方			計画通り道路台帳の更新及び修正、デジタル化作業を完了した。			
加える変化						
課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性						
国の交付金(補助金)を使い、令和5年度にデジタル化作業を完了させる。						
事業名						
8 2 1 500000 道路台帳管理費						
R5年度						
予算額 前年増減額 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源						
75,750,000 54,509,000 356.6% 35,375,000 0 0 0 40,375,000						
道路台帳の更新・修正及びデジタル化						
下期実施内容変更見込み						
・特になし						
R6年度						
計画額 前年増減額 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源						
23,078,000 △ 52,672,000 30.5% 0 0 0 23,078,000						
道路台帳の更新・修正						
R5年度比較増減要因						
・特になし						
R7年度増減見込み						
・特になし						
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明						
道路法第28条の規定により、道路管理者による道路台帳の調製及び保管、適宜修正が義務付けられているため、デジタル化作業が完了しても毎年道路台帳の更新及び修正作業は必要となる。						

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業
R4	事業名	街路維持管理事業				
総合計画	基本目標	78 道路等の適正な維持管理を図る				
	政策	1 道路等の財産管理・許可				
	施策	3 適切な道路維持管理				
	事業の目的	道路等の適正な維持管理を図るため、街路維持管理事業により、保守点検業務を適切に行うことで、安全で快適な街路環境の維持を図る。		市の管理する街路について、適切に維持管理を行い道路環境の維持及び第三者被害の防止を図る。		
事業の概要						
事業成果	街路照明灯などの球切れの復旧修繕として5件、朝日線アンダーパスの排水ポンプや冠水システムが正常に稼働するよう3件の保守点検、街路緑花木の維持管理1件をを実施し街路の適切な維持を図った。					
事業課題	施設や街路樹の老朽により費用が増大していく懸念があることから、街路樹の生育不良など早期伐採することで今後の維持管理費を抑制していく必要がある。					
事業	各評価結果					
	事業コスト評価				指標評価	
評価分析・総合判定評価	事業コスト評価		指標評価		事業内容評価	
	一般財源	80.9%	1	B	評価視点	評価内容
決算前年比	81.0%	A	2	B	効率性	4:高い
担当評価	総事業コスト		効率		有効性	
	81.0%	A	1		4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」
機器の耐用年数超過に伴う障害も昨年度発生していることから、予防修繕を実施していくための検討も必要と考える。						
総合判定評価						
A 計画どおりに事業を進めることが適当						
R6年度の方向性						
コスト		維持→		成果		
改善		①事業の進め方				
事業コスト分析	事業費内訳					
	項目	R2年度	R3年度	R4年度	節	決算額
決算(円)	予算額	19,894,000	24,164,000	19,508,000	01 報酬	0
	決算額	19,725,370	23,949,200	19,371,660	16 公有財産購入費	0
	不用額	168,630	214,800	136,340	02 給料	0
	執行率	99.2%	99.1%	99.3%	17 備品購入費	0
	国庫支出金	0	0	0	03 職員手当等	0
	県支出金	0	0	0	18 負担金、補助及び交付金	0
	地方債	0	0	0	04 共済費	0
	その他	0	0	0	19 扶助費	0
	一般財源	19,725,370	23,949,200	19,371,660	20 貸付金	0
	前年比較	—	—	121.4% D	21 補償、補填及び賠償金	0
	職員人件費	0	557,000	472,000	02 報償費	0
	総事業コスト	19,725,370	24,506,200	19,843,660	03 旅費	0
	前年比較	—	—	124.2% D	04 交際費	0
	主財源				05 積立金	0
					06 需用費	303,160
				25 寄附金	0	
				11 役務費	0	
				26 公課費	0	
				12 委託料	19,068,500	
				27 繰出金	0	
				13 使用料及び賃借料	0	
				予備費	0	
				14 工事請負費	0	
				15 原材料費	0	
				合計	19,371,660	
①事業費における一般財源は全額となっている。 ②既存機器の不具合を未然に防ぐ必要があり、今後耐用年数を超過する機器の予防保全について対応を検討していく必要がある。						
コスト分析	事業費内訳					
	項目	R2年度	R3年度	R4年度	節	決算額
決算(円)	予算額	19,894,000	24,164,000	19,508,000	01 報酬	0
	決算額	19,725,370	23,949,200	19,371,660	16 公有財産購入費	0
	不用額	168,630	214,800	136,340	02 給料	0
	執行率	99.2%	99.1%	99.3%	17 備品購入費	0
	国庫支出金	0	0	0	03 職員手当等	0
	県支出金	0	0	0	18 負担金、補助及び交付金	0
	地方債	0	0	0	04 共済費	0
	その他	0	0	0	19 扶助費	0
	一般財源	19,725,370	23,949,200	19,371,660	20 貸付金	0
	前年比較	—	—	121.4% D	21 補償、補填及び賠償金	0
	職員人件費	0	557,000	472,000	02 報償費	0
	総事業コスト	19,725,370	24,506,200	19,843,660	03 旅費	0
	前年比較	—	—	124.2% D	04 交際費	0
	主財源				05 積立金	0
					06 需用費	303,160
				25 寄附金	0	
				11 役務費	0	
				26 公課費	0	
				12 委託料	19,068,500	
				27 繰出金	0	
				13 使用料及び賃借料	0	
				予備費	0	
				14 工事請負費	0	
				15 原材料費	0	
				合計	19,371,660	
①事業費における一般財源は全額となっている。 ②既存機器の不具合を未然に防ぐ必要があり、今後耐用年数を超過する機器の予防保全について対応を検討していく必要がある。						
指標・実施内容	事業指標・評価					
	指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値
指標評価	成果1	設備保守点検委託の実施	件	3.0	3.0	0.0
				2	7	
	成果2	街路樹管理業務委託の発注	件	1.0	1.0	0.0
				2	7	
	効率1			0.0	0.0	0.0
				0	0	
	効率人件費			0.0	0.0	0.0
				0	0	
	街路施設の維持修繕や、排水ポンプの定期点検・オーバーホール、街路樹の維持管理を実施した。					
	事業実施内容					
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明						
街路維持管理は安全な街路環境を維持し第三者被害を防止することが目的であり、適切な維持管理を実施することで目的が達成されるものである。						
実施内容	R5年度					
	款	項	目	事業番号	事業名称	
実施内容	8	2	2	200000	街路維持管理費	
	予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金
	22,174,000	2,666,000	113.7%		0	0
	・事務費 ・修繕料 ・委託料 ・設備保守点検(朝日線アンダーポンプオーバーホールほか)、街路管理(街路緑花木維持管理)、水位観測機器設置		下期実施内容変更見込み			
	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金
	21,174,000	△1,000,000	95.5%		0	0
	・事務費 ・修繕料 ・委託料 ・設備保守点検(朝日線アンダーポンプオーバーホールほか)、街路管理(街路緑花木維持管理ほか)		R5年度比較増減要因			
	R6年度					
	R7年度増減見込み					

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	建設課	担当係	重点事業																																											
R4	事業名	公用車管理事業(建設課)																																															
総合計画	基本目標	78 道路等の適正な維持管理を図る																																															
	政策	1 道路等の財産管理・許可																																															
	施策	3 適切な道路維持管理																																															
	事業の目的	道路等の適正な維持管理を図るため、公用車管理事業(建設課)において、現場対応や道路パトロールなどで使用する公用車の適切な維持管理を行い、道路管理業務の安全かつ効率化による円滑な道路安全管理を図る。		事業の概要 公用車の維持管理																																													
事業コスト分析	事業の目的																																																
	事業成果	・公用車の適正な維持管理が図られた。																																															
	事業課題	・バッテリー交換やタイヤバンク等に係る修繕料の管理経費は継続して必要となる。 ・燃料費に係るガソリンの単価が高騰している。																																															
	各評価結果	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト評価</th> <th>指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>成果</td> <td>1</td> <td>評価視点</td> </tr> <tr> <td>16.6%</td> <td>A</td> <td>2</td> <td>評価内容</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>効率</td> <td>1</td> <td>効率は</td> </tr> <tr> <td>10.8%</td> <td>A</td> <td>人件費</td> <td>4:高い</td> </tr> </table>				事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		一般財源	成果	1	評価視点	16.6%	A	2	評価内容	総事業コスト	効率	1	効率は	10.8%	A	人件費	4:高い	総合判定評価																							
	事業コスト評価	指標評価	事業内容評価																																														
	一般財源	成果	1	評価視点																																													
	16.6%	A	2	評価内容																																													
	総事業コスト	効率	1	効率は																																													
	10.8%	A	人件費	4:高い																																													
	計画通り事業が進捗し、公用車の車検及び修繕を完了した。	<table border="1"> <tr> <td>計画通り</td> <td>維持→</td> <td>成果</td> <td>維持→</td> </tr> <tr> <td>改善</td> <td colspan="3">①事業の進め方</td> </tr> </table>				計画通り	維持→	成果	維持→	改善	①事業の進め方																																						
計画通り	維持→	成果	維持→																																														
改善	①事業の進め方																																																
課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性	次年度はダンプエルフ及びデュトロ、軽トラックの車検を実施する。																																																
実施内容	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100000</td> <td>公用車管理費(建設課)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td>前年増減額</td> <td>前年比</td> <td>財源内訳</td> </tr> <tr> <td colspan="2">791,000</td> <td>126,000</td> <td>118.9%</td> <td>国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 791,000</td> </tr> <tr> <td colspan="5">・車検整備及び定期点検</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>下期実施内容変更見込み</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>・特になし</td> </tr> </table>				款	項	目	事業番号	事業名称	8	1	1	100000	公用車管理費(建設課)	予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	791,000		126,000	118.9%	国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 791,000	・車検整備及び定期点検									下期実施内容変更見込み					・特になし										
款	項	目	事業番号	事業名称																																													
8	1	1	100000	公用車管理費(建設課)																																													
予算額		前年増減額	前年比	財源内訳																																													
791,000		126,000	118.9%	国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 791,000																																													
・車検整備及び定期点検																																																	
				下期実施内容変更見込み																																													
				・特になし																																													
実施内容	<table border="1"> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>665,000</td> <td>△126,000</td> <td>84.1%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>665,000</td> </tr> <tr> <td colspan="5">・車検整備及び定期点検</td> <td colspan="4">R5年度比較増減要因</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td colspan="4">R7年度増減見込み</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td colspan="4">・特になし</td> </tr> </table>				計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	665,000	△126,000	84.1%		0	0	0	0	665,000	・車検整備及び定期点検					R5年度比較増減要因									R7年度増減見込み									・特になし			
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																									
665,000	△126,000	84.1%		0	0	0	0	665,000																																									
・車検整備及び定期点検					R5年度比較増減要因																																												
					R7年度増減見込み																																												
					・特になし																																												
事業実施内容	<p>・公用車2台(ダンプエルフ/デュトロ)の車検を実施した。 ・ダンプエルフ/デュトロ:車検(毎年) ・軽トラック:車検(2年毎)</p>																																																
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	事業費のほぼ全てが公用車の管理に係る必要経費である。																																																

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業	○						
R4	事業名	駅北整備事業											
総合計画	体系・概要	基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち 政策 5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり 施策 1 良好な住環境をつくります											
	事業の目的	良好な住環境をつくるため、駅北整備事業によりJR東海道本線菊川駅北側地区にポテンシャルを活かした新たな賑わいを生み出し、職住を含む市民の生活拠点の創出を図る。		JR東海道本線菊川駅北側地区に新たな市街地整備の検討、駅周辺に賑わいを生み出すための検討等に係る事務を行う。									
	事業の概要												
	事業成果	地権者の機運を高めることができ、合意形成に向けた準備ができた。											
事業課題	新たな市街地を整備するための手法や区域を決定するために、引き続き研究会の開催を支援する必要がある。												
事業コスト分析	決算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称									
		8 4 1	300000	駅北整備事業費									
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		84,184,000	1,210,000	△ 82,974,000	1.4%		0	0	0	0	1,210,000		
		事業費割合(事業費/施策費)	R2年度	R3年度	R4年度								
	コスト分析	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
			予算額	68,384,000	84,184,000	1,210,000	節	決算額	節	決算額			
			決算額	13,864,788	79,295,320	1,210,000	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
			不用額	54,519,212	4,888,680	0	02 給料	0	17 備品購入費	0			
			執行率	20.3%	94.2%	100.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
主財源		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0			
			県支出金	1,500,000	2,500,000	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0			
			地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0			
			その他	0	0	1,000,000	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0			
			一般財源	12,364,788	76,795,320	210,000	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0			
コスト分析	主財源	前年比較	—	—	621.1% D	0.3% A	09 交際費	0	24 積立金	0			
		職員人件費	0	3,395,000	1,662,000	10 需用費	0	25 寄附金	0				
		総事業コスト	13,864,788	82,690,320	2,872,000	11 役務費	0	26 公課費	0				
		前年比較	—	—	596.4% D	3.5% A	12 委託料	1,210,000	27 繰出金	0			
		まちづくり基金繰入金			1,000,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0				
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度					
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
		成果1	菊川駅北新市街地整備検討会(仮称)の開催回数	%	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3.0	
					1	7					150.0%	S	
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	事業実施内容	指標評価	効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
						0	0						
			効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
						0	0						
			事業実施内容	JR東海道本線菊川駅北側地区に新たな市街地整備を整備するため、地権者による研究会を立ち上げ、勉強会を開催することで現状把握や整備手法を学んだ。									
CHECK評価	CHECK評価	各評価結果											
		事業コスト評価		指標評価		事業内容評価						総合判定評価	
		一般財源	0.3%	A	成果	1	S	評価視点		評価内容		A 計画どおりに事業を進めることが適当	
		総事業コスト	3.5%	A	効率	1		効率性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	R6年度の方向性		
					人件費			必要性	4:高い	①事業の進め方	コスト	維持→	成果
CHECK評価	CHECK評価	担当評価											
		地権者による研究会を立ち上げることができたことで、地権者が主体的に取り組むための準備が整うこととなった。											
		課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性											
		今後は、より具体的な検討を実施するため業務を拡充し、地権者の合意形成や民間事業者へのヒアリングを実施することで実現性を高めていきたい。											
		加える変化											
CHECK評価	CHECK評価	款 項 目	事業番号	事業名称									
		8 4 1	300000	駅北整備事業費									
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		5,336,000	4,126,000	441.0%		0	0	0	0	5,336,000			
		・菊川駅北整備構想の中期計画に位置付けた駅北まちづくりの検討を進めるための委託料		下期実施内容変更見込み		・特になし							
	CHECK評価	CHECK評価	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
			9,345,000	4,009,000	175.1%		0	0	0	0	9,345,000		
			・菊川駅北整備構想の中期計画に位置付けた駅北まちづくりの検討を進めるための委託料		R5年度比較増減要因		R7年度増減見込み						
			事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明										
			菊川駅南北自由通路整備による駅北口開設をより効果的に活かすため、駅北地域の新たな住環境整備に向けた取り組みは必要である。										

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業					
R4	事業名	空家等対策推進事業									
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち									
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり									
	施策	1 良好な住環境をつくります									
	事業の目的	良好な住環境をつくるため、空家等対策推進事業により、空家等の所有者に対する助言や指導、地域住民のための空家相談窓口の開設等を行うことで、地域の良好な住環境の保全を図る。		事業の概要 適切な管理が行われておらず、周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼしている空家等の所有者に対し、周辺への悪影響の程度と切迫性に応じて特定空家等への認定や助言・指導等の必要な措置を行う。 空家相談窓口にて苦情・相談に応じた助言・指導等を行うことに加え、静岡県及び関係機関と連携し、空家等に関する制度周知や民間の相談窓口の案内等により、所有者等による自主的な解決を促進する。							
事業成果	・市民からの情報を基に行政指導通知を15件送付し、所有者への啓発を図った。内4件の所有者の相続人を直接訪問し指導を行った。										
	事業課題 空家等の管理を所有者が放置していることによる、草木の繁茂に関する苦情が多い。										
CHECK評価	各評価結果					総合判定評価					
	事業コスト評価	指標評価			事業内容評価		B 事業の進め方の改善の検討				
評価分析・総合判定評価	決算前年比	一般財源	成果	1	S	評価視点	評価内容	R6年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ ①事業の進め方			
	120.4%	D	効率	1	A	有効性	4:高い 計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」				
CHECK評価	担当評価 行政指導を行い、2件が解体された。3件については繁茂した草木を伐採して頂いた。また、										
	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 広報紙やホームページによる啓発及び、空家等所有者に対し行政指導を行う。										
CHECK評価	A C T I O N 改善										
	R5年度 実施内容 ・静岡県空家等対策市町連絡会議等各種会議への参加 ・建築士による特定空家等判定業務(必要に応じて実施) ・宅建士による空家相談会の実施(年3回開催) ・全国建設研修センター「空家対策研修」への参加(東京都小平市) ・空家等実態調査業務委託										
CHECK評価	P L A N 取り組み・DO実施										
	R6年度 実施内容 ・静岡県空家等対策市町連絡会議等各種会議への参加 ・建築士による特定空家等判定業務(必要に応じて実施) ・空家等実態調査の実施 ・全国建設研修センター「空家対策研修」への参加(東京都小平市) ・空家等実態調査業務委託										
CHECK評価	事業実施内容 ・空家所有者への行政指導の実施。 ・空家対策等検討委員会の開催。 ・空家等対策市町連絡会議への出席。 ・空家対策研修への参加。										
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 空家は年々増加傾向であり、今後も行政指導や相談体制の整備等により空家問題の対策を行って行く必要がある。										
事業コスト分析	款	項	目	事業番号	事業名称						
	8	5	1	300000	空家等対策推進事業費						
事業コスト分析	予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	429,000	206,000	192.4%		0	0	0	70,000	359,000		
事業コスト分析	総事業コスト	73,840	548,000	659,680	11 役務費	0	26 公課費	0	0		
	前年比較	—	—	742.1%	D	120.4%	D	12 委託料	0	27 繰出金	0
事業コスト分析	主財源	県市村振興協会研修助成金【総務課】		90,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0	0		
	14 工事請負費	0	15 原材料費	0	合計	210,680					
コスト分析	今年度開催された空き家ワンストップ相談会は隔年実施である。空き家対策研修も行われたため事業費が増加した。										
	事業指標・評価										
指標・実施内容	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	成果1	空家等所有者への行政指導実施件数	件	10.0	10.0	0.0	15.0	10.0	14.0	10.0	15.0
指標・実施内容	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	効率1	空家等実態調査の戸数に占める行政指導実施件数	%	3.3	3.3	0.0	4.8	3.3	3.8	3.3	4.0
指標・実施内容	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み										

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業	○								
R4	事業名	若者世帯定住促進補助事業													
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち													
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり													
	施策	1 良好な住環境をつくります													
体系・概要	事業の目的	良好な住環境をつくるため、若者世帯定住促進補助事業により、市内に住宅を取得した若者世帯に対して補助金を交付し、生産年齢人口の増加、転出抑制による定住促進を図る。			事業の概要			市内の賃貸住宅又は市外に1年以上継続して居住していた若者で、本市に定住するため市内に住宅を取得した若者世帯に対して、補助金を交付する。							
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称									
		8	5	1	600000	若者世帯定住促進補助事業費									
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		30,500,000		27,000,000		△ 3,500,000	88.5%		0	0	0	0	27,000,000		
		事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度								
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳									
		予算額	30,500,000	30,500,000	27,000,000	節	決算額	節	決算額						
		決算額	26,950,000	27,750,000	26,891,530	01	報酬	0	16	公有財産購入費	0				
		不用額	3,550,000	2,750,000	108,470	02	給料	0	17	備品購入費	0				
		執行率	88.4%	91.0%	99.6%	03	職員手当等	0	18	負担金、補助及び交付金	26,891,530				
	国庫支出金	0	0	0	04	共済費	0	19	扶助費	0					
	県支出金	0	0	0	05	災害補償費	0	20	貸付金	0					
	地方債	0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0					
	その他	0	0	0	07	報償費	0	22	償還金、利子及び割引料	0					
	一般財源	26,950,000	27,750,000	26,891,530	08	旅費	0	23	投資及び出資金	0					
	前年比較	—	—	103.0%	D	96.9%	B	09	交際費	0	24	積立金	0		
	職員人件費	0	352,000	680,000	10	需用費	0	25	寄附金	0					
	総事業コスト	26,950,000	28,102,000	27,571,530	11	役務費	0	26	公課費	0					
	前年比較	—	—	104.3%	D	98.1%	B	12	委託料	0	27	繰出金	0		
	主財源														
	13	使用料及び賃借料	0	予備費	0										
	14	工事請負費	0												
	15	原材料費	0	合計	26,891,530										
コスト分析	前年度に対し補助制度の利用者が増えたことにより、事業費が増加した。														
指標・実施内容	事業指標・評価														
	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
	成果1	若者世帯定住促進補助金の申請件数	件	123.0	100.0	0.0	100.0	100.0	102.0	100.0	101.0	101.0	101.0		
				1	7			102.0%	B	101.0%	B				
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
				0	0										
	効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
				0	0										
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
				0	0										
事業実施内容	平成28年度より事業決定し、市の広報紙やホームページ、関係機関等へのチラシ配布等により事業のPRに努め、平成28年度は30件、平成29年度は139件、平成30年度は116件、令和元年度は123件、令和2年度は100件、令和3年度は102件、令和4年度は101件、合計711件の補助金を交付した。														
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明															
毎年100件程度の利用があり、補助制度として定着しているため、定住人口の増加のため今後も補助制度を継続する必要がある。															
CHECK評価	事業成果	菊川市若者世帯定住促進補助金交付要綱に基づき、補助対象や交付条件を満たす若者世帯の住宅取得者に対し補助金を交付することで、定住人口の増加が図られた。この結果、当該補助金の交付を受けた世帯人数として、7年間で760人が転入し、1,623人の転出が抑制され、計2,383人の人口減少抑制が図られた。													
	事業課題	立地適正化計画が令和3年4月に公表されたことに伴い、子育て世代や居住誘導区域内の住宅取得を推進する取り組みについて検討する必要がある。													
	CHECK評価	各評価結果													
		事業コスト評価						指標評価			事業内容評価			総合判定評価	
		一般財源	96.9%	B	成果	1	B	評価視点	4:高い	A	現状維持	A 計画どおりに事業を進めることが適当			
	総事業コスト	98.1%	B	効率	1		有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」	R6年度の方向性					
	人件費			必要性	4:高い		改善	維持→	成果	維持→	①事業の進め方				
	担当評価	補助金の交付により、定住人口の増加が図られた。													
	CHECK評価	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性													
		広報紙やホームページ、関係機関等へのチラシ配布等により制度の周知に努め、本市における生産年齢人口の増加及び転出抑制を図る。													
CHECK評価		款	項	目	事業番号	事業名称									
		8	5	1	600000	若者世帯定住促進補助事業費									
		予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
		27,000,000		0	100.0%		0	0	0	0	27,000,000				
		R5年度	実施内容												
			若者世帯定住促進補助金の交付												
		R6年度	実施内容												
			若者世帯定住促進補助金の交付												
	計画額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	27,000,000		0	100.0%		0	0	0	0	27,000,000					
R5年度	実施内容														
	若者世帯定住促進補助金の交付														
R6年度	実施内容														
	若者世帯定住促進補助金の交付														
R5年度比較増減要因															
R7年度増減見込み															

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業														
R4	事業名	社会資本整備総合交付金事業潮海寺地区計画																		
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																		
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり																		
	施策	1 良好な住環境をつくります																		
	事業の目的	良好な住環境をつくるため、社会資本整備総合交付金を活用し、官民協働で潮海寺地区の都市基盤整備を行い、狭あい道路整備率の向上及び住環境の改善を図る。		官民協働で潮海寺地区の都市基盤整備を行い、狭あい道路整備率の向上及び住環境の改善を図るため、地区計画道路の測量設計、用地買収、物件移転補償、道路改良工事を行う。																
事業の概要																				
事業成果	整備区間において狭隘道路が解消され、生活道路としての機能を確保するとともに緊急車両の通行や消防活動など防災機能の確保をし、都市機能の向上を図ることができ、災害に強く快適な住環境となった。																			
事業課題	潮海寺地区まちづくり推進協議会を中心に用地補償や工事協力などについて、地域の合意形成が必要不可欠である。																			
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称														
		8	4	5	100000	社会資本整備総合交付金事業潮海寺地区計画														
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源									
		35,759,000	30,770,000	△ 4,989,000	86.0%		13,426,000	0	13,000,000	0	4,344,000									
		事業費割合(事業費/施策費)	R2年度	R3年度	R4年度															
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳														
		予算額	30,763,000	35,759,000	30,770,000	節	決算額	節	決算額											
		決算額	30,559,311	35,391,091	29,810,577	01	報酬	0	16	公有財産購入費	8,262,767									
		不用額	203,689	367,909	959,423	02	給料	253,000	17	備品購入費	0									
		執行率	99.3%	99.0%	96.9%	03	職員手当等	0	18	負担金、補助及び交付金	0									
	財源内訳	国庫支出金	11,305,000	9,330,000	13,426,000	04	共済費	0	19	扶助費	0									
		県支出金	0	0	0	05	災害補償費	0	20	貸付金	0									
		地方債	11,100,000	9,100,000	13,000,000	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	710,115									
		その他	0	0	0	07	報償費	0	22	償還金、利子及び割引料	0									
		一般財源	8,154,311	16,961,091	3,384,577	08	旅費	0	23	投資及び出資金	0									
		前年比較	—	—	208.0% D	20.0% A	09	交際費	0	24	積立金	0								
		職員人件費	0	2,703,000	1,836,000	10	需用費	64,299	25	寄附金	0									
		総事業コスト	30,559,311	38,094,091	31,646,577	11	役務費	0	26	公課費	0									
		前年比較	—	—	124.7% D	83.1% A	12	委託料	15,539,000	27	繰出金	0								
	主財源	潮海寺地区計画社会資本整備総合交付金			13	使用料及び賃借料	741,396		予備費	0										
		地区計画推進事業債			14	工事請負費	4,240,000													
					15	原材料費	0	合計	29,810,577											
	コスト分析	前年度と同程度の事業費規模である。																		
指標・実施内容	事業指標・評価	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値								
		成果1	道路整備延長	m	68.0	52.5	0.0	189.0	19.0	19.0	54.0	54.0								
					1	7			100.0%	B	100.0%	B								
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
					0	0														
		効率1	道路整備延長率	%	50.6	57.9	0.0	0.0	53.8	53.8	54.6	54.6								
					1	7			100.0%	B	100.0%	B								
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
					0	0														
		事業実施内容	潮海寺2-7号線について、改良工事をL=54m実施した。 潮海寺1-5号線について、測量設計業務委託をL=110m、用地買収をN=10筆実施した。 潮海寺4-4、4-5、4-6号線について、路線測量業務委託をL=310m実施した。																	
CHECK評価	各評価結果	事業コスト評価																		
	評価分析・総合判定評価	事業コスト評価	一般財源	20.0%	A	総事業コスト	83.1%	A	指標評価	成果	1	B	2	事業内容評価	評価視点	効率性	4:高い	評価内容	A	現状維持
										効果	1	B	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」					
										人件費			必要性	4:高い						
		総合判定評価	A 計画どおりに事業を進めることが適当																	
			R6年度の方向性																	
			コスト改善	維持→	成果	維持→	①事業の進め方													
		担当評価	潮海寺地区まちづくり推進協議会と協働によるまちづくりを進めることが出来ている。																	
		加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 地区計画道路整備には、潮海寺地区まちづくり推進協議会による地元の合意形成が必要不可欠であるため、情報交換や連携調整を図りながら事業を進めていく必要がある。																	
CHECK評価	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称														
		8	4	5	100000	社会資本整備総合交付金事業潮海寺地区計画														
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源										
		47,861,000	17,091,000	155.5%		22,190,000	0	21,900,000	0	3,771,000										
		実施内容	地区計画道路の整備・測量設計等業務、道路改良工事など					下期実施内容変更見込み												
		R5年度																		
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源										
		45,890,000	△ 1,971,000	95.9%		17,005,000	0	16,800,000	0	12,085,000										
		実施内容	地区計画道路の整備・測量設計等業務、道路改良工事など・事務的経費等					R5年度比較増減要因												
		R6年度																		
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	狭隘道路が解消されることで、生活道路としての機能を確保するとともに緊急車両の通行や消防活動など防災機能の確保をし、都市機能の向上を図ることができ、災害に強く快適な住環境とすることが出来る。																		

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業
R4	事業名	都市計画推進事業				
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち				
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり				
	施策	1 良好な住環境をつくります				
	事業の目的	良好な住環境をつくるため、駅北整備事業により、南北自由通路整備及び駅北駅前広場整備を行い、JR東海道本線菊川駅北側地区にポテンシャルを活かした新たな賑わいを生み出し、職住を含む市民の生活拠点の創出を図る。 市が定める都市計画等を諮問する菊川市都市計画審議会の開催及び都市計画に係る事務、都市計画決定に係る事務、都市計画マスタープランの改定、地図管理、都市計画協会に係る事務等を行う。				
事業の概要						
事業成果	都市計画法等の適切な運用により、調和の取れた土地利用の誘導が図られた。					
事業課題	都市計画法の改正や新たな制度に速やかに対応していく必要がある。					
CHECK評価	各評価結果					
	事業コスト評価				指標評価	
CHECK評価	事業内容評価		評価視点		評価内容	
	A 計画どおりに事業を進めることが適当		A 現状維持		R6年度の方向性	
決算前年比	一般財源		1		B	
	60.0%		2		効率性 4:高い	
総事業コスト	A		1		有効性 4:高い	
74.1%	A		人件費		必要性 4:高い	
担当評価	法令に基づいた事務事業である。					
CHECK評価	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性					
	国、県から提供される情報を課員に共有したり、説明会に参加したりするなどにより、法の改正や新たな制度に速やかに対応していく。					
CHECK評価	加える変化					
CHECK評価	実行計画事業					
	R5年度					
CHECK評価	R6年度					
	R7年度					
CHECK評価	事業実施内容					
	法令に基づいた事務事業である。					
CHECK評価	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明					
	法令に基づいた事務事業である。					

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業
R4	事業名	土地利用等対策事業				
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち				
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり				
	施策	1 良好な住環境をつくります				
	事業の目的	良好な住環境をつくるため、土地利用等対策事業により、市内の均衡ある発展と都市機能と自然環境が共生するまちを目指すため、各種法制度の適正な運用を図り、調和の取れた土地利用を促し、良好な住環境づくりを図る。		事業の概要 ・土地利用等規制に係る事務 ・都市計画課所管の調整池に係る管理		
事業成果	提出される申請書類を法令に基づき適正に処理したことで、調和の取れた土地利用や良好な住環境を確保することができた。					
事業課題	書類不備の対応に時間と手間を要する。					
事業コスト分析	事業コスト評価	各評価結果			総合判定評価	
	事業内容評価	B 事業の進め方の改善の検討			R6年度の方向性	
CHECK評価	事業内容	R5年度 実施内容			R6年度 実施内容	
	事業実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明				
予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称			
CHECK評価	8 4 1	200000	土地利用等対策費			
	R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	851,000	853,000	2,000	100.2%	0 30,000 0 60,000	763,000
	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度	
	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳	
	予算額	965,000	851,000	853,000	節 決算額	節 決算額
	決算額	961,298	843,858	839,347	01 報酬	0 16 公有財産購入費
	不用額	3,702	7,142	13,653	02 給料	0 17 備品購入費
	執行率	99.6%	99.2%	98.4%	03 職員手当等	0 18 負担金、補助及び交付金
	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0 19 扶助費
県支出金	54,000	101,472	30,000	05 災害補償費	0 20 貸付金	
地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0 21 補償、補填及び賠償金	
その他	222,500	1,212,760	1,635,815	07 報償費	0 22 償還金、利子及び割引料	
一般財源	684,798	△ 470,374	△ 826,468	08 旅費	73,530 23 投資及び出資金	
前年比較	— —	-68.7% A	175.7% D	09 交際費	0 24 積立金	
職員人件費	0	4,658,000	4,718,000	10 需用費	705,817 25 寄附金	
総事業コスト	961,298	5,501,858	5,557,347	11 役務費	0 26 公課費	
前年比較	— —	572.3% D	101.0% D	12 委託料	0 27 繰出金	
主財源	土地利用規制等対策費交付金			13 使用料及び賃借料	0 予備費	
				14 工事請負費	0	
				15 原材料費	0 合計 839,347	
コスト分析	法令に基づく事務のためコスト分析はできない。					
指標・実施内容	事業指標・評価		R2年度	R3年度	R4年度	
	指標名	単位	現状値 年度	目標値 年度	目標値 実績値 達成率 評価	目標値 実績値 達成率 評価
成果1	各種法制度の適切な運用により調和の取れた土地利用の誘導を図る(土地利用委員会開催回数)	回数	3.0 年度	5.0 年度	0.0 0.0 達成率 評価	5.0 3.0 5.0 5.0 達成率 評価
成果2			0.0 0	0.0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 達成率 評価	0.0 0.0 0.0 0.0 達成率 評価
効率1			0.0 0	0.0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 達成率 評価	0.0 0.0 0.0 0.0 達成率 評価
効率人件費			0 0	0 0	0 0 0 0 達成率 評価	0 0 0 0 達成率 評価
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為、国土法、県屋外広告物条例等、土地利用等規制に係る各種法制度に関する事務手続きを行った 各種法令に関する会議及び研修に参加した 調整池(市内3か所分)の土砂撤去等を実施した 大規模盛土造成地の調査に係る検討を行った 					
実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明					
実施内容	法令に基づいた事務事業である。					
実施内容	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性					
実施内容	書類不備をなくすため、記載例やチェックリストが必要。					
実施内容	R5年度 実施内容					
実施内容	R6年度 実施内容					
実施内容	R7年度 増減見込み					
実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明					
実施内容	法令に基づいた事務事業である。					

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業
R4	事業名	建築住宅推進事業				
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち				
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり				
	施策	1 良好な住環境をつくります				
	事業の目的	良好な住環境をつくるため、建築住宅推進事業における研修会等への参加によって、建築・住宅担当職員の質の向上と住宅施策の普及推進及び住生活の安定の確保により、市民の生命・財産の保護を図る。		事業の概要 ・建築基準法等に係る事務及び建築関係市町職員研修会への参加 ・県住宅行政連絡協議会及び県公共建築推進協議会等への参加 ・応急危険度判定、応急仮設住宅及び住宅の応急修理に係る研修会への参加		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県より建設資材等価格表の提供を受け、庁内における建築工事の積算業務への利用が図られた。 応急危険度判定訓練を実施し、判定士への連絡体制や災害時に判定コーディネーターとしての対応を確認した。 					
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> 建築工事に係る知識や情報の取得に速やかに対応していく必要がある。 応急危険度判定士との連絡体制を改善する必要がある。 					
事業コスト分析	各評価結果					
	事業コスト評価			指標評価		事業内容評価
	一般財源	66.5%	A	成果	1 S	評価視点
	総事業コスト	35.2%	A	効率	1 B	評価内容
	R6年度の方向性		A 計画どおりに事業を進めることが適当			
	コスト改善		維持→ 成果 維持→			
	①事業の進め方		計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」			
	担当評価 建築に係る県からの情報について、庁内担当課へ情報共有することができた。					
	A C T I O N 改善 課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 国、県から提供される情報を課員や建築業務に携わる職員に共有する。					
	CHECK評価	事業指標・評価				
R2年度		R3年度		R4年度		
指標名		単位	現状値	目標値	実績値	評価
成果1		課	12.0	10.0	0.0	13.0
成果2		課	0.0	0.0	0.0	0.0
効率1		人	0.0	3.0	0.0	1.0
効率人件費		人	0.0	0.0	0.0	0.0
事業実施内容 ・建築工事の積算に必要な刊行物掲載価格情報の利用料の支払い。 ・県住宅行政連絡協議会及び県公共建築推進協議会の負担金支払い。 ・被災地危険度判定に必要な消耗品の購入。 ・県総合防災訓練代替訓練における応急危険度判定訓練用の備品購入。 ・菊川市社会資本整備総合交付金事業評価委員会に関する報償費等の支払い。 ・静岡県マンション管理適正化推進協議会負担金の支払い。						
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 公共建築工事の発注及び、市の住宅施策の推進に必要な事業である。						

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業	○							
R4	事業名	駅南北自由通路整備事業												
総合計画	体系・概要	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち											
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり												
	施策	1 良好な住環境をつくります												
	事業の目的	良好な住環境をつくるため、駅南北自由通路整備事業により、南北自由通路整備を行い、JR東海道本線菊川駅北側地区にポテンシャルを活かした新たな賑わいを生み出し、職住を含む市民の生活拠点の創出を図る。		事業の概要			JR東海道本線菊川駅南北自由通路整備に係る事務を行う。							
事業コスト分析	予算(円)	款 項 目	事業番号		事業名称									
		8 4 2	500000		駅南北自由通路整備事業費									
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		0	146,644,000	146,644,000			25,200,000	22,850,000	22,600,000	81,100,000	△ 5,106,000			
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度								
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳								
		予算額	0	0	146,644,000	節	決算額	節	決算額					
		決算額	0	0	67,386,940	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0					
		不用額	0	0	79,257,060	02 給料	0	17 備品購入費	0					
		執行率			46.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0					
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	0	0	18,479,000	04 共済費	0	19 扶助費	0					
		県支出金	0	0	7,560,000	05 災害補償費	0	20 貸付金	0					
		地方債	0	0	16,600,000	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0					
		その他	0	0	24,570,920	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0					
		一般財源	0	0	177,020	08 旅費	78,900	23 投資及び出資金	0					
	前年比較	—	—		09 交際費	0	24 積立金	0						
	職員人件費	0	0	3,038,000	10 需用費	98,120	25 寄附金	0						
	総事業コスト	0	0	70,424,940	11 役務費	0	26 公課費	0						
	前年比較	—	—		12 委託料	40,809,920	27 繰出金	0						
	主財源	まちづくり基金繰入金		23,570,920	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0						
都市構造再編集中支援事業補助金			18,479,000	14 工事請負費	26,400,000									
駅整備事業債他			25,160,000	15 原材料費	0	合計	67,386,940							
令和4年度から新たに設けた事業のため、前年度比は皆増となっている。														
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度						
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
		成果1	菊川駅南北自由通路の整備率(事業費割合)	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0		
					3	7					100.0%	B		
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	効率人件費			0	0									
	事業実施内容	・JR東海道本線菊川駅南北自由通路整備に伴う委託料 南北自由通路L=90m、詳細設計(R4) ・菊川駅南北自由通路整備工事に伴う仮設ヤード等整備工事 ・菊川駅南北自由通路整備工事に伴う物件移転及び営業補償等調査 ・駅前広場整備に伴うまちづくり活用可能性調査業務委託												
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明													
CHECK評価	事業成果	JR東海道本線菊川駅南北自由通路及び橋上駅舎の詳細設計をJRへ委託することで、事業進捗を図った。 また、JR工事に必要な仮設ヤード等の一部整備を実施したことで、事業進捗を図った。									駅利用者等への周知や関係機関との協議を適切に実施することで、スムーズに事業を進める必要がある。			
		各評価結果										総合判定評価		
		事業コスト評価		指標評価		事業内容評価						B	事業の進め方の改善の検討	
		一般財源	成果	1	B	評価視点		評価内容				R6年度の方向性		
			D	2		効率性	4:高い	A	現状維持	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」		コスト	縮小↓	成果
	総事業コスト	効率	1		有効性	4:高い					改善	①事業の進め方		
		人件費			必要性	4:高い								
	引き続きJRとの協定に基づき、事業を推し進めていく。													
	担当評価													
	CHECK評価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性											
早めの協議と情報提供を行うことで、円滑な事業実施を図る必要がある。														
実施内容		款 項 目	事業番号		事業名称									
		8 4 2	500000		駅南北自由通路整備事業費									
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
		683,193,000	536,549,000	465.9%		330,200,000	1,500,000	297,100,000	54,150,000	243,000				
		・菊川駅南北自由通路整備工事 ・南口駅前広場等仮設工事 ・補償費 ・その他工事を円滑に進めるための必要な事務		下期実施内容変更見込み										
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
2,992,259,000	2,309,066,000	438.0%		1,421,200,000	0	1,492,200,000	78,000,000	859,000						
・菊川駅南北自由通路整備工事 ・補償費 ・その他工事を円滑に進めるための必要な事務		R5年度比較増減要因												
R6年度														
R7年度増減見込み														

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業																								
R4	事業名	街路事業推進事業																												
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																												
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり																												
	施策	2 幹線道路や生活道路を整備します																												
	事業の目的	街路等を整備するため、街路事業促進協議会等へ負担金支出を行い、事業の円滑化と街路整備の推進を図る。		事業の概要 ・旅費 ・負担金																										
事業コスト分析	事業の目的																													
	事業成果	各会に加入していることにより研修会等への参加や情報提供による職員の知識向上や情報享受機会の拡大、県他市町との意見交換機会等の確保による課題解決や円滑な事業推進を図った。																												
	事業課題	コロナが蔓延すると研修会、総会、意見交換会等の非開催や規模縮小により情報享受機会や手段が減少する																												
	各評価結果	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト評価</th> <th>指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>成果</td> <td>1</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>65.3%</td> <td>2</td> <td>効率性</td> <td>4:高い</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>効率</td> <td>1</td> <td>有効性</td> </tr> <tr> <td>199.3%</td> <td>2</td> <td>必要性</td> <td>4:高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人件費</td> <td></td> </tr> </table>				事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		一般財源	成果	1	B	65.3%	2	効率性	4:高い	総事業コスト	効率	1	有効性	199.3%	2	必要性	4:高い			人件費		総合判定評価
	事業コスト評価	指標評価	事業内容評価																											
	一般財源	成果	1	B																										
	65.3%	2	効率性	4:高い																										
	総事業コスト	効率	1	有効性																										
	199.3%	2	必要性	4:高い																										
			人件費																											
評価分析・総合判定評価	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td colspan="3">計画どおりに事業を進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="4">R6年度の方向性</td> </tr> <tr> <td>コスト</td> <td>維持→</td> <td>成果</td> <td>維持→</td> </tr> <tr> <td>改善</td> <td></td> <td colspan="2">①事業の進め方</td> </tr> </table>				A	計画どおりに事業を進めることが適当			R6年度の方向性				コスト	維持→	成果	維持→	改善		①事業の進め方											
A	計画どおりに事業を進めることが適当																													
R6年度の方向性																														
コスト	維持→	成果	維持→																											
改善		①事業の進め方																												
担当評価	各会に加入し続けることで、情報享受機会を確保し県他市町と連携を継続することは重要である。																													
加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 コロナによる機会減少への取組として、書面での意見交換やWEBを活用した情報交換を推進することで、機会を確保する。																													
CHECK評価	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称																								
		8	4	2	100000	街路事業推進費																								
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																	
		98,000		66,000		△ 32,000	67.3%		0	0	0	0	66,000																	
		事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度																							
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳																								
		予算額	87,000	98,000	66,000	節	決算額	節	決算額																					
		決算額	87,000	87,790	57,330	01	報酬	0	16	公有財産購入費	0																			
		不用額	0	10,210	8,670	02	給料	0	17	備品購入費	0																			
		執行率	100.0%	89.6%	86.9%	03	職員手当等	0	18	負担金、補助及び交付金	53,000																			
	国庫支出金	0	0	0	04	共済費	0	19	扶助費	0																				
	県支出金	0	0	0	05	災害補償費	0	20	貸付金	0																				
	地方債	0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0																				
	その他	0	0	0	07	報償費	0	22	償還金、利子及び割引料	0																				
	一般財源	87,000	87,790	57,330	08	旅費	4,330	23	投資及び出資金	0																				
	前年比較	—	—	100.9%	D	65.3%	A	09	交際費	0	24	積立金	0																	
	職員人件費	0	100,000	317,000	10	需用費	0	25	寄附金	0																				
	総事業コスト	87,000	187,790	374,330	11	役務費	0	26	公課費	0																				
	前年比較	—	—	215.9%	D	199.3%	D	12	委託料	0	27	繰出金	0																	
	主財源																													
	13	使用料及び賃借料	0	予備費	0																									
	14	工事請負費	0																											
	15	原材料費	0	合計	57,330																									
	コスト分析	前年度と比較して事業費が減少した。																												
CHECK評価	実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称																								
		8	4	2	100000	街路事業推進費																								
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
		132,000	66,000	200.0%		0	0	0	0	132,000																				
		<ul style="list-style-type: none"> 県街路事業促進協議会等の旅費 県街路事業促進協議会負担金 無電柱化を促進する市区町村長の会負担金 県土地区画整理組合連合会費 					下期実施内容変更見込み																							
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
		100,000	△ 32,000	75.8%		0	0	0	0	100,000																				
		<ul style="list-style-type: none"> 県街路事業促進協議会等の旅費 県街路事業促進協議会負担金 無電柱化を促進する市区町村長の会負担金 県土地区画整理組合連合会費 					R5年度比較増減要因																							
		<ul style="list-style-type: none"> 県街路事業促進協議会等の旅費 県街路事業促進協議会負担金 無電柱化を促進する市区町村長の会負担金 県土地区画整理組合連合会費 					R7年度増減見込み																							
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 各会に加入していることにより研修会等への参加や情報提供による職員の知識向上や情報享受機会の拡大、県他市町との意見交換機会等の確保による課題解決や円滑な事業推進を図ることは重要である。																												
指標・実施内容	事業実施内容	普通旅費、街路事業促進協議会負担金、無電柱化を推進する市区町村長の会負担金、県土地区画整理組合連合会費																												
	指標評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度																						
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値																	
		成果1	街路事業推進を図るための加入団体数	団体	3.0	3.0	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0																	
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																	
		効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																	
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																	
		R5年度比較増減要因																												
		R7年度増減見込み																												
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 各会に加入していることにより研修会等への参加や情報提供による職員の知識向上や情報享受機会の拡大、県他市町との意見交換機会等の確保による課題解決や円滑な事業推進を図ることは重要である。																												

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業					
R4	事業名	市単独街路改良整備事業									
総合計画	体系・概要	基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち 政策 5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり 施策 2 幹線道路や生活道路を整備します									
	事業の目的	街路等を整備するため、市単独街路改良整備事業により、都市計画道路の維持修繕及び整備を実施し、安全で快適な道路環境の維持を図る。									
	事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・街路道路側溝、道路付属物修繕 ・建物共済保険料 ・物件移転補償費 ・街路材料費 									
	事業成果	都市計画街路の維持修繕等を実施し、安全で快適な道路環境の維持を図ることが出来た。									
事業課題	街路維持に必要な措置箇所等の把握										
事業コスト分析	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称							
	8 4 2	200000	市単独街路改良整備事業費								
	R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源					
	453,000	355,000	△ 98,000	78.4%	0 0 0 0 355,000						
	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
	予算額	453,000	453,000	355,000	節 決算額	節 決算額					
	決算額	443,326	439,576	336,624	01 報酬 0	16 公有財産購入費 0					
	不用額	9,674	13,424	18,376	02 給料 0	17 備品購入費 0					
	執行率	97.9%	97.0%	94.8%	03 職員手当等 0	18 負担金、補助及び交付金 0					
CHECK評価	CHECK評価	国庫支出金	0	0	0	04 共済費 0	19 扶助費 0				
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費 0	20 貸付金 0				
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金 0	21 補償、補填及び賠償金 0				
		その他	0	0	0	07 報償費 0	22 償還金、料子及び割引料 0				
		一般財源	443,326	439,576	336,624	08 旅費 0	23 投資及び出資金 0				
		前年比較	— —	99.2% B	76.6% A	09 交際費 0	24 積立金 0				
		職員人件費	0	195,000	188,000	10 需用費 284,460	25 寄附金 0				
		総事業コスト	443,326	634,576	524,624	11 役務費 2,796	26 公課費 0				
		前年比較	— —	143.1% D	82.7% A	12 委託料 0	27 繰出金 0				
		主財源				13 使用料及び賃借料 0	予備費 0				
				14 工事請負費 0							
				15 原材料費 49,368	合計 336,624						
コスト分析	前年度と比較して事業費が減少した。										
指標・実施内容	指標・実施内容	事業指標・評価		R2年度	R3年度	R4年度					
		指標名	単位	現状値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
		成果1	都市計画道路の維持修繕及び整備箇所数	箇所	2.0	2.0	0.0	5.0	2.0	4.0	2.0
					1	7		200.0%	S	100.0%	B
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					0	0					
		効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					0	0					
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					0	0					
事業実施内容	街路修繕工事(朝日線:歩道照明灯取替 N=5灯、青葉通り嶺田線:法面コンクリート打設 A=20m)、駅前広場モニュメント保険料、街路材料代金										
CHECK評価	CHECK評価	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明									
		安全で快適な道路環境の維持には、継続的な維持修繕等が必要である。									
		課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性									
		限られた予算のなかで優先順位をつけ維持管理を進める。									
		R5年度 実施内容									
		款 項 目	事業番号	事業名称							
		8 4 2	200000	市単独街路改良整備事業費							
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		403,000	48,000	113.5%	0 0 0 0 403,000						
		街路道路側溝、道路付属物等の修繕工事の実施 モニュメント保険料									
下期実施内容変更見込み											
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
503,000	100,000	124.8%	0 0 0 0 503,000								
R6年度 実施内容											
街路道路側溝、道路付属物等の修繕工事の実施 モニュメント保険料											
R5年度比較増減要因											
R7年度増減見込み											

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業															
R4	事業名	県費補助青葉通り嶺田線整備事業										事業成果	事業課題								
	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																			
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり																			
	施策	2 幹線道路や生活道路を整備します																			
総合計画	体系・概要	事業の目的				事業の概要				C H E C K 評価											
		都市計画道路を整備するため、県費補助青葉通り嶺田線整備事業において県の都市計画街路事業費補助金を活用し、都市計画道路青葉通り嶺田線の都市計画道路平川公園通り線から市道西51号線までの区間の調査設計と関係機関協議を行い、国の社会資本整備総合交付金での事業化に向けて検討し、街路整備の促進を図る。				(都)青葉通り嶺田線の整備に必要な測量設計、地質調査、土質調査、用地調査、関係機関協議等の業務を行う。				歩行者・自転車・自動車が安全に通行するための歩道整備を計画することが出来た。また、片側1車線ずつの車道と両側歩道及び自転車通行帯を計画したことにより、課題となっている小松洗橋での車両のすれ違いと歩行者及び自転車の分離が可能となり、円滑で安全な道路交通を計画することが出来た。これらの道路計画に必要な用地測量を実施することで、整備に必要な土地の面積を把握することが出来た。				橋梁架け替えや建物物件移転補償に高額な事業費と長期の事業期間を要することが課題である。							
事業コスト分析	決算(円)	款 項 目		事業番号		事業名称						各評価結果		総合判定評価							
		8	4	2	300000	県費補助青葉通り嶺田線整備事業費						A		計画どおりに事業を進めることが 適当							
		R3年度		R4年度		前年増減		前年比		財源内訳		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
		20,504,000		13,719,000		△ 6,785,000		66.9%		0		3,150,000		0		0		0		10,569,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度		R3年度		R4年度													
		項目		R2年度		R3年度		R4年度		事業費内訳											
		予算額		23,694,000		20,504,000		13,719,000		節 決算額		節		決算額							
		決算額		23,694,000		20,163,000		9,768,000		01 報酬		0		16 公有財産購入費		0					
		不用額		0		341,000		3,951,000		02 給料		0		17 備品購入費		0					
		執行率		100.0%		98.3%		71.2%		03 職員手当等		0		18 負担金、補助及び交付金		0					
国庫支出金		0		0		0		04 共済費		0		19 扶助費		0							
県支出金		5,750,000		5,000,000		2,440,000		05 災害補償費		0		20 貸付金		0							
地方債		0		0		0		06 恩給及び退職年金		0		21 補償、補填及び賠償金		0							
その他		0		0		0		07 報償費		0		22 償還金、料子及び割引料		0							
一般財源		17,944,000		15,163,000		7,328,000		08 旅費		0		23 投資及び出資金		0							
前年比較		— —		84.5% A		48.3% A		09 交際費		0		24 積立金		0							
職員人件費		0		1,472,000		1,867,000		10 需用費		0		25 寄附金		0							
総事業コスト		23,694,000		21,635,000		11,635,000		11 役務費		0		26 公課費		0							
前年比較		— —		91.3% B		53.8% A		12 委託料		9,768,000		27 繰出金		0							
主財源		都市計画街路事業費補助金		2,440,000		13 使用料及び賃借料		0		予備費		0									
コスト分析		業務内容の違いにより減額となった。 令和3年度:道路詳細設計、令和4年度:用地測量、物件調査										A C T I O N 改善		課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 活用できる交付金や補助金、起債を積極的に活用し、市の一般財源の持ち出しを減らしていく必要がある。							
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度							
		指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値					
		成果1	道路測量設計延長	m	210.0	570.0	0.0	217.2	570.0	570.0	570.0	570.0	570.0	570.0	570.0	570.0					
					1	5			100.0%	B	100.0%	B	100.0%	B	100.0%	B					
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
					0	0															
		効率1	道路測量設計延長率	%	36.8	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0						
					1	5			100.0%	B	100.0%	B	100.0%	B	100.0%	B					
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
					0	0															
事業実施内容		・用地測量の実施 ・物件補償調査の実施										R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み									
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 用地測量業務は、道路整備を進めるうえで必要な実施内容である。																					
CHECK評価	実行計画事業(円)	款 項 目		事業番号		事業名称						R5年度		R6年度							
		8	4	2	300000	県費補助青葉通り嶺田線整備事業費						実施内容		実施内容							
		予算額		前年増減額		前年比		財源内訳		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源			
		14,885,000		1,166,000		108.5%		0		3,350,000		0		0		77,000		11,458,000			
		○県費補助青葉通り嶺田線整備事業費 ・旅費 ・補償物件調査業務委託 ・関係機関協議 ・不動産鑑定評価 ・職員研修負担金																			
		下期実施内容変更見込み																			
		計画額		前年増減額		前年比		財源内訳		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源			
		5,000,000		△ 9,885,000		33.6%		0		0		0		0		0		5,000,000			
		国費対象外部分を県費補助で対応(都決範囲外) ・用地買収 ・物件補償																			

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業				
R4	事業名	その他公園管理事業								
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり								
	施策	3 公園などの整備を進めます								
	事業の目的	適切な公園維持管理及び整備を進めるため、その他公園管理事業により、その他公園修繕や維持管理に必要な委託事務を行い、憩いの場として利用者が安心して利用できる公園機能の維持を図る。		事業の概要 ・公園修繕費 ・委託料						
事業コスト分析	事業成果	除草清掃等を実施したことにより、その他公園の適切な維持管理が図られた。								
	事業課題	施設の老朽化の進行に伴い、維持管理費が徐々に上昇している。								
	各評価結果	事業コスト評価				総合判定評価				
	評価分析・総合判定評価	事業内容評価	指標評価	1 B		B 事業の進め方の改善の検討				
			事業内容評価	評価視点						
			評価内容	A 現状維持						
	決算前年比	一般財源	118.0%	D	成果	1 B	効率性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	R6年度の方向性
	総事業コスト	43.5%	A	効率	1 B	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	コスト 縮小↓ 成果 維持→	
	人員費					必要性	4:高い		①事業の進め方	
	担当評価	サングリーン公園を地元自治会へ一部管理を委託しており、経費削減に努めている。								
CHECK評価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 今後も自治会と良好な関係を構築し続け、管理委託を継続し経費削減していくことが重要である。								
	実行計画事業	款	項	目	事業番号	事業名称				
		8	4	6	300000	その他公園管理費				
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		304,000	△ 36,000	89.4%		0	0	0	0	304,000
		都市計画課が所管する都市公園以外の公園維持管理のための修繕、除草作業委託料					下期実施内容変更見込み			
		(堤・サングリーン公園)								
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		279,000	△ 25,000	91.8%		0	0	0	0	279,000
		都市計画課が所管する都市公園以外の公園維持管理のための修繕、除草作業委託料					R5年度比較増減要因			
(堤・サングリーン公園)										
指標・実施内容	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度			
	指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値		
	成果1	箇所	2.0	3.0	0.0	2.0	3.0	3.0		
	成果2	箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	効率1	箇所	2.0	3.0	0.0	2.0	3.0	3.0		
	効率人件費	箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	除草清掃作業業務委託(2公園)、自治会委託(1自治会)、堤公園剪定業務(N=20本)									
	事業実施内容									
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 利用者が安心して利用しやすいその他公園とするには、適切な除草等の維持管理が必要である。									

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	都市計画課	担当係	重点事業
R4	事業名	都市公園整備事業				
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち				
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり				
	施策	3 公園などの整備を進めます				
	事業の目的	公園整備を進めるため、都市公園整備事業により、老朽化した施設の更新等の整備を行うことで、利用者が安全・快適に利用できる公園環境の提供を図る。		都市公園の整備事業として、トイレのユニバーサルデザイン化、照明灯LED化、老朽化した施設の更新等を行う。		
事業の概要						
事業成果	施設を交換、更新、設置、修繕等することにより、適切な施設管理に繋がった。また、LED照明に交換することで、ライフサイクルコストを低減することが出来た。					
事業課題	施設の老朽化は進行し続けるため、定期的な点検を継続し、危険が生じる前に計画的に対応していく必要があるが、それらにかかる費用対効果を考えながら修繕等をしていくことが課題である。					
事業コスト分析	各評価結果					
	事業コスト評価				指標評価	
CHECK評価	総合判定評価					
	事業内容評価				事業の進め方の改善の検討	
CHECK評価	R6年度の方向性					
	コスト				維持→	
CHECK評価	①事業の進め方					
	施設の老朽化は進行し続けるため、整備費を毎年確保し、公園利用者が安全に利用できる公園を維持することが重要である。					
CHECK評価	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性					
	大型複合遊具の老朽化が進行し、多額の更新費用が必要となることが想定されることから今後の整備の見直しを検討する必要がある。					
CHECK評価	実施内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレ設置工事 ・都市公園照明灯LED交換工事(4公園7灯) ・海足公園下水道接続工事 ・菊川運動公園トイレ改修工事 ・菊川中央公園園路階段改修工事 ・柳1号公園遊具等設置工事 					
CHECK評価	R5年度比較増減要因					
	R7年度増減見込み					
CHECK評価	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明					
	市民が安心・快適に利用できる公園を提供するためには、老朽化した施設等の更新や遊具等の整備が必要である。					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園照明灯LED交換工事(8公園10箇所/柳1号公園1箇所、柳2号公園1箇所、柳3号公園1箇所、駅南1号公園1箇所、駅南2号公園1箇所、駅南3号公園2箇所、駅南4号公園1箇所、星ヶ丘公園2箇所) ・朝日公園多目的トイレ設置工事(多目的トイレ設置1基) ・菊川中央公園園路階段修繕工事(N=61段) ・宮の西公園遊具設置工事(プランコN=1基) ・青葉台1及び2号公園立入防止柵設置工事(設置工N=7箇所) ・菊川運動公園屋外トイレ洋式化改修工事(N=2基) ・セントラルパーク屋外時計設置工事(N=1基) 					

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業																																																																																																																																								
R4	事業名	就労支援事業																																																																																																																																												
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち																																																																																																																																												
	政策	3 商工業が活気あるまちづくり																																																																																																																																												
	施策	1 就労機会の拡大を図ります																																																																																																																																												
	事業の目的	就労機会の拡大を図るため、就労支援事業により、就労支援や障害者の職業生活の自立を支援することで、多様な人材の地域就労を促し、個々の能力を地域で有効に発揮することができる環境づくりの推進を図る。		事業の概要 ハローワークと協働した女性の就労・再就職への後押しのための就労支援事業者や、セミナー、合同企業説明会、高校生等を対象としたバスツアー等を実施する。また、近隣市町やハローワークと協働で、地域の雇用対策事業を実施する。																																																																																																																																										
事業成果	女性就労支援事業については、セミナーや企業説明会の参加者の中から5名の就労が決定するとともに、企業見学バスツアーについては、高校生等のニーズに合わせて開催時期を変更したことで、多くの方に参加いただいた。																																																																																																																																													
事業課題	なでしこワークでは、参加者の増加により、ハローワークの相談員との面談に時間を要することがある。女性就労・就業支援事業では、参加者及び就業決定者の目標値に達しているものの、事業内で紹介した企業外への就業もある。																																																																																																																																													
事業コスト分析	事業費内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>節</th> <th>決算額</th> <th>節</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>2,369,000</td> <td>2,352,000</td> <td>2,374,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>2,281,257</td> <td>2,243,657</td> <td>2,274,358</td> <td>01 報酬</td> <td>0</td> <td>16 公有財産購入費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不用額</td> <td>87,743</td> <td>108,343</td> <td>99,642</td> <td>02 給料</td> <td>0</td> <td>17 備品購入費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>執行率</td> <td>96.3%</td> <td>95.4%</td> <td>95.8%</td> <td>03 職員手当等</td> <td>0</td> <td>18 負担金、補助及び交付金</td> <td>808,028</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>736,000</td> <td>720,000</td> <td>730,000</td> <td>04 共済費</td> <td>0</td> <td>19 扶助費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>05 災害補償費</td> <td>0</td> <td>20 貸付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>06 恩給及び退職年金</td> <td>0</td> <td>21 補償、補填及び賠償金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>07 報償費</td> <td>0</td> <td>22 償還金、料子及び割引料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,545,257</td> <td>1,523,657</td> <td>1,544,358</td> <td>08 旅費</td> <td>0</td> <td>23 投資及び出資金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>—</td> <td>98.6% B</td> <td>101.4% D</td> <td>09 交際費</td> <td>0</td> <td>24 積立金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>職員人件費</td> <td>0</td> <td>1,192,000</td> <td>2,702,000</td> <td>10 需用費</td> <td>7,210</td> <td>25 寄附金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>2,281,257</td> <td>3,435,657</td> <td>4,976,358</td> <td>11 役務費</td> <td>0</td> <td>26 公課費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>—</td> <td>150.6% D</td> <td>144.8% D</td> <td>12 委託料</td> <td>1,459,120</td> <td>27 繰出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>主財源</td> <td colspan="2">地域女性活躍推進交付金</td> <td>730,000</td> <td>13 使用料及び賃借料</td> <td>0</td> <td>予備費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>14 工事請負費</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>15 原材料費</td> <td>0</td> <td>合計</td> <td>2,274,358</td> </tr> </tbody> </table>					項目	R2年度	R3年度	R4年度	節	決算額	節	決算額	予算額	2,369,000	2,352,000	2,374,000					決算額	2,281,257	2,243,657	2,274,358	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0	不用額	87,743	108,343	99,642	02 給料	0	17 備品購入費	0	執行率	96.3%	95.4%	95.8%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	808,028	国庫支出金	736,000	720,000	730,000	04 共済費	0	19 扶助費	0	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0	その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0	一般財源	1,545,257	1,523,657	1,544,358	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0	前年比較	—	98.6% B	101.4% D	09 交際費	0	24 積立金	0	職員人件費	0	1,192,000	2,702,000	10 需用費	7,210	25 寄附金	0	総事業コスト	2,281,257	3,435,657	4,976,358	11 役務費	0	26 公課費	0	前年比較	—	150.6% D	144.8% D	12 委託料	1,459,120	27 繰出金	0	主財源	地域女性活躍推進交付金		730,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0					14 工事請負費	0							15 原材料費	0	合計	2,274,358
	項目	R2年度	R3年度	R4年度	節	決算額	節	決算額																																																																																																																																						
	予算額	2,369,000	2,352,000	2,374,000																																																																																																																																										
	決算額	2,281,257	2,243,657	2,274,358	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0																																																																																																																																						
	不用額	87,743	108,343	99,642	02 給料	0	17 備品購入費	0																																																																																																																																						
	執行率	96.3%	95.4%	95.8%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	808,028																																																																																																																																						
	国庫支出金	736,000	720,000	730,000	04 共済費	0	19 扶助費	0																																																																																																																																						
	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0																																																																																																																																						
	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0																																																																																																																																						
	その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0																																																																																																																																						
一般財源	1,545,257	1,523,657	1,544,358	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0																																																																																																																																							
前年比較	—	98.6% B	101.4% D	09 交際費	0	24 積立金	0																																																																																																																																							
職員人件費	0	1,192,000	2,702,000	10 需用費	7,210	25 寄附金	0																																																																																																																																							
総事業コスト	2,281,257	3,435,657	4,976,358	11 役務費	0	26 公課費	0																																																																																																																																							
前年比較	—	150.6% D	144.8% D	12 委託料	1,459,120	27 繰出金	0																																																																																																																																							
主財源	地域女性活躍推進交付金		730,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0																																																																																																																																							
				14 工事請負費	0																																																																																																																																									
				15 原材料費	0	合計	2,274,358																																																																																																																																							
コスト分析	就業就労環境支援事業委託料には大きな変化はないが全体では微減となった。																																																																																																																																													
指標・実施内容	事業指標・評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> </tr> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果1</td> <td>なでしこワーク年間来訪者数</td> <td>人</td> <td>252.0</td> <td>180.0</td> <td>0.0</td> <td>257.0</td> <td>240.0</td> <td>225.0</td> <td>240.0</td> <td>271.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td></td> <td>93.8%</td> <td>B</td> <td>112.9%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td>来訪者一人当たりのコスト</td> <td>円</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td>100.0%</td> <td>B</td> <td>100.0%</td> <td>B</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td>人件費</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果1	なでしこワーク年間来訪者数	人	252.0	180.0	0.0	257.0	240.0	225.0	240.0	271.0				1	7		93.8%	B	112.9%	A	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0						効率1	来訪者一人当たりのコスト	円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				1	7	100.0%	B	100.0%	B	100.0%	効率	人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0																																												
	指標名	単位	R2年度		R3年度				R4年度																																																																																																																																					
			現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																																																																																				
	成果1	なでしこワーク年間来訪者数	人	252.0	180.0	0.0	257.0	240.0	225.0	240.0	271.0																																																																																																																																			
				1	7		93.8%	B	112.9%	A																																																																																																																																				
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																				
				0	0																																																																																																																																									
	効率1	来訪者一人当たりのコスト	円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																				
				1	7	100.0%	B	100.0%	B	100.0%																																																																																																																																				
	効率	人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																				
			0	0																																																																																																																																										
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・なでしこワーク:12回実施、延べ271人参加 ・セミナー・企業バスツアー・合同企業説明会:5回実施、延べ69人参加 ・シニア相談会・面接会:4回実施、延べ23人参加 ・企業説明会(小笠地区雇用対策協議会事業):7社参加、延べ142人参加 ・企業見学バスツアー(高校生、大学生対象):7社参加、延べ22人参加 																																																																																																																																													
指標評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果1</td> <td>人</td> <td>252.0</td> <td>180.0</td> <td>0.0</td> <td>257.0</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td>円</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	現状値	目標値	達成率	評価	成果1	人	252.0	180.0	0.0	257.0	成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	効率1	円	0.0	0.0	0.0	0.0	効率		0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																											
指標名	単位	現状値	目標値	達成率	評価																																																																																																																																									
成果1	人	252.0	180.0	0.0	257.0																																																																																																																																									
成果2		0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																									
効率1	円	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																									
効率		0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																									
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業に係る旅費及び消耗品費 ・就業就労環境支援事業に係る委託料 ・小笠地区雇用対策協議会負担金 ・小笠高等職業訓練校負担金 ・中東遠地域障害者就労支援事業運営協議会負担金 																																																																																																																																													
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,352,000</td> <td>12,000</td> <td>100.5%</td> <td></td> <td>774,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,578,000</td> </tr> </tbody> </table>					計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	2,352,000	12,000	100.5%		774,000	0	0	0	1,578,000																																																																																																																							
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																						
2,352,000	12,000	100.5%		774,000	0	0	0	1,578,000																																																																																																																																						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業に係る旅費及び消耗品費 ・就業就労環境支援事業に係る委託料 ・小笠地区雇用対策協議会負担金 ・小笠高等職業訓練校負担金 ・中東遠地域障害者就労支援事業運営協議会負担金 																																																																																																																																													
実施内容	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>なでしこワークについては、参加者数が増加していることや就職・再就職を目指す女性や子育て中の女性等への支援として本事業は必要である。また、若者の地元就職を促すためのバスツアー等の実施も必要である。</p>																																																																																																																																													
各評価結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業コスト評価</th> <th>指標評価</th> <th>事業内容評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般財源</td> <td>成果</td> <td>1 A</td> </tr> <tr> <td>101.4% D</td> <td>2</td> <td>効率性 4:高い</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>効率</td> <td>1 B</td> </tr> <tr> <td>144.8% D</td> <td>2</td> <td>有効性 4:高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費</td> <td>必要性 4:高い</td> </tr> </tbody> </table>					事業コスト評価	指標評価	事業内容評価	一般財源	成果	1 A	101.4% D	2	効率性 4:高い	総事業コスト	効率	1 B	144.8% D	2	有効性 4:高い		人件費	必要性 4:高い																																																																																																																							
事業コスト評価	指標評価	事業内容評価																																																																																																																																												
一般財源	成果	1 A																																																																																																																																												
101.4% D	2	効率性 4:高い																																																																																																																																												
総事業コスト	効率	1 B																																																																																																																																												
144.8% D	2	有効性 4:高い																																																																																																																																												
	人件費	必要性 4:高い																																																																																																																																												
総合判定評価	B 事業の進め方の改善の検討																																																																																																																																													
事業分析・総合判定評価	R6年度の方向性																																																																																																																																													
事業分析・総合判定評価	コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方																																																																																																																																													
事業分析・総合判定評価	なでしこワークについては、1回の参加者数は過去最高の29人となり、年度ごとに参加者数が増加していることから必要な事業である。また、若者への地元企業への就職を促すためにも企業見学バスツアーをはじめとした市内事業所の周知が必要である。ただし、全体的に市が実施する必要性や効果を再度見直す必要がある。																																																																																																																																													
課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性	<p>なでしこワークでは、ハローワーク職員との面談時間を十分確保できるよう、例年の傾向から参加者が多くなる時期の職員派遣の増員を協議する。</p> <p>女性就労・就業支援事業では、女性の要望に沿った事業の実施が必要となる。</p> <p>高齢者や障害者等を対象にした各事業をハローワーク等と検討し要望に沿った事業の実施が必要となる。</p>																																																																																																																																													
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>300000</td> <td>就労支援事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,340,000</td> <td>△ 34,000</td> <td>98.6%</td> <td></td> <td>766,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,574,000</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称	5	1	1	300000	就労支援事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,340,000</td> <td>△ 34,000</td> <td>98.6%</td> <td></td> <td>766,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,574,000</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	2,340,000	△ 34,000	98.6%		766,000	0	0	0	1,574,000																																																																																																								
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																																										
5	1	1	300000	就労支援事業費																																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,340,000</td> <td>△ 34,000</td> <td>98.6%</td> <td></td> <td>766,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,574,000</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	2,340,000	△ 34,000	98.6%		766,000	0	0	0	1,574,000																																																																																																																								
予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																						
2,340,000	△ 34,000	98.6%		766,000	0	0	0	1,574,000																																																																																																																																						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業に係る旅費及び消耗品費 ・就業就労環境支援事業に係る委託料 ・小笠地区雇用対策協議会負担金 ・小笠高等職業訓練校負担金 ・中東遠地域障害者就労支援事業運営協議会負担金 																																																																																																																																													
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,352,000</td> <td>12,000</td> <td>100.5%</td> <td></td> <td>774,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,578,000</td> </tr> </tbody> </table>					計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	2,352,000	12,000	100.5%		774,000	0	0	0	1,578,000																																																																																																																							
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																						
2,352,000	12,000	100.5%		774,000	0	0	0	1,578,000																																																																																																																																						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業に係る旅費及び消耗品費 ・就業就労環境支援事業に係る委託料 ・小笠地区雇用対策協議会負担金 ・小笠高等職業訓練校負担金 ・中東遠地域障害者就労支援事業運営協議会負担金 																																																																																																																																													
実施内容	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>なでしこワークについては、参加者数が増加していることや就職・再就職を目指す女性や子育て中の女性等への支援として本事業は必要である。また、若者の地元就職を促すためのバスツアー等の実施も必要である。</p>																																																																																																																																													

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業	
R4	事業名	労働者福祉対策事業					
総合計画	体系・概要	<p>基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち</p> <p>政策 3 商工業が活気あるまちづくり</p> <p>施策 1 就労機会の拡大を図ります</p>					
	事業の目的	労働者福祉対策事業により、労働者福祉の増進を図る組織等の活動を支援し、中小企業者及び小規模企業者の福祉の向上を図る。		市内の労働者が住宅ローンや教育ローンを借り受けるときの利子軽減が図られるよう金融機関への貸付金を提供する。また、労働者福祉の増進を図る団体等への助成を行う。			
	事業の概要						
	事業成果	<p>ローンの利子軽減を図ることで、勤労者の経済的負担が軽減され、生活の質の確保が図られた。</p> <p>また、労働者福祉の増進を図る団体等への助成を基に、団体の福利厚生事業などが実施され、単独企業では実施できない労働者同士のコミュニケーション確保やリフレッシュ事業が実施できた。</p>					
事業課題	住宅貸付件数は、令和4年度は18件と前年度に比べ増加したものの、住宅需要の減少から平成29年度をピークに減少傾向にある。また、教育資金貸付は、各学校への周知協力やSNSを活用した情報発信などに取り組んでいるものの、まだまだ潜在的な利用者の掘り起こしが必要である。						
事業コスト分析	事業コスト評価	各評価結果				総合判定評価	
	決算前年比	一般財源	101.4%	D	D	C	
		総事業コスト	96.1%	B			
		人件費					
	担当評価	指標評価	1	E	評価視点	評価内容	
		2		効率性	4:高い	A 現状維持	
		1		有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	
	総合判定評価	R6年度の方向性				事業規模・内容・主体の見直し検討	
		コスト	縮小↓	成果	拡充↑	①事業の進め方	
	<p>今後も引き続き、各種団体の目的を達成するための負担金や補助金を支給する。また、住宅建設資金及び教育資金についても、協調融資を実施していく。</p>						
CHECK評価	ACTIION改善	<p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <p>住宅資金の貸し付けは、有効に制度が活用されているが、ろうきんと共に情報発信が可能な場を確保していく必要がある。教育資金の貸し付けについては、自治会回覧を実施することや市内高校での説明会の実施を検討する。勤労者の福祉向上、就労環境向上を図るため、円滑かつ効果的な事業が展開できるよう、関係機関と連携し中小企業の振興及び雇用の安定を目的とした事業を支援していく。</p>					
	PLAN取り組み・DO実施	実施内容	<p>R5年度</p> <p>・労働者福祉協議会補助金 ・小笠掛川勤労者福祉サービスセンター負担金 ・勤労者住宅建設資金貸付金 ・勤労者教育資金貸付金</p> <p>下期実施内容変更見込み</p>				
		実施内容	<p>R6年度</p> <p>・労働者福祉協議会補助金 ・小笠掛川勤労者福祉サービスセンター負担金 ・勤労者住宅建設資金貸付金 ・勤労者教育資金貸付金</p> <p>R5年度比較増減要因</p> <p>R7年度増減見込み</p>				
		事業実施内容	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>労働者福祉の増進を図る組織等の活動を促進し、中小企業者及び小規模企業者の福祉の向上を図るため、引き続き関係団体への負担金・補助金を支給及び貸付を実施する。</p>				
		コスト分析	<p>R3年度 R4年度</p> <p>478,685,000 444,365,000 Δ 34,320,000 92.8%</p> <p>事業費割合(事業費/施策費) R2年度 R3年度 R4年度</p> <p>100.0% 94.8% 98.2%</p>				
		事業目標・評価	<p>事業目標・評価</p> <p>R2年度 R3年度 R4年度</p> <p>28.0 30.0 0.0 18.0 30.0 17.0 30.0 18.0</p> <p>1 7 56.7% E 60.0% E</p>				
		指標評価	<p>指標名 単位 現状値 目標値 目標値 実績値 目標値 実績値 目標値 実績値</p> <p>成果1 勤労者住宅建設資金貸付件数 件 28.0 30.0 0.0 18.0 30.0 17.0 30.0 18.0</p> <p>成果2 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0</p> <p>効率1 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0</p> <p>効率人件費 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0</p>				
		事業実施内容	<p>勤労者住宅建設資金貸付:18件、勤労者教育資金貸付:10件 小笠掛川勤労者福祉サービスセンターへの助成:3,647千円(事業費の0.8%)、労働者福祉協議会への助成:680千円(事業費の0.2%)ほか</p>				
		予算(円)	<p>款 項 目 事業番号 事業名称</p> <p>5 1 1 100000 労働者福祉対策費</p> <p>R3年度 R4年度 前年増減 前年比 財源内訳</p> <p>478,685,000 444,365,000 Δ 34,320,000 92.8%</p>				
		決算(円)	<p>項目 R2年度 R3年度 R4年度 事業費内訳</p> <p>予算額 464,070,000 478,685,000 444,365,000</p> <p>決算額 464,070,000 454,006,000 436,160,540</p> <p>不用額 0 24,679,000 8,204,460</p> <p>執行率 100.0% 94.8% 98.2%</p>				
主財源		<p>国庫支出金 0 0 0</p> <p>県支出金 0 0 0</p> <p>地方債 0 0 0</p> <p>その他 459,805,000 449,736,000 431,832,000</p> <p>一般財源 4,265,000 4,270,000 4,328,540</p> <p>前年比較 — — 100.1% D 101.4% D</p>					

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業																																																																							
R4	事業名	商業活動支援事業																																																																											
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 政策 3 商工業が活気あるまちづくり 施策 2 がんばる商業者を応援します																																																																											
	事業の目的	がんばる商業者を応援するため、商業活動支援事業により、商工会に対し各種支援を行うことで、商工業の活性化による地域経済の健全な発展及び勤労者の生活の安定と福祉の増進を図る。		市内業規模事業者等の経営改善支援等に向けて、相談事業等を実施する商工会事業への助成を行う。																																																																									
	事業の概要																																																																												
	事業成果	<p>商工会が実施する経営改善普及事業に対する人件費及び消費拡大事業に対する事業費の補助を行った。 消費拡大事業については、コロナ禍で集客イベントが中止となったが、昨年度に引き続き打ち上げ花火を補助対象とした。</p> <p>消費拡大事業については、3年間集客イベントを実施できていない。 また、商工会の職員も異動等によりイベント経験者がいなくなり同様のイベントを継続することが難しい状況となっている。</p>																																																																											
事業コスト分析	事業の目的																																																																												
	事業の概要																																																																												
	事業成果																																																																												
	事業課題																																																																												
	各評価結果	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト評価</th> <th>指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> <th colspan="2">総合判定評価</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1</td> <td>B</td> <td>評価視点</td> <td colspan="2">B 事業の進め方の改善の検討</td> </tr> <tr> <td>191.4%</td> <td>D</td> <td>成果</td> <td>効率性</td> <td>4:高い</td> <td>A 現状維持</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>2</td> <td>効率</td> <td>有効性</td> <td>4:高い</td> <td>R6年度の方向性</td> </tr> <tr> <td>107.7%</td> <td>D</td> <td>人件費</td> <td>必要性</td> <td>4:高い</td> <td>コスト 縮小↓ 成果 維持→</td> </tr> <tr> <td colspan="6">R6年度の方向性</td> </tr> <tr> <td colspan="6">①事業の進め方</td> </tr> </table>					事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		総合判定評価		一般財源	1	B	評価視点	B 事業の進め方の改善の検討		191.4%	D	成果	効率性	4:高い	A 現状維持	総事業コスト	2	効率	有効性	4:高い	R6年度の方向性	107.7%	D	人件費	必要性	4:高い	コスト 縮小↓ 成果 維持→	R6年度の方向性						①事業の進め方																																		
	事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		総合判定評価																																																																								
	一般財源	1	B	評価視点	B 事業の進め方の改善の検討																																																																								
	191.4%	D	成果	効率性	4:高い	A 現状維持																																																																							
	総事業コスト	2	効率	有効性	4:高い	R6年度の方向性																																																																							
	107.7%	D	人件費	必要性	4:高い	コスト 縮小↓ 成果 維持→																																																																							
R6年度の方向性																																																																													
①事業の進め方																																																																													
担当評価	<p>市内事業者の経営改善や消費拡大事業を実施する商工会に対し、引き続き補助金を交付する。</p>																																																																												
加える変化	<p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <p>商業活動支援事業を商工会と連携し検討していく必要がある。</p>																																																																												
実行計画事業	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th colspan="2">事業名称</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>100000</td> <td colspan="2">商業活動支援事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td>前年増減額</td> <td>前年比</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>県支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td colspan="2">15,989,000</td> <td>800,000</td> <td>105.3%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,729,000</td> <td>14,260,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R5年度 実施内容</td> <td colspan="3"> ・商工業観光振興事業費補助金の交付【経営改善普及事業】 ・商工業観光振興事業費補助金の交付【消費拡大事業】 </td> <td colspan="5">下期実施内容変更見込み</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R6年度 実施内容</td> <td colspan="3"> ・商工業観光振興事業費補助金の交付【経営改善普及事業】 ・商工業観光振興事業費補助金の交付【消費拡大事業】 </td> <td colspan="5">R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み</td> </tr> <tr> <td colspan="10">事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</td> </tr> <tr> <td colspan="10">商工会事業の財源は国・県・市からの補助金でほとんどが賅われていることから必要な事業である。</td> </tr> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称		7	1	2	100000	商業活動支援事業費		予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	15,989,000		800,000	105.3%		0	0	0	1,729,000	14,260,000	R5年度 実施内容		・商工業観光振興事業費補助金の交付【経営改善普及事業】 ・商工業観光振興事業費補助金の交付【消費拡大事業】			下期実施内容変更見込み					R6年度 実施内容		・商工業観光振興事業費補助金の交付【経営改善普及事業】 ・商工業観光振興事業費補助金の交付【消費拡大事業】			R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み					事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明										商工会事業の財源は国・県・市からの補助金でほとんどが賅われていることから必要な事業である。									
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																									
7	1	2	100000	商業活動支援事業費																																																																									
予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																				
15,989,000		800,000	105.3%		0	0	0	1,729,000	14,260,000																																																																				
R5年度 実施内容		・商工業観光振興事業費補助金の交付【経営改善普及事業】 ・商工業観光振興事業費補助金の交付【消費拡大事業】			下期実施内容変更見込み																																																																								
R6年度 実施内容		・商工業観光振興事業費補助金の交付【経営改善普及事業】 ・商工業観光振興事業費補助金の交付【消費拡大事業】			R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み																																																																								
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明																																																																													
商工会事業の財源は国・県・市からの補助金でほとんどが賅われていることから必要な事業である。																																																																													
コスト分析	<p>商工業観光振興事業費補助金(経営改善普及事業)については、商工会の指導員等の人件費となることから、商工会職員の異動等による影響が大きい。</p>																																																																												
指標・実施内容	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業指標・評価</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>成果1</td> <td>補助金の交付件数</td> <td>2.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>効率人件費</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> </table>					事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果1	補助金の交付件数	2.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	効率1		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	効率人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																								
事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度																																																																							
指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																						
成果1	補助金の交付件数	2.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0																																																																						
成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																						
効率1		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																						
効率人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																						
事業実施内容	<p>・商工業観光振興事業費補助金【経営改善普及事業】 ・商工業観光振興事業費補助金【消費拡大事業】</p>																																																																												

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業
R4	事業名	経営安定資金利子補給等支援事業				
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち				
	政策	3 商工業が活気あるまちづくり				
	施策	2 がんばる事業者を応援します				
	事業の目的	<p>がんばる商工業者を応援するため、経営安定資金利子補給等支援事業により、中小企業及び小規模企業の事業活動に必要な資金への金融支援により、市内事業者の経営及び合理化を促進し、事業経営と地域経済の健全な発展を図る。</p>		<p>市内中小企業及び小規模企業の事業活動に必要な資金を融資した金融機関に対する利子補給金の交付や小口資金借り入れに伴う信用保証料の補助を行う。</p>		
事業の概要						
事業成果	<p>市内中小企業の経営安定及び合理化を促進するため、事業活動に必要な資金を融資した金融機関に対し利子補給を行った。 ①小口資金利子補給申請事業所数:4件 ※新型コロナウイルスに係る融資制度を活用した影響によるものと想定される。 ②短期経営改善資金利子補給申請事業所数:8件</p>					
事業課題	<p>市内小規模事業者及び中小企業者の経営の安定及び合理化を促進し、健全な発展に資するため、引き続き商工会や金融機関等と連携し、効果的な支援を実施していく必要がある。</p>					
各評価結果						
事業コスト評価						総合判定評価
事業コスト評価		指標評価		事業内容評価		B 事業の進め方の改善の検討
一般財源	164.0%	D	成果	1 S	評価視点	評価内容
総事業コスト	56.7%	A	効率	1	効率性	4:高い
			人件費	4:高い	必要性	4:高い
R6年度の方向性						計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」
R6年度の方向性						コスト 縮小↓ 成果 維持→
R6年度の方向性						①事業の進め方
市内事業者の経営の安定を図るため、引き続き利子補給事業等を実施していく。						
課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性						
引き続き事業を継続し、世の中の情勢に応じて事業の見直しをしていく。						
予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称	
	7	1	2	200000	経営安定資金利子補給等支援事業費	
	R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	259,000	411,000	152,000	158.7%	0 0 0 0	411,000
	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度	
	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳	
	予算額	389,000	259,000	411,000	節	決算額
	決算額	248,689	126,939	208,191	01 報酬	0 16 公有財産購入費
	不用額	140,311	132,061	202,809	02 給料	0 17 備品購入費
	執行率	63.9%	49.0%	50.7%	03 職員手当等	0 18 負担金、補助及び交付金
	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0 19 扶助費
	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0 20 貸付金
	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0 21 補償、補填及び賠償金
	その他	0	0	0	07 報償費	0 22 償還金、利子及び割引料
	一般財源	248,689	126,939	208,191	08 旅費	0 23 投資及び出資金
	前年比較	—	—	51.0% A	164.0% D	09 交際費
	職員人件費	0	346,000	60,000	10 需用費	0 25 寄附金
	総事業コスト	248,689	472,939	268,191	11 役務費	0 26 公課費
	前年比較	—	—	190.2% D	56.7% A	12 委託料
	主財源				13 使用料及び賃借料	0 予備費
					14 工事請負費	0
					15 原材料費	0 合計
						208,191
	新型コロナウイルス感染症関連融資制度への借り換え等により減額となった。					
コスト分析						
事業コスト分析						
予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称	
	7	1	2	200000	経営安定資金利子補給等支援事業費	
	予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	
	771,000	360,000	187.6%	0 0 0 0	0	771,000
	・小口資金利子補給金 ・小口資金信用保証料補助金 ・短期経営改善資金利子補給金 ・信用保証協会事務負担金					
	下期実施内容変更見込み					
	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	
	712,000	△ 59,000	92.3%	0 0 0 0	0	712,000
	・小口資金利子補給金 ・小口資金信用保証料補助金 ・短期経営改善資金利子補給金 ・信用保証協会事務負担金					
	R5年度比較増減要因					
	R7年度増減見込み					
指標・実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明					
	中小企業及び小規模企業の経営安定や合理化、健全な運営のためには必要な事業である。					
事業実施内容	・信用保証協会事務負担金 ・小口資金利子補給金 ・小口資金信用保証料補助金 ・短期経営改善資金利子補給金					
指標評価	事業指標・評価		R2年度	R3年度	R4年度	
	指標名	単位	現状値	目標値	実績値	目標値
			年度	年度	達成率	評価
	成果1	小口資金利子補給件数	1.0	2.0	0.0	0.0
			1	7		50.0%
						D
	成果2		0.0	0.0	0.0	0.0
			0	0		
	効率1	利子補給1件当たりのコスト	0.0	0.0	0.0	0.0
			1	7		
						0.0
	効率人件費		0.0	0.0	0.0	0.0
			0	0		

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業	○				
R4	事業名	工業活動支援事業									
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち						事業成果			
	政策	3 商工業が活気あるまちづくり									
	施策	2 がんばる事業者を応援します									
	事業の目的	がんばる商工業者を応援するため、工業活動支援事業により、中小企業及び小規模企業の技術改善支援や経営発達支援等を行い、市内企業の成長・発展及び地域産業の活性化を図る。									
	事業の概要	商工会が行う工業振興事業に対する補助金を交付する。						事業課題			
各評価結果 事業コスト評価 指標評価 事業内容評価 一般財源 1 B 評価視点 評価内容 125.0% D 成果 2 効率性 4:高い A 現状維持 総事業コスト 1 有効性 4:高い 計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」 56.0% A 効率 人件費 必要性 4:高い 総合判定評価 B 事業の進め方の改善の検討 R6年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方											
事業コスト分析	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称				CHECK評価			
	7 1 3	100000	工業活動支援事業費								
	R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金		地方債	その他	一般財源
	600,000	750,000	150,000	125.0%		0	0		0	0	750,000
	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
	予算額	800,000	600,000	750,000	節	決算額	節		決算額		
	決算額	479,000	600,000	750,000	01 報酬	0	16 公有財産購入費		0		
	不用額	321,000	0	0	02 給料	0	17 備品購入費		0		
	執行率	59.9%	100.0%	100.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金		750,000		
決算(円)	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0	0	
	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0	0	0	
	その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0	0	0	
	一般財源	479,000	600,000	750,000	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0	0	0	
	前年比較	—	—	125.3% D	125.0% D	09 交際費	0	24 積立金	0	0	
	職員人件費	0	1,709,000	543,000	10 需用費	0	25 寄附金	0	0	0	
	総事業コスト	479,000	2,309,000	1,293,000	11 役務費	0	26 公課費	0	0	0	
	前年比較	—	—	482.0% D	56.0% A	12 委託料	0	27 繰出金	0	0	
	主財源				13 使用料及び賃借料	0	予備費	0	0	0	
				14 工事請負費	0						
				15 原材料費	0	合計	750,000				
コスト分析	コロナ対策を行ったうえで、補助対象事業を実施し、令和3年度よりも事業実施が多くなったため増額となっている。										
指標・実施内容	事業指標・評価										
	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価
	成果1	補助金交付件数	件	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
				1	7			100.0%	B	100.0%	B
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
				0	0						
	効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
				0	0						
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			0	0							
事業実施内容	・商工業観光振興事業費補助金【工業振興事業】										
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 市内企業の成長・発展及び活性化を図るためには必要な事業である。											
CHECK評価	実行計画事業(円)	款 項 目	事業番号	事業名称				ACTION改善			
	7 1 3	100000	工業活動支援事業費								
	予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債		その他	一般財源	
	800,000	50,000	106.7%		0	0	0		0	800,000	
	R5年度 実施内容		・商工会が実施する工業振興事業に対する事業費補助						下期実施内容変更見込み		
	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債		その他	一般財源	
	800,000	0	100.0%		0	0	0		0	800,000	
	R6年度 実施内容		・商工会が実施する工業振興事業に対する事業費補助						R5年度比較増減要因		
									R7年度増減見込み		

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業							
R4	事業名	経済変動対策貸付金利子補給事業											
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 政策 3 商工業が活気あるまちづくり 施策 2 がんばる事業者を応援します											
	事業の目的	がんばる商工業者を応援するため、新型コロナウイルス感染症により業況が悪化している中小企業者等に対し、経済変動対策貸付金利子補給事業による金融支援を実施することで、市内事業者の経営の安定化を図る。		新型コロナウイルス感染症による影響を受け業況が悪化している中小企業等の経営安定のために必要な資金を融資した金融機関に対する利子補給金の交付を行う。									
	事業の概要												
	事業成果	新型コロナウイルス感染症により影響を受け業況が悪化している中小企業者等に対し融資を実行した金融機関に対し利子補給金を支給した。 (1)小口特別資金:2件 33,113円 (2)経済変動対策貸付金 ①令和2年度貸付分:28件 4,664,372円 ①令和3年度貸付分:26件 896,832円 ②令和4年度貸付分:10件 227,419円											
事業課題	新型コロナウイルス感染症が5類に見直されるが本事業の終期については国・県の動向を注視していく必要がある。												
事業コスト分析	C H E C K 評価	各評価結果					総合判定評価						
		事業コスト評価		指標評価		事業内容評価							
		一般財源	成果	1	D	評価視点		C 事業規模・内容・主体の見直し検討					
			2		効率性	4:高い	A 現状維持						
		総事業コスト	効率	1	B	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」					
	105.5%	D		人件費	必要性	4:高い	R6年度の方向性						
	担当評価	市内中小企業者の経営の安定を図るため、小口特別資金及び経済変動貸付金の利子補給金を支給することができた。					コスト 縮小↓ 成果 拡充↑ 改善 ①事業の進め方						
	A C T I O N 改善	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性											
		県制度の継続・変更に合わせて対応していく。											
C H E C K 評価	P L A N 取り組み・D O 実施	事業名称					事業名称						
		7 1 2 400000 経済変動対策貸付金利子補給事業費					7 1 2 400000 経済変動対策貸付金利子補給事業費						
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		4,039,000	△ 2,174,000	65.0%		0	0	0	0	4,039,000			
		・小口特別資金利子補給金 ・経済変動対策貸付金利子補給金					下期実施内容変更見込み						
	R5年度 実施内容	計画額 前年増減額 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 985,000 △ 3,054,000 24.4% 0 0 0 0 985,000					・小口特別資金利子補給金 ・経済変動対策貸付金利子補給金						
		事業指標・評価					R6年度 実施内容						
		指標名		単位	現状値	目標値		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
					年度	年度		達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価
		成果1	融資利子補給件数	件	0.0	35.0		0.0	0.0	0.0	0.0	35.0	0.0
成果2			0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		
効率1	利子補給1件当たりのコスト		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業実施内容 ・小口特別資金利子補給金 ・経済変動対策貸付金利子補給金 ・新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金積立金					R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み								
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明													
市内中小企業者の経営の安定を図るために必要な事業である。													

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
R4	事業名	新型コロナウイルス感染症対策支援事業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 政策 3 商工業が活気あるまちづくり 施策 2 がんばる事業者を応援します																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	事業の目的	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市内中小企業者及び個人事業主等への経済対策等を図る。		新型コロナウイルス感染症により、経営に大きな影響を受けた中小企業者及び個人事業主等に対し、事業継続のための支援やアフターコロナ期の景気回復事業に係る支援を行う。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	事業の概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	事業成果	コロナ禍からの早期回復に向けた宿泊助成を実施し、1,800人泊余の宿泊促進を図るとともに、泊食分離を要件としたことで、同程度の市内飲食店の利用促進を図ることができた。 県が実施した更に割引率の高い宿泊助成事業と期間が重複したことから、予算要求時に想定した宿泊数を大きく下回る結果となった。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
事業コスト分析	事業コスト分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th colspan="2">事業名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>600000</td> <td colspan="2">新型コロナウイルス感染症対策支援事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R3年度</td> <td colspan="2">R4年度</td> <td>前年増減</td> <td>前年比</td> </tr> <tr> <td colspan="2">90,630,000</td> <td colspan="2">42,248,000</td> <td>△ 48,382,000</td> <td>46.6%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費割合(事業費/施策費)</td> <td colspan="2">R2年度</td> <td colspan="2">R3年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R4年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R5年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R6年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R7年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R8年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R9年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R10年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R11年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R12年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R13年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R14年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R15年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R16年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R17年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R18年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R19年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R20年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R21年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R22年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R23年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R24年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R25年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R26年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R27年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R28年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R29年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R30年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R31年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R32年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R33年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R34年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R35年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R36年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R37年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R38年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R39年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R40年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R41年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R42年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R43年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R44年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R45年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R46年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R47年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R48年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R49年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R50年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R51年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R52年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R53年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R54年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R55年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R56年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R57年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R58年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R59年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R60年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R61年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R62年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R63年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R64年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R65年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R66年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R67年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R68年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R69年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R70年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R71年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R72年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R73年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R74年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R75年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R76年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R77年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R78年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R79年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R80年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R81年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R82年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R83年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R84年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R85年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R86年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R87年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R88年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R89年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R90年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R91年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R92年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R93年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R94年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R95年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R96年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R97年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R98年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R99年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R100年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R101年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R102年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R103年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R104年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R105年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R106年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R107年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R108年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R109年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R110年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R111年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R112年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R113年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R114年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R115年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R116年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R117年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R118年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R119年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R120年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R121年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R122年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R123年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R124年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R125年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R126年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R127年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R128年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R129年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R130年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R131年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R132年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R133年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R134年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R135年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R136年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R137年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R138年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R139年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R140年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R141年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R142年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R143年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R144年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R145年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R146年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R147年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R148年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R149年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R150年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R151年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R152年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R153年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R154年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R155年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R156年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R157年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R158年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R159年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R160年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R161年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R162年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R163年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R164年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R165年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R166年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R167年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R168年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R169年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R170年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R171年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R172年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R173年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R174年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> </tr></tbody></table>					款	項	目	事業番号	事業名称		7	1	2	600000	新型コロナウイルス感染症対策支援事業費		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	90,630,000		42,248,000		△ 48,382,000	46.6%	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度		R3年度								R4年度												R5年度												R6年度												R7年度												R8年度												R9年度												R10年度												R11年度												R12年度												R13年度												R14年度												R15年度												R16年度												R17年度												R18年度												R19年度												R20年度												R21年度												R22年度												R23年度												R24年度												R25年度												R26年度												R27年度												R28年度												R29年度												R30年度												R31年度												R32年度												R33年度												R34年度												R35年度												R36年度												R37年度												R38年度												R39年度												R40年度												R41年度												R42年度												R43年度												R44年度												R45年度												R46年度												R47年度												R48年度												R49年度												R50年度												R51年度												R52年度												R53年度												R54年度												R55年度												R56年度												R57年度												R58年度												R59年度												R60年度												R61年度												R62年度												R63年度												R64年度												R65年度												R66年度												R67年度												R68年度												R69年度												R70年度												R71年度												R72年度												R73年度												R74年度												R75年度												R76年度												R77年度												R78年度												R79年度												R80年度												R81年度												R82年度												R83年度												R84年度												R85年度												R86年度												R87年度												R88年度												R89年度												R90年度												R91年度												R92年度												R93年度												R94年度												R95年度												R96年度												R97年度												R98年度												R99年度												R100年度												R101年度												R102年度												R103年度												R104年度												R105年度												R106年度												R107年度												R108年度												R109年度												R110年度												R111年度												R112年度												R113年度												R114年度												R115年度												R116年度												R117年度												R118年度												R119年度												R120年度												R121年度												R122年度												R123年度												R124年度												R125年度												R126年度												R127年度												R128年度												R129年度												R130年度												R131年度												R132年度												R133年度												R134年度												R135年度												R136年度												R137年度												R138年度												R139年度												R140年度												R141年度												R142年度												R143年度												R144年度												R145年度												R146年度												R147年度												R148年度												R149年度												R150年度												R151年度												R152年度												R153年度												R154年度												R155年度												R156年度												R157年度												R158年度												R159年度												R160年度												R161年度												R162年度												R163年度												R164年度												R165年度												R166年度												R167年度												R168年度												R169年度												R170年度												R171年度												R172年度												R173年度												R174年度											
	款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	7	1	2	600000	新型コロナウイルス感染症対策支援事業費																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R3年度		R4年度		前年増減	前年比																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	90,630,000		42,248,000		△ 48,382,000	46.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度		R3年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R4年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	R5年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
R6年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R7年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R8年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R9年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R10年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R11年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R12年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R13年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R14年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R15年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R16年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R17年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R18年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R19年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R20年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R21年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R22年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R23年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R24年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R25年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R26年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R27年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R28年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R29年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R30年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R32年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R33年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R34年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R35年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R36年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R37年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R38年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R39年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R40年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R41年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R42年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R43年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R44年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R45年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R46年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R47年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R48年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R49年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R50年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R51年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R52年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R53年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R54年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R55年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R56年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R57年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R58年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R59年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R60年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R61年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R62年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R63年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R64年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R65年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R66年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R67年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R68年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R69年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R70年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R71年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R72年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R73年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R74年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R75年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R76年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R77年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R78年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R79年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R80年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R81年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R82年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R83年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R84年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R85年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R86年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R87年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R88年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R89年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R90年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R91年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R92年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R93年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R94年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R95年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R96年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R97年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R98年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R99年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R100年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R101年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R102年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R103年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R104年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R105年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R106年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R107年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R108年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R109年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R110年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R111年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R112年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R113年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R114年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R115年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R116年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R117年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R118年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R119年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R120年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R121年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R122年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R123年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R124年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R125年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R126年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R127年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R128年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R129年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R130年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R131年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R132年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R133年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R134年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R135年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R136年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R137年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R138年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R139年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R140年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R141年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R142年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R143年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R144年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R145年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R146年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R147年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R148年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R149年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R150年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R151年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R152年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R153年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R154年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R155年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R156年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R157年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R158年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R159年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R160年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R161年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R162年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R163年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R164年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R165年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R166年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R167年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R168年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R169年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R170年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R171年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R172年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R173年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
R174年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業																																																																																																													
R4	事業名	物価高騰対策緊急支援事業																																																																																																																	
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 政策 3 商工業が活気あるまちづくり 施策 2 がんばる事業者を応援します																																																																																																																	
	事業の目的	物価高騰等に直面する中小企業・小規模事業者等の事業継続を支援することで経済社会活動の活性化を図る。		事業の概要 県が実施する「物価高騰対策緊急支援事業(9月補正予算)」に上乗せし、値上げ交渉が難しく、展示会出展等の方法で価格転嫁対策を行う取組み及び業務効率化や省エネ対応機器の導入によりコスト削減を行う取組みに対し、対象事業費の1/6相当(上限125千円)の補助金を交付する。																																																																																																															
	事業成果	物価高騰等に直面する中小企業・小規模事業者等に対する県の補助制度に上乗せすることで、市内事業者の県補助制度への促進を図ることができたとともに、更なる負担軽減を図ることができた。																																																																																																																	
	事業課題	物価高騰が継続していくことも想定されるため、引き続き事業活動を支援できる施策を検討する必要がある。																																																																																																																	
事業コスト分析	C H E C K 評価	各評価結果					総合判定評価																																																																																																												
		事業コスト評価		指標評価		事業内容評価																																																																																																													
		一般財源	D	成果	1	評価視点	評価内容																																																																																																												
		総事業コスト		効率	1																																																																																																														
		決算前年比	1	2	効率は	4:高い	A 現状維持																																																																																																												
	人件費	1	2	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」																																																																																																													
	必要性	3:やや高い	R6年度の方向性		B 事業の進め方の改善の検討																																																																																																														
	担当評価	物価高騰が続くものと想定されるため、一時的でなく新たな事業を展開し、根本的な対策に向けた事業者支援を実施していく。																																																																																																																	
	A C T I O N 改善	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性																																																																																																																	
		一時的な支援策でなく、根本的に物価高騰対策が図られる事業に他自治体の事例などを参考に検討していく。																																																																																																																	
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 根本的な対策としての政策誘導で有効である。																																																																																																																			
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 根本的な対策としての政策誘導で有効である。																																																																																																																			
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 根本的な対策としての政策誘導で有効である。																																																																																																																			
C H E C K 評価	P L A N 取り組み・D O 実施	事業指標・評価					R5年度 実施内容																																																																																																												
		R2年度		R3年度		R4年度																																																																																																													
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値		実績値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																																																							
		成果1		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																							
		成果2		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																							
	効率1		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																									
	効率人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																									
	事業実施内容	中小企業者等物価高騰緊急対策事業費補助金:3件、補助金額193,000円					R6年度 実施内容																																																																																																												
	コスト分析	静岡県と連動し、物価高騰対策を行うことで中小企業の経営を支援している。主には令和5年度(繰越明許)にて施行する。国庫補助金が主な財源である。					R5年度 実施内容																																																																																																												
	予算(円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>800000</td> <td>物価高騰対策緊急支援事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="5">R3年度 R4年度 前年増減 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源</td> </tr> <tr> <td colspan="5">0 27,500,000 27,500,000 0 18,404,000 0 0 0 9,096,000</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業費割合(事業費/施策費) R2年度 R3年度 R4年度</td> </tr> <tr> <td colspan="5">項目 R2年度 R3年度 R4年度 事業費内訳</td> </tr> <tr> <td colspan="5">予算額 0 0 27,500,000 節 決算額 節 決算額</td> </tr> <tr> <td colspan="5">決算額 0 0 193,000 01 報酬 0 16 公有財産購入費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">不用額 0 0 27,307,000 02 給料 0 17 備品購入費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">執行率 0.7% 03 職員手当等 0 18 負担金、補助及び交付金 193,000</td> </tr> <tr> <td colspan="5">国庫支出金 0 0 193,000 04 共済費 0 19 扶助費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">県支出金 0 0 0 05 災害補償費 0 20 貸付金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">地方債 0 0 0 06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">その他 0 0 0 07 報償費 0 22 償還金、料子及び割引料 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">一般財源 0 0 0 08 旅費 0 23 投資及び出資金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">前年比較 — — 09 交際費 0 24 積立金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">職員人件費 0 0 429,000 10 需用費 0 25 寄附金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">総事業コスト 0 0 622,000 11 役務費 0 26 公課費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">前年比較 — — 12 委託料 0 27 繰出金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">主財源 新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金 193,000 13 使用料及び賃借料 0 予備費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">14 工事請負費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="5">15 原材料費 0 合計 193,000</td> </tr> </tbody> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称	7	1	2	800000	物価高騰対策緊急支援事業費	R3年度 R4年度 前年増減 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源					0 27,500,000 27,500,000 0 18,404,000 0 0 0 9,096,000					事業費割合(事業費/施策費) R2年度 R3年度 R4年度					項目 R2年度 R3年度 R4年度 事業費内訳					予算額 0 0 27,500,000 節 決算額 節 決算額					決算額 0 0 193,000 01 報酬 0 16 公有財産購入費 0					不用額 0 0 27,307,000 02 給料 0 17 備品購入費 0					執行率 0.7% 03 職員手当等 0 18 負担金、補助及び交付金 193,000					国庫支出金 0 0 193,000 04 共済費 0 19 扶助費 0					県支出金 0 0 0 05 災害補償費 0 20 貸付金 0					地方債 0 0 0 06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 0					その他 0 0 0 07 報償費 0 22 償還金、料子及び割引料 0					一般財源 0 0 0 08 旅費 0 23 投資及び出資金 0					前年比較 — — 09 交際費 0 24 積立金 0					職員人件費 0 0 429,000 10 需用費 0 25 寄附金 0					総事業コスト 0 0 622,000 11 役務費 0 26 公課費 0					前年比較 — — 12 委託料 0 27 繰出金 0					主財源 新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金 193,000 13 使用料及び賃借料 0 予備費 0					14 工事請負費 0					15 原材料費 0 合計 193,000			
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																															
7	1	2	800000	物価高騰対策緊急支援事業費																																																																																																															
R3年度 R4年度 前年増減 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源																																																																																																																			
0 27,500,000 27,500,000 0 18,404,000 0 0 0 9,096,000																																																																																																																			
事業費割合(事業費/施策費) R2年度 R3年度 R4年度																																																																																																																			
項目 R2年度 R3年度 R4年度 事業費内訳																																																																																																																			
予算額 0 0 27,500,000 節 決算額 節 決算額																																																																																																																			
決算額 0 0 193,000 01 報酬 0 16 公有財産購入費 0																																																																																																																			
不用額 0 0 27,307,000 02 給料 0 17 備品購入費 0																																																																																																																			
執行率 0.7% 03 職員手当等 0 18 負担金、補助及び交付金 193,000																																																																																																																			
国庫支出金 0 0 193,000 04 共済費 0 19 扶助費 0																																																																																																																			
県支出金 0 0 0 05 災害補償費 0 20 貸付金 0																																																																																																																			
地方債 0 0 0 06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 0																																																																																																																			
その他 0 0 0 07 報償費 0 22 償還金、料子及び割引料 0																																																																																																																			
一般財源 0 0 0 08 旅費 0 23 投資及び出資金 0																																																																																																																			
前年比較 — — 09 交際費 0 24 積立金 0																																																																																																																			
職員人件費 0 0 429,000 10 需用費 0 25 寄附金 0																																																																																																																			
総事業コスト 0 0 622,000 11 役務費 0 26 公課費 0																																																																																																																			
前年比較 — — 12 委託料 0 27 繰出金 0																																																																																																																			
主財源 新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金 193,000 13 使用料及び賃借料 0 予備費 0																																																																																																																			
14 工事請負費 0																																																																																																																			
15 原材料費 0 合計 193,000																																																																																																																			

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業				
R4	事業名	産業振興推進事業								
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								
	政策	3 商工業が活気あるまちづくり								
	施策	3 市内企業の応援と進出企業の獲得に努めます								
	事業の目的	産業振興推進事業により、農工商業や観光等の地域産業の育成・発展と関係事業者の連携強化を推進することで、地域産業の活性化を図る。		産業関係事業者から広く意見を聴取し、施策に反映するために、菊川市地域経済活性化推進会議を開催するとともに、茶業振興課や農林課と連携し、産業関係事業者等が実施するイベントや研修等に参加する。						
事業の概要										
事業成果	本市産業における課題と、その対応等について、幅広い分野の方々から貴重な意見を賜ることで、産業支援センター(仮称)開設に向けた合意形成や、課題整理が図られるなど、地域と一体となった産業課題の解決に向かうことができた。									
事業課題	産業支援センター(仮称)の開設に向け地域経済活性化推進会議委員からいただいた支援策を精査する必要がある。新型コロナウイルス対応、事業承継、販路拡大、原油・原材料高騰、新エネルギー導入、DX対策等企業の課題は様々で現状に合った支援策及び情報提供を検討していく必要がある。各種イベントによる特産品等のPRについては、趣旨や参加目的を再度見直す必要がある。									
CHECK評価	各評価結果									
	事業コスト評価				指標評価					
CHECK評価	事業内容評価		事業内容評価		事業内容評価					
	C 事業規模・内容・主体の見直し検討		R6年度の方向性		コスト 縮小 ↓ 成果 拡充 ↑					
CHECK評価	R6年度の方向性		R6年度の方向性		R6年度の方向性					
	改善		①事業の進め方							
CHECK評価	地域経済活性化推進会議において意見書に掲載されている事業の進捗管理等を行っていく必要がある。イベントについては少しずつ開催が可能となり、本市の特産品や地場産品等のPRができるようになってきた。									
	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 令和6年3月の産業支援センター(仮称)の立ち上げに向けたハード・ソフト面での準備を進め、事業者の諸課題に対し相談対応していく。									
CHECK評価	加える変化									
CHECK評価	実行計画事業(円)									
	R5年度 実施内容									
CHECK評価	R6年度 実施内容									
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 地域経済の活性化に向けた市の農工商業、観光等の地域産業の育成・発展に係る、産業関係団体が行う事業の連携強化を図るためには必要な事業である。									
事業コスト分析	予算(円)	事業名称								
事業コスト分析	7	1	1	200000	産業振興推進費					
	R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
事業コスト分析	63,000	137,000	74,000	217.5%	0	0	0	0	137,000	
	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度					
事業コスト分析	項目		R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳				
	予算額	72,000	63,000	137,000	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0	0	0
事業コスト分析	決算額	71,708	55,840	111,378	02 給料	0	17 備品購入費	0	0	0
	不用額	292	7,160	25,622	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	20,000	0	0
事業コスト分析	執行率	99.6%	88.6%	81.3%	04 共済費	0	19 扶助費	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0	0	0
事業コスト分析	県支出金	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0	0	0
	地方債	0	0	0	07 報償費	18,000	22 償還金、利子及び割引料	0	0	0
事業コスト分析	その他	0	0	0	08 旅費	62,240	23 投資及び出資金	0	0	0
	一般財源	71,708	55,840	111,378	09 交際費	0	24 積立金	0	0	0
事業コスト分析	前年比較	—	—	77.9% A	199.5% D	10 需用費	6,658	25 寄附金	0	0
	職員人件費	0	1,025,000	689,000	11 役務費	4,480	26 公課費	0	0	0
事業コスト分析	総事業コスト	71,708	1,080,840	800,378	12 委託料	0	27 繰出金	0	0	0
	前年比較	—	—	1507.3% D	74.1% A	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0	0
事業コスト分析	主財源									
	14 工事請負費	0								
事業コスト分析	15 原材料費	0	合計	111,378						
	コスト分析	報償費を支払う地域経済活性化推進会議の開催数の減により減額となった。								
指標・実施内容	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度			
	指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標・実施内容	成果1	産業振興イベント出席回数	回	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	6.0	2.0
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標・実施内容	効率1	イベント参加者一人当たりのコスト	円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標・実施内容	地域経済活性化推進会議:1回実施、産業支援センター(仮称)開設に向けた事業者意見聴取 「ちゅうでんマルシェ」(中部電力主催)や「さわやかウォーキング」(JR主催)等への出店(観光協会、茶業協会、農林課等との合同出店)									
	事業の実施内容									
CHECK評価	R5年度 実施内容									
	R6年度 実施内容									
CHECK評価	R5年度比較増減要因									
	R7年度増減見込み									
CHECK評価	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 地域経済の活性化に向けた市の農工商業、観光等の地域産業の育成・発展に係る、産業関係団体が行う事業の連携強化を図るためには必要な事業である。									

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業	○			
R4	事業名	企業立地推進事業								
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち						事業成果		
	政策	3 商工業が活気あるまちづくり								
	施策	3 市内企業の応援と進出企業の獲得に努めます								
	事業の目的	市内企業の応援と進出企業の獲得をするため、企業立地推進事業により、市内企業の成長・定着と市外企業の誘致を促進し、就労機会を創出、定住人口の維持・拡大を図る。		静岡県と連携し、首都圏及び中京圏からの企業誘致を推進するとともに、新規進出企業及び既存企業の規模拡大に対応するための新たな工業用候補地の検討を行う。また、サテライトオフィス(事務所)を誘致し新たに設置するための経費等を補助する。						
事業コスト分析	事業の概要							CHECK評価		
	事業内容	工業用地をはじめとした産業振興を絡めたフロンティアの認定手続きを企画政策課と実施し認定を受けたことで、企業誘致に向けた一層の支援環境を整えることができた。当該補助金を活用し、市内の産業立地を支援することで、一層の産業の活性化につなげることができた。							事業課題	
	事業内容	新たな工業用地を確保するため、引き続き、関係機関や民間事業者との協議を継続し、早期に事業化できるよう進める必要がある。市内遊休地情報を充実させるため、新たな遊休地について調査・検討を行う必要がある。								
	各評価結果	事業コスト評価								総合判定評価
	指標評価	指標評価								B 事業の進め方の改善の検討
	事業内容評価	事業内容評価								R6年度の方向性
	一般財源	126.6% D								効果 1 B 評価視点 評価内容
	総事業コスト	126.3% D								効果 1 B 有効性 4:高い 計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」
	人員費	必要性 4:高い								コスト 縮小↓ 成果 維持→
	改善	①事業の進め方								
担当評価	市内民間事業者の規模拡大に伴う工業用地の造成に向けた手続きを開始することが出来た。新たな企業誘致や既存企業の規模拡大等の要望に対し早急に対応できる用地の確保は急務であることから、平成30年度及び令和2年度に可能性基本調査を実施した箇所について、引き続き関係機関等と協議を進めていく必要がある。また、市内遊休地情報の充実のため、新たな遊休地について調査・検討を行っていく。									
CHECK評価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性						ACTION改善		
	民間事業者による工業用地の造成も視野に入れ協議を進める。また、新たな遊休地の確保についても調査・検討を行う。農林課と連携し、農地の活用方法について検討を行う。									
	事業内容	民間事業者による工業用地の造成も視野に入れ協議を進める。また、新たな遊休地の確保についても調査・検討を行う。農林課と連携し、農地の活用方法について検討を行う。								
	事業内容	民間事業者による工業用地の造成も視野に入れ協議を進める。また、新たな遊休地の確保についても調査・検討を行う。農林課と連携し、農地の活用方法について検討を行う。								
	事業内容	民間事業者による工業用地の造成も視野に入れ協議を進める。また、新たな遊休地の確保についても調査・検討を行う。農林課と連携し、農地の活用方法について検討を行う。								
	事業内容	民間事業者による工業用地の造成も視野に入れ協議を進める。また、新たな遊休地の確保についても調査・検討を行う。農林課と連携し、農地の活用方法について検討を行う。								
	事業内容	民間事業者による工業用地の造成も視野に入れ協議を進める。また、新たな遊休地の確保についても調査・検討を行う。農林課と連携し、農地の活用方法について検討を行う。								
	事業内容	民間事業者による工業用地の造成も視野に入れ協議を進める。また、新たな遊休地の確保についても調査・検討を行う。農林課と連携し、農地の活用方法について検討を行う。								
	事業内容	民間事業者による工業用地の造成も視野に入れ協議を進める。また、新たな遊休地の確保についても調査・検討を行う。農林課と連携し、農地の活用方法について検討を行う。								
	事業内容	民間事業者による工業用地の造成も視野に入れ協議を進める。また、新たな遊休地の確保についても調査・検討を行う。農林課と連携し、農地の活用方法について検討を行う。								
CHECK評価	実行計画事業	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明						PLAN取り組み・DO実施		
	市内企業の成長・定着と市外企業の誘致の促進及び就労機会の創出、定住人口の維持・拡大を図るためには必要な事業である。									
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	市内企業の成長・定着と市外企業の誘致の促進及び就労機会の創出、定住人口の維持・拡大を図るためには必要な事業である。								
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	市内企業の成長・定着と市外企業の誘致の促進及び就労機会の創出、定住人口の維持・拡大を図るためには必要な事業である。								
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	市内企業の成長・定着と市外企業の誘致の促進及び就労機会の創出、定住人口の維持・拡大を図るためには必要な事業である。								
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	市内企業の成長・定着と市外企業の誘致の促進及び就労機会の創出、定住人口の維持・拡大を図るためには必要な事業である。								
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	市内企業の成長・定着と市外企業の誘致の促進及び就労機会の創出、定住人口の維持・拡大を図るためには必要な事業である。								
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	市内企業の成長・定着と市外企業の誘致の促進及び就労機会の創出、定住人口の維持・拡大を図るためには必要な事業である。								
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	市内企業の成長・定着と市外企業の誘致の促進及び就労機会の創出、定住人口の維持・拡大を図るためには必要な事業である。								
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	市内企業の成長・定着と市外企業の誘致の促進及び就労機会の創出、定住人口の維持・拡大を図るためには必要な事業である。								

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業					
R4	事業名	七曲池管理事業									
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち									
	政策	4 人が訪れるまちづくり									
	施策	1 市民力による魅力発信を支援します									
	事業の目的	七曲池(農業用ため池)は、自然環境が非常に良い場所であるため、適切な維持管理を行いウォーキング等を楽しむ地域住民の憩いの場とし活用することで交流促進と地域の活性化を図る。		事業の概要 七曲池の利用者の増大や満足度向上に向けて、施設の適正な維持管理を行う。							
事業成果	七曲池の観光施設の適正な維持管理が図られている。										
事業課題	継続的な維持管理が必要である。また、駐車場から南側に上がった所に広場があるが利用されていないため、活用方法の検討が必要である。										
事業コスト分析	各評価結果										
	事業コスト評価				指標評価		事業内容評価		総合判定評価		
	一般財源		A		成果		1		A 計画どおりに事業を進めることが 適当		
	85.2%		A		2		評価視点		R6年度の方向性		
	総事業コスト		A		効		1		コスト 維持→ 成果 維持→		
	71.6%		A		率		人件費		改善 ①事業の進め方		
	71.6%		A		1		有効性		R6年度の方向性		
	71.6%		A		4		必要性		計画の進捗と成果に 近い状態⇔「計画通り」		
	71.6%		A		4		高い		R6年度の方向性		
	71.6%		A		4		高い		R6年度の方向性		
予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称						
	7	1	4	200000	七曲池管理費						
	R3年度		R4年度		前年増減	前年比		財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源		
	845,000		712,000		△ 133,000	84.3%		0	0 0 0 712,000		
	事業費割合(事業費/施策費)				R2年度	R3年度		R4年度			
	項目		R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳					
	予算額		548,000	845,000	712,000	節	決算額	節	決算額		
	決算額		518,637	828,206	705,358	01	報酬	0	16	公有財産購入費 0	
	不用額		29,363	16,794	6,642	02	給料	0	17	備品購入費 0	
	執行率		94.6%	98.0%	99.1%	03	職員手当等	0	18	負担金、補助及び交付金 0	
	国庫支出金		0	0	0	04	共済費	0	19	扶助費 0	
	県支出金		0	0	0	05	災害補償費	0	20	貸付金 0	
	地方債		0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金 0	
	その他		0	0	0	07	報償費	0	22	償還金、料子及び割引料 0	
	一般財源		518,637	828,206	705,358	08	旅費	0	23	投資及び出資金 0	
	前年比較		—	—	159.7%	D	85.2%	A	09	交際費 0	
	職員人件費		0	213,000	40,000	10	需用費	329,810	25	寄附金 0	
	総事業コスト		518,637	1,041,206	745,358	11	役務費	6,500	26	公課費 0	
	前年比較		—	—	200.8%	D	71.6%	A	12	委託料 369,048	
	主財源					13	使用料及び賃借料	0		予備費 0	
						14	工事請負費	0			
						15	原材料費	0	合計	705,358	
コスト分析	必要最低限の管理費である。										
指標・実施内容	事業指標・評価										
	指標名		単	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
			年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	
	成果1	施設の適正な管理	施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0
				1	7						
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				0	0						
	効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				0	0						
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			0	0							
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 七曲池の観光施設(看板、トイレ等)の維持管理(光熱水費、浄化槽保守検査料) 七曲池の堤体及び駐車場等の除草 										
実施内容	<p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <p>引続き継続的な維持管理に努める。</p>										
実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称						
	7	1	4	200000	七曲池管理費						
	予算額		前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源			
	461,000		△ 251,000		64.7%		0	0 0 0 461,000			
R5年度	<p>・七曲池の観光施設(看板、トイレ等)の維持管理及び駐車場周辺の除草</p> <p>下期実施内容変更見込み</p>										
実施内容	計画額	前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源				
	417,000	△ 44,000		90.5%		0	0 0 0 417,000				
R6年度	<p>・七曲池の観光施設(看板、トイレ等)の維持管理及び駐車場周辺の除草</p> <p>R5年度比較増減要因</p> <p>R7年度増減見込み</p>										
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	施設を維持管理していくため必要である。										

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業
R4	事業名	滝ノ谷池管理事業				
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち				
		政策 4 人が訪れるまちづくり				
		施策 1 市民力による魅力発信を支援します				
	事業の目的	滝ノ谷池(農業用ため池)周辺は、自然環境が非常に良い場所であるため、適切な維持管理と情報発信を行いウォーキング等を楽しむ地域住民の憩いの場とし活用することで交流促進と地域の活性化を図る。		事業の概要 滝ノ谷池の利用者の増大や満足度向上に向けて、施設の適正な維持管理を行う。		
事業コスト分析	事業	滝ノ谷池の観光施設の適正な維持管理が図られている。				
	事業課題	継続的な維持管理が必要である。また、駐車場にあるトイレが汲み取り式であり、地元から水洗化の要望が出ていることから、改修時期や放流先について検討する必要がある。				
	CHECK評価	各評価結果				総合判定評価
		事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		A 計画どおりに事業を進めることが適当
	評価分析・総合判定評価	一般財源	成果	1	評価視点	評価内容
		93.2% B	C	2	効率性	4:高い A 現状維持
	総事業コスト	効率	1	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」
	106.5% D		人件費	必要性	4:高い	R6年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方
	担当評価	「野猿」が市の重要な観光資源であるため継続していく。				
	CHECK評価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 引続き継続的な維持管理に努める。			
ACTION改善		事業名称				
		7 1 4	300000	滝ノ谷池管理費		
PLANN取り組み・DO実施		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
		145,000	92,000	273.6%	0 0 0 0	145,000
R5年度 実施内容		滝ノ谷池の観光施設(トイレ等)の維持管理				下期実施内容変更見込み
		R5年度比較増減要因				
R6年度 実施内容		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
		90,000	△ 55,000	62.1%	0 0 0 0	90,000
指標・実施内容		事業指標・評価		R2年度	R3年度	R4年度
	指標名	単位	現状値 年度	目標値 実績値 達成率 評価	目標値 実績値 達成率 評価	目標値 実績値 達成率 評価
事業実施内容	成果1	施設の適正な管理	施設	0.0 0.0 1 7	0.0 0.0 1.0 0.0	0.0 0.0 1.0 1.0
	成果2			0.0 0.0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0
	効率1			0.0 0.0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0
	効率人件費			0.0 0.0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0
滝ノ谷池の観光施設(野猿、トイレ等)の維持管理						
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 施設を維持管理していくため必要である。						

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業												
R4	事業名	観光情報発信事業																
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち																
	政策	4 人が訪れるまちづくり																
	施策	1 市民力による魅力発信を支援します																
	事業の目的	市民力による魅力発信を支援するため、地域資源を活用し観光情報発信事業を行い菊川市の認知度向上と観光交流客数の増など、地域観光の活性化を図る。		市内外におけるイベント及び観光情報を収集、整理して市内外に情報発信をおこなうことにより、菊川市の認知度を向上させ、誘客を図る。														
事業の概要																		
事業成果	コロナ禍からの人流回復に伴い、富士山静岡空港をはじめとする交通結節点や周辺集客施設、各種イベント等に観光パンフレットを配布することで、市内観光スポット等の認知度向上が図られた。																	
事業課題	イベント等の情報を市内外に発信することで、菊川市の認知度を向上させ、菊川市に来ていただけるような仕組みを作る必要がある。																	
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称												
		7	1	4	700000	観光情報発信事業費												
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
		2,026,000		5,507,000		3,481,000	271.8%		0	0	0	0	5,507,000					
		事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度											
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳												
		予算額	1,001,000	2,026,000	5,507,000	節	決算額	節	決算額									
		決算額	964,789	1,861,030	5,354,741	01	報酬	1,599,160	16	公有財産購入費	0							
		不用額	36,211	164,970	152,259	02	給料	0	17	備品購入費	0							
		執行率	96.4%	91.9%	97.2%	03	職員手当等	321,690	18	負担金、補助及び交付金	0							
	国庫支出金	0	0	2,365,000	04	共済費	0	19	扶助費	0								
	県支出金	0	0	0	05	災害補償費	0	20	貸付金	0								
	地方債	0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0								
	その他	0	0	0	07	報償費	0	22	償還金、料子及び割引料	0								
	一般財源	964,789	1,861,030	2,989,741	08	旅費	0	23	投資及び出資金	0								
	前年比較	—	—	192.9% D	160.6% D	09	交際費	0	24	積立金	0							
	職員人件費	0	1,113,000	1,461,000	10	需用費	637,191	25	寄附金	0								
	総事業コスト	964,789	2,974,030	6,815,741	11	役務費	21,730	26	公課費	0								
	前年比較	—	—	308.3% D	229.2% D	12	委託料	2,774,970	27	繰出金	0							
	主財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		2,356,000	13	使用料及び賃借料	0		予備費	0								
					14	工事請負費	0											
					15	原材料費	0	合計	5,354,741									
コスト分析	観光パンフレット修正増刷等による増額。																	
指標・実施内容	事業指標・評価																	
	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値					
				年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価					
	成果1	観光パンフレットの配布数	冊	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15,000.0						
				1	7													
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
				0	0													
	効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
				0	0													
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
			0	0														
事業実施内容	・菊川市観光パンフレットの修正、増刷(60,000部) ・田んぼアート記念誌の作製(500部)																	
実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 商工観光に関する業務が増加傾向にあり、会計年度任用職員の雇用が必要である。																	
各評価結果	事業コスト評価 一般財源 160.6% D 総事業コスト 229.2% D 成果 1 効率 1 人件費										指標評価 1 2 1 1 4:高い 4:高い 4:高い		事業内容評価 評価視点 効率性 有効性 必要性 4:高い 4:高い 4:高い		評価内容 A 現状維持 計画の進捗と成果に近い状態⇄計画通り		総合判定評価 B 事業の進め方の改善の検討 R6年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方	
担当評価	令和2年度に作成した観光パンフレットの修正し、60,000部を増刷した。引き続きイベント及び観光情報を収集、整理して市内外に情報発信を行うことにより、認知度を向上させ誘客を図る。																	
加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 市の各種SNS等を活用し、更なる情報発信していく必要がある。																	
実行計画事業(円)	款	項	目	事業番号	事業名称													
	7	1	4	700000	観光情報発信事業費													
	予算額		前年増減額		前年比		財源内訳		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
	3,602,000		△ 1,905,000		65.4%				0		0		0		300,000		3,302,000	
	・観光情報発信事業に従事する会計年度任用職員人件費 ・観光パンフレットやチラシ等による情報発信 ・イベントに係る需用費及び負担金、補助金												下期実施内容変更見込み					
	計画額		前年増減額		前年比		財源内訳		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
	2,674,000		△ 928,000		74.2%				0		0		0		0		2,674,000	
	・観光情報発信事業に従事する会計年度任用職員人件費 ・観光パンフレットやチラシ等による情報発信 ・イベントに係る需用費及び負担金、補助金												R5年度比較増減要因					
	・観光情報発信事業に従事する会計年度任用職員人件費 ・観光パンフレットやチラシ等による情報発信 ・イベントに係る需用費及び負担金、補助金												R7年度増減見込み					

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業		
R4	事業名	蓮池公園管理事業						
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち						
	政策	4 人が訪れるまちづくり						
	施策	1 市民力による魅力発信を支援します						
	事業の目的	市民力による魅力発信を支援するため、蓮池公園管理事業により、市営保養センター小菊荘及び蓮池公園を適正に維持管理することにより、市民に憩いの場を提供するとともに、市外から多くの利用者呼び込むことにより、交流人口の拡大と地域観光の活性化を図る。		事業の概要 蓮池公園及び小菊荘グラウンドの利用者の増大や満足度向上に向けて、施設の適正な維持管理を行う。				
事業成果	指定管理者による適正な運営管理が行われたとともに、大河ドラマを契機とした来訪者誘致に向けた獅子ヶ鼻岩跡の景観整備や看板設置などにより、来訪者の受入環境の改善が図られた。							
	小菊荘の次期指定管理者が決まらなかったことにより、ナイター設備のLED化が延伸となった。また、蓮池公園のトイレも老朽化しており、更新を検討する必要がある。							
CHECK評価	各評価結果					総合判定評価		
	事業コスト評価		指標評価		事業内容評価			
評価分析・総合判定評価	一般財源	231.8%	D	成果	1 B	B 事業の進め方の改善の検討		
	総事業コスト	475.3%	D	効率	1			
担当評価	施設の老朽化により修繕等が発生すると思われるが、スポーツや市民の憩いの場として管理を実施していく。							
	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 施設の中長期的な修繕計画を作成していく必要がある。							
CHECK評価	事業指標・評価							
	R2年度 R3年度 R4年度							
指標・実施内容	成果1	施設の適正な管理	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
	成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業実施内容	指定管理者による運営管理 ・グラウンドナイター設備LED化実施設計 ・獅子ヶ鼻岩跡等の景観改良、看板設置(樹木選定、歩道改良、案内看板設置など)							
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 施設を維持管理していくため必要である。							

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業																																																																																									
R4	事業名	小菊荘管理事業																																																																																													
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち																																																																																													
	政策	4 人が訪れるまちづくり																																																																																													
	施策	1 市民力による魅力発信を支援します																																																																																													
	事業の目的	小菊荘運営委員会を開催するなど、市営保養センター「小菊荘」の適切な運営管理のもと、市内外の多くの方に利用していただくことにより、交流人口の拡大を図る。		指定管理者に対する指導監督を行うとともに、必要に応じて施設の修繕等を行い、小菊荘の適正な運営管理を行う。																																																																																											
事業の概要																																																																																															
事業成果	外部有識者による小菊荘運営委員会において、指定管理者の運営管理状況を確認し、必要な助言等を通じて、より適正な運営管理の実施が図られた。																																																																																														
事業課題	令和5年度からの指定管理者を再募集したが、提案者はいなかった。このため、現状での管理運営を請け負う事業者はいないと判断し、新たな活用が決まるまでは施設を休館として管理のみ実施していくこととした。新たに収益が見込まれる施設運営に向けて、民間企業等からの提案を公募していく。																																																																																														
CHECK評価	各評価結果																																																																																														
	事業コスト評価				指標評価																																																																																										
CHECK評価	事業内容評価		事業内容評価		総合判定評価																																																																																										
	A 計画どおりに事業を進めることが適当		A 現状維持		R6年度の方向性																																																																																										
CHECK評価	R6年度の方向性		R6年度の方向性		R6年度の方向性																																																																																										
	コスト 維持→ 改善		成果 維持→ ①事業の進め方		R6年度の方向性																																																																																										
CHECK評価	新型コロナウイルス感染症により、経営が厳しい状況が続き、令和5年度からの指定管理者も応募がなく、大変厳しい状況となった。																																																																																														
	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 新たに収益が見込まれる施設運営に向けて、民間企業等からの提案を公募し、早期に今後の方針を決定していく。																																																																																														
CHECK評価	加える変化																																																																																														
	新たに収益が見込まれる施設運営に向けて、民間企業等からの提案を公募し、早期に今後の方針を決定していく。																																																																																														
CHECK評価	R5年度 実施内容																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1000000</td> <td>小菊荘管理費</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,307,000</td> <td>12,167,000</td> <td>8790.7%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12,307,000</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> ・小菊荘運営委員会の開催 ・施設の維持保全のため必要となる修繕の実施 </td> <td>下期実施内容変更見込み</td> </tr> </tbody> </table>						款	項	目	事業番号	事業名称	7	1	4	1000000	小菊荘管理費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,307,000</td> <td>12,167,000</td> <td>8790.7%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12,307,000</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	12,307,000	12,167,000	8790.7%		0	0	0	0	12,307,000	・小菊荘運営委員会の開催 ・施設の維持保全のため必要となる修繕の実施					下期実施内容変更見込み																																																		
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																											
7	1	4	1000000	小菊荘管理費																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,307,000</td> <td>12,167,000</td> <td>8790.7%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12,307,000</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	12,307,000	12,167,000	8790.7%		0	0	0	0	12,307,000																																																																									
予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																							
12,307,000	12,167,000	8790.7%		0	0	0	0	12,307,000																																																																																							
・小菊荘運営委員会の開催 ・施設の維持保全のため必要となる修繕の実施					下期実施内容変更見込み																																																																																										
CHECK評価	R6年度 実施内容																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>139,000</td> <td>△ 12,168,000</td> <td>1.1%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>139,000</td> </tr> </tbody> </table>						計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	139,000	△ 12,168,000	1.1%		0	0	0	0	139,000																																																																							
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																							
139,000	△ 12,168,000	1.1%		0	0	0	0	139,000																																																																																							
CHECK評価	R5年度 実施内容																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>139,000</td> <td>△ 12,168,000</td> <td>1.1%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>139,000</td> </tr> </tbody> </table>						計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	139,000	△ 12,168,000	1.1%		0	0	0	0	139,000																																																																							
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																							
139,000	△ 12,168,000	1.1%		0	0	0	0	139,000																																																																																							
CHECK評価	R6年度 実施内容																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>139,000</td> <td>△ 12,168,000</td> <td>1.1%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>139,000</td> </tr> </tbody> </table>						計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	139,000	△ 12,168,000	1.1%		0	0	0	0	139,000																																																																							
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																							
139,000	△ 12,168,000	1.1%		0	0	0	0	139,000																																																																																							
CHECK評価	R7年度 実施内容																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>139,000</td> <td>△ 12,168,000</td> <td>1.1%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>139,000</td> </tr> </tbody> </table>						計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	139,000	△ 12,168,000	1.1%		0	0	0	0	139,000																																																																							
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																							
139,000	△ 12,168,000	1.1%		0	0	0	0	139,000																																																																																							
CHECK評価	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明																																																																																														
	菊川市営保養センター「小菊荘」指定管理基本協定書(平成30年度～令和4年度)に基づき実施。																																																																																														
CHECK評価	事業実施内容																																																																																														
	・小菊荘運営委員会: 2回 ・AED借上料																																																																																														
CHECK評価	事業コスト分析																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>事業費内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>15,315,000</td> <td>7,094,000</td> <td>140,000</td> <td>節 決算額</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>15,283,918</td> <td>6,968,467</td> <td>126,754</td> <td>01 報酬 30,000</td> </tr> <tr> <td>不用額</td> <td>31,082</td> <td>125,533</td> <td>13,246</td> <td>02 給料 0</td> </tr> <tr> <td>執行率</td> <td>99.8%</td> <td>98.2%</td> <td>90.5%</td> <td>03 職員手当等 0</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>2,188,914</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>04 共済費 0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>05 災害補償費 0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>06 恩給及び退職年金 0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>106,865</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>07 報償費 0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>12,988,139</td> <td>6,968,467</td> <td>126,754</td> <td>08 旅費 0</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>—</td> <td>53.7% A</td> <td>1.8% A</td> <td>09 交際費 0</td> </tr> <tr> <td>職員人件費</td> <td>0</td> <td>832,000</td> <td>873,000</td> <td>10 需用費 0</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>15,283,918</td> <td>7,800,467</td> <td>999,754</td> <td>11 役務費 61,510</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>—</td> <td>51.0% A</td> <td>12.8% A</td> <td>12 委託料 0</td> </tr> <tr> <td>主財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>13 使用料及び賃借料 35,244</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>14 工事請負費 0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15 原材料費 0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合計 126,754</td> </tr> </tbody> </table>						項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳	予算額	15,315,000	7,094,000	140,000	節 決算額	決算額	15,283,918	6,968,467	126,754	01 報酬 30,000	不用額	31,082	125,533	13,246	02 給料 0	執行率	99.8%	98.2%	90.5%	03 職員手当等 0	国庫支出金	2,188,914	0	0	04 共済費 0	県支出金	0	0	0	05 災害補償費 0	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金 0	その他	106,865	0	0	07 報償費 0	一般財源	12,988,139	6,968,467	126,754	08 旅費 0	前年比較	—	53.7% A	1.8% A	09 交際費 0	職員人件費	0	832,000	873,000	10 需用費 0	総事業コスト	15,283,918	7,800,467	999,754	11 役務費 61,510	前年比較	—	51.0% A	12.8% A	12 委託料 0	主財源				13 使用料及び賃借料 35,244					14 工事請負費 0					15 原材料費 0				
項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳																																																																																											
予算額	15,315,000	7,094,000	140,000	節 決算額																																																																																											
決算額	15,283,918	6,968,467	126,754	01 報酬 30,000																																																																																											
不用額	31,082	125,533	13,246	02 給料 0																																																																																											
執行率	99.8%	98.2%	90.5%	03 職員手当等 0																																																																																											
国庫支出金	2,188,914	0	0	04 共済費 0																																																																																											
県支出金	0	0	0	05 災害補償費 0																																																																																											
地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金 0																																																																																											
その他	106,865	0	0	07 報償費 0																																																																																											
一般財源	12,988,139	6,968,467	126,754	08 旅費 0																																																																																											
前年比較	—	53.7% A	1.8% A	09 交際費 0																																																																																											
職員人件費	0	832,000	873,000	10 需用費 0																																																																																											
総事業コスト	15,283,918	7,800,467	999,754	11 役務費 61,510																																																																																											
前年比較	—	51.0% A	12.8% A	12 委託料 0																																																																																											
主財源				13 使用料及び賃借料 35,244																																																																																											
				14 工事請負費 0																																																																																											
				15 原材料費 0																																																																																											
				合計 126,754																																																																																											
CHECK評価	コスト分析																																																																																														
	小菊荘運営委員会報酬、保険料、AEDリース料のみである。																																																																																														
CHECK評価	指標・実施内容																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業指標・評価</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <th>成果1</th> <th>小菊荘運営委員の開催回数</th> <th>回</th> <th>2.0</th> <th>2.0</th> <th>0.0</th> <th>2.0</th> <th>2.0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>5</td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td>会議時間の短縮</td> <td>時間</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>0.0</td> <td>2.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率人件費</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果1	小菊荘運営委員の開催回数	回	2.0	2.0	0.0	2.0	2.0				1	5		100.0%	B	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0				効率1	会議時間の短縮	時間	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0				1	5				効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0												
事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度																																																																																									
指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																																								
成果1	小菊荘運営委員の開催回数	回	2.0	2.0	0.0	2.0	2.0																																																																																								
			1	5		100.0%	B																																																																																								
成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																								
			0	0																																																																																											
効率1	会議時間の短縮	時間	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0																																																																																								
			1	5																																																																																											
効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																								
			0	0																																																																																											

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業																																																																																																																	
R4	事業名	遊歩道管理事業																																																																																																																					
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち																																																																																																																					
	政策	4 人が訪れるまちづくり																																																																																																																					
	施策	1 市民力による魅力発信を支援します																																																																																																																					
	事業の目的	市民力による魅力発信を支援するため、観光遊歩道を管理することで快適な空間を維持し、市内外の多く方に利用していただくことにより、交流人口の拡大及び地域観光の活性化と市民の健康増進を図る。		事業の概要 観光遊歩道を適切に維持管理する。																																																																																																																			
事業コスト分析	事業成果	観光遊歩道の適正な維持管理が図られている。																																																																																																																					
	事業課題	地元団体の高齢化による、今後の管理の在り方を考える必要がある。																																																																																																																					
	各評価結果	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト評価</th> <th>指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>成果</td> <td>1</td> <td>評価視点</td> </tr> <tr> <td>113.3% D</td> <td>2</td> <td>効率性</td> <td>4:高い</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>効率</td> <td>1</td> <td>評価内容</td> </tr> <tr> <td>104.2% D</td> <td>人件費</td> <td>4:高い</td> <td>計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」</td> </tr> </table>				事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		一般財源	成果	1	評価視点	113.3% D	2	効率性	4:高い	総事業コスト	効率	1	評価内容	104.2% D	人件費	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	総合判定評価	B 事業の進め方の改善の検討																																																																																												
	事業コスト評価	指標評価	事業内容評価																																																																																																																				
	一般財源	成果	1	評価視点																																																																																																																			
	113.3% D	2	効率性	4:高い																																																																																																																			
	総事業コスト	効率	1	評価内容																																																																																																																			
	104.2% D	人件費	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」																																																																																																																			
	事業分析・総合判定評価	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">R6年度の方向性</th> </tr> <tr> <td>コスト</td> <td>縮小↓ 成果 維持→</td> </tr> <tr> <td>改善</td> <td>①事業の進め方</td> </tr> </table>				R6年度の方向性		コスト	縮小↓ 成果 維持→	改善	①事業の進め方	継続的な維持管理が必要である。																																																																																																											
	R6年度の方向性																																																																																																																						
コスト	縮小↓ 成果 維持→																																																																																																																						
改善	①事業の進め方																																																																																																																						
加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 引き続き、事業を継続していく。																																																																																																																						
CHECK評価	事業実施内容	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1500000</td> <td>遊歩道管理費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td>前年増減額</td> <td>前年比</td> <td>財源内訳</td> </tr> <tr> <td colspan="2">426,000</td> <td>25,000</td> <td>106.2%</td> <td>国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 426,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R5年度 実施内容</td> <td colspan="3"> ・火剣山遊歩道の管理 ・井成山遊歩道の管理 下期実施内容変更見込み </td> </tr> <tr> <td colspan="2">R6年度 実施内容</td> <td colspan="3"> ・火剣山遊歩道の管理 ・井成山遊歩道の管理 R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み </td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 施設を維持管理していくために必要である。</td> </tr> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称	7	1	4	1500000	遊歩道管理費	予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	426,000		25,000	106.2%	国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 426,000	R5年度 実施内容		・火剣山遊歩道の管理 ・井成山遊歩道の管理 下期実施内容変更見込み			R6年度 実施内容		・火剣山遊歩道の管理 ・井成山遊歩道の管理 R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み			事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 施設を維持管理していくために必要である。																																																																																		
	款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																		
	7	1	4	1500000	遊歩道管理費																																																																																																																		
	予算額		前年増減額	前年比	財源内訳																																																																																																																		
	426,000		25,000	106.2%	国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 426,000																																																																																																																		
	R5年度 実施内容		・火剣山遊歩道の管理 ・井成山遊歩道の管理 下期実施内容変更見込み																																																																																																																				
	R6年度 実施内容		・火剣山遊歩道の管理 ・井成山遊歩道の管理 R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み																																																																																																																				
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 施設を維持管理していくために必要である。																																																																																																																						
	予算(円)	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1500000</td> <td>遊歩道管理費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>前年増減</td> <td>前年比</td> </tr> <tr> <td colspan="2">393,000</td> <td>401,000</td> <td>8,000</td> <td>102.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費割合(事業費/施策費)</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">項目</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td>393,000</td> <td>393,000</td> <td>401,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算額</td> <td>392,022</td> <td>349,902</td> <td>396,601</td> </tr> <tr> <td colspan="2">不用額</td> <td>978</td> <td>43,098</td> <td>4,399</td> </tr> <tr> <td colspan="2">執行率</td> <td>99.8%</td> <td>89.0%</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">国庫支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般財源</td> <td>392,022</td> <td>349,902</td> <td>396,601</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年比較</td> <td>—</td> <td>89.3% A</td> <td>113.3% D</td> </tr> <tr> <td colspan="2">職員人件費</td> <td>0</td> <td>44,000</td> <td>14,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業コスト</td> <td>392,022</td> <td>393,902</td> <td>410,601</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年比較</td> <td>—</td> <td>100.5% D</td> <td>104.2% D</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主財源</td> <td colspan="4">13 使用料及び賃借料 0 予備費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">14 工事請負費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">15 原材料費 0 合計 396,601</td> </tr> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称	7	1	4	1500000	遊歩道管理費	R3年度		R4年度	前年増減	前年比	393,000		401,000	8,000	102.0%	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度	項目		R2年度	R3年度	R4年度	予算額		393,000	393,000	401,000	決算額		392,022	349,902	396,601	不用額		978	43,098	4,399	執行率		99.8%	89.0%	98.9%	国庫支出金		0	0	0	県支出金		0	0	0	地方債		0	0	0	その他		0	0	0	一般財源		392,022	349,902	396,601	前年比較		—	89.3% A	113.3% D	職員人件費		0	44,000	14,000	総事業コスト		392,022	393,902	410,601	前年比較		—	100.5% D	104.2% D	主財源		13 使用料及び賃借料 0 予備費 0						14 工事請負費 0						15 原材料費 0 合計 396,601			
	款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																		
7	1	4	1500000	遊歩道管理費																																																																																																																			
R3年度		R4年度	前年増減	前年比																																																																																																																			
393,000		401,000	8,000	102.0%																																																																																																																			
事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																			
項目		R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																			
予算額		393,000	393,000	401,000																																																																																																																			
決算額		392,022	349,902	396,601																																																																																																																			
不用額		978	43,098	4,399																																																																																																																			
執行率		99.8%	89.0%	98.9%																																																																																																																			
国庫支出金		0	0	0																																																																																																																			
県支出金		0	0	0																																																																																																																			
地方債		0	0	0																																																																																																																			
その他		0	0	0																																																																																																																			
一般財源		392,022	349,902	396,601																																																																																																																			
前年比較		—	89.3% A	113.3% D																																																																																																																			
職員人件費		0	44,000	14,000																																																																																																																			
総事業コスト		392,022	393,902	410,601																																																																																																																			
前年比較		—	100.5% D	104.2% D																																																																																																																			
主財源		13 使用料及び賃借料 0 予備費 0																																																																																																																					
		14 工事請負費 0																																																																																																																					
		15 原材料費 0 合計 396,601																																																																																																																					
コスト分析	地元の団体に管理をしていただくことで、費用を抑えることが出来ている。																																																																																																																						
指標・実施内容	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業指標・評価</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>成果1</td> <td>件</td> <td>2.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>2.0</td> <td>0.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td>円</td> <td>392,022.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>392,022.0</td> <td>0.0</td> <td>349,902.0</td> </tr> <tr> <td>効率人件費</td> <td>円</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>0.0%</td> <td>D</td> <td>0.0%</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果1	件	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	成果2	件	1	7					効率1	円	392,022.0	0.0	0.0	392,022.0	0.0	349,902.0	効率人件費	円	1	7	0.0%	D	0.0%	E			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0	0																																																						
事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度																																																																																																																	
指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																																																																
成果1	件	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0																																																																																																																
成果2	件	1	7																																																																																																																				
効率1	円	392,022.0	0.0	0.0	392,022.0	0.0	349,902.0																																																																																																																
効率人件費	円	1	7	0.0%	D	0.0%	E																																																																																																																
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																
		0	0																																																																																																																				
事業実施内容	・火剣山遊歩道の除草等の管理の委託 ・井成山遊歩道の除草等の管理の委託																																																																																																																						

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業		
R4	事業名	観光案内表示物管理事業						
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち						
	政策	4 人が訪れるまちづくり						
	施策	1 市民力による魅力発信を支援します						
	事業の目的	市民力による魅力発信を支援するため、観光案内表示物管理事業により、市内観光案内表示物を適正に維持管理することで、市内外からの観光客のスムーズな誘導を図り、観光交流客数の増加と地域観光の活性化を図る。		事業の概要 観光案内表示物を台帳管理することにより、計画的に維持管理・修繕を行い、観光客が目的地に到着できるように整備する。				
事業成果	案内看板を適正に管理することで、来訪者の満足度の向上につなげた。							
事業課題	市内には各種観光看板が30箇所以上あり、計画的な修繕が必要である。							
事業コスト分析	各評価結果							
	事業コスト評価			指標評価		事業内容評価		
	一般財源		A	A	評価視点		A 現状維持	
	20.7%	A			1	効率性		4:高い
	総事業コスト		A	A	評価内容		計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	
	16.3%	A			1	有効性		4:高い
	R6年度の方向性		R6年度の方向性		R6年度の方向性		R6年度の方向性	
	改善		①事業の進め方		①事業の進め方		①事業の進め方	
	台帳管理により計画的な維持管理及び修繕を実施している。							
	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性							
毎年、現地確認をおこない修繕計画に反映をしていく。								
加える変化								
A C T I O N 改善								
実施内容								
R5年度								
R6年度								
R7年度								
R8年度								
R9年度								
R10年度								
R11年度								
R12年度								
R13年度								
R14年度								
R15年度								
R16年度								
R17年度								
R18年度								
R19年度								
R20年度								
R21年度								
R22年度								
R23年度								
R24年度								
R25年度								
R26年度								
R27年度								
R28年度								
R29年度								
R30年度								
R31年度								
R32年度								
R33年度								
R34年度								
R35年度								
R36年度								
R37年度								
R38年度								
R39年度								
R40年度								
R41年度								
R42年度								
R43年度								
R44年度								
R45年度								
R46年度								
R47年度								
R48年度								
R49年度								
R50年度								
R51年度								
R52年度								
R53年度								
R54年度								
R55年度								
R56年度								
R57年度								
R58年度								
R59年度								
R60年度								
R61年度								
R62年度								
R63年度								
R64年度								
R65年度								
R66年度								
R67年度								
R68年度								
R69年度								
R70年度								
R71年度								
R72年度								
R73年度								
R74年度								
R75年度								
R76年度								
R77年度								
R78年度								
R79年度								
R80年度								
R81年度								
R82年度								
R83年度								
R84年度								
R85年度								
R86年度								
R87年度								
R88年度								
R89年度								
R90年度								
R91年度								
R92年度								
R93年度								
R94年度								
R95年度								
R96年度								
R97年度								
R98年度								
R99年度								
R100年度								
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明								
施設を維持管理していくため必要である。								
事業実施内容								
黒田家住宅(黒田家代官屋敷)の案内看板修繕(2カ所)ほか								
コスト分析								
市内に設置してある各種看板の修繕計画を立てることで予算額の平準化を図っている。								
主財源								
13 使用料及び賃借料 21,544 予備費 0								
14 工事請負費 0								
15 原材料費 0 合計 197,544								
総事業コスト 859,544 1,385,444 225,544 11 役務費 0 26 公課費 0								
前年比較 — — 161.2% D 16.3% A 12 委託料 0 27 繰出金 0								
職員人件費 0 142,000 28,000 10 需用費 176,000 25 寄附金 0								
前年比較 — — 111.0% D 20.7% A 09 交際費 0 24 積立金 0								
一般財源 859,544 954,444 197,544 08 旅費 0 23 投資及び出資金 0								
R4年度 207,000 1,243,444 197,544 07 報償費 0 22 償還金、料子及び割引料 0								
R3年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6% 06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 0								
R2年度 863,000 1,244,000 207,000 05 災害補償費 0 20 貸付金 0								
R1年度 859,544 1,243,444 197,544 04 共済費 0 19 扶助費 0								
R0年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6% 03 職員手当等 0 18 負担金、補助及び交付金 0								
R-1年度 863,000 1,244,000 207,000 02 給料 0 17 備品購入費 0								
R-2年度 859,544 1,243,444 197,544 01 報酬 0 16 公有財産購入費 0								
R-3年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6% 00 0 0 0 0 207,000								
R-4年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-5年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-6年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-7年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-8年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-9年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-10年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-11年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-12年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-13年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-14年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-15年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-16年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-17年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-18年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-19年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-20年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-21年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-22年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-23年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-24年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-25年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-26年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-27年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-28年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-29年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-30年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-31年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-32年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-33年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-34年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-35年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-36年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-37年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-38年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-39年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-40年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-41年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-42年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-43年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-44年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-45年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-46年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-47年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-48年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-49年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-50年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-51年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-52年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-53年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-54年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-55年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-56年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-57年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-58年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-59年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-60年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-61年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-62年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-63年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-64年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-65年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-66年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-67年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-68年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-69年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-70年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-71年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-72年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-73年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-74年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-75年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-76年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-77年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-78年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-79年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-80年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-81年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-82年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-83年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-84年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-85年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-86年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-87年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-88年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-89年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-90年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-91年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-92年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-93年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-94年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-95年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-96年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-97年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-98年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-99年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-100年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-101年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-102年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-103年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-104年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-105年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-106年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-107年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-108年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-109年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-110年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-111年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-112年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-113年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-114年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-115年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-116年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-117年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-118年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-119年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-120年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-121年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-122年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-123年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-124年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-125年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-126年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-127年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-128年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-129年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-130年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-131年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-132年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-133年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-134年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-135年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-136年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-137年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-138年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-139年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-140年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-141年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-142年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-143年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-144年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-145年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-146年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-147年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-148年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-149年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-150年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-151年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-152年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-153年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-154年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-155年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-156年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-157年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-158年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-159年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-160年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-161年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-162年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-163年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-164年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-165年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								
R-166年度 863,000 1,244,000 207,000								
R-167年度 859,544 1,243,444 197,544								
R-168年度 1,244,000 207,000 △ 1,037,000 16.6%								

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業						
R4	事業名	市観光協会連携事業										
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 政策 4 人が訪れるまちづくり 施策 1 市民力による魅力発信を支援します										
	事業の目的	市民力による魅力発信を支援するため、市観光協会連携事業により、観光協会の活動支援及びイベントでの連携や情報発信をすることにより、市外から多くの利用者を呼び込むことで交流人口の拡大と地域観光の活性化を図る。										
	事業の概要	菊川市観光協会の事業費補助及び市内外観光イベントでの連携を行い、菊川市の魅力を広く情報発信する。市最大の観光イベントとして菊川産業祭を開催し、市内外からの多くの来場者が参加することにより交流人口の増加を図る。										
	事業成果	市観光協会と連携して、各イベント等を実施することで、市内外からの来訪者を多く迎え、消費促進を図ることができた。										
事業課題	コロナ禍前と同等レベルまでイベント等が実施されると想定されることから、イベントを基に、継続的な売り上げに繋がる仕組み作りを実施していく必要がある。											
事業コスト分析	決算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 4	1800000	市観光協会連携事業費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳						
		10,959,000	15,262,000	4,303,000	139.3%	国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 5,598,000 一般財源 9,664,000						
		事業費割合(事業費/施策費)	R2年度	R3年度	R4年度							
	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳							
	予算額	7,059,000	10,959,000	15,262,000	節 決算額	節 決算額						
	決算額	6,653,000	10,550,000	15,262,000	01 報酬	0 16 公有財産購入費						
	不用額	406,000	409,000	0	02 給料	0 17 備品購入費						
	執行率	94.2%	96.3%	100.0%	03 職員手当等	0 18 負担金、補助及び交付金						
コスト分析	決算(円)	国庫支出金	0	0	147,000	04 共済費	0 19 扶助費	0				
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0 20 貸付金	0				
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0 21 補償、補填及び賠償金	0				
		その他	0	4,677,000	3,469,000	07 報償費	0 22 償還金、利子及び割引料	0				
		一般財源	6,653,000	5,873,000	11,646,000	08 旅費	0 23 投資及び出資金	0				
		前年比較	— —	88.3% A	198.3% D	09 交際費	0 24 積立金	0				
		職員人件費	0	193,000	238,000	10 需用費	0 25 寄附金	0				
		総事業コスト	6,653,000	10,743,000	15,500,000	11 役務費	0 26 公課費	0				
		前年比較	— —	161.5% D	144.3% D	12 委託料	0 27 繰出金	0				
		主財源	ふるさと納税寄付金		3,469,000	13 使用料及び賃借料	0 予備費	0				
デジタル田園都市国家構想推進交付金(地方創生推進タイプ)		147,000	14 工事請負費	0								
15 原材料費			0 合計		15,262,000							
コスト分析	三年ぶりに産業祭を開催することができ、前年度より増額となった。											
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度	R3年度	R4年度						
		指標名	単位	現状値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
		成果1	産業祭の来場者数	人	23,000.0	400,000.0	0.0	0.0	23,000.0	0.0	20,000.0	13,000.0
					1	7			0.0%	E	65.0%	E
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	効率1	来場者一人当たりのコスト	円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	461.0	
				1	7	100.0%	B	100.0%	B	0.0%	D	
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
				0	0							
	事業実施内容	・産業祭実行委員会に参画し産業祭を開催:13,000人 ・桜マルシェ(700人)や代官屋敷竹あかり店(588人)などの市観光協会実施イベント等への支援										
CHECK評価	CHECK評価	各評価結果										
		事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		総合判定評価						
		一般財源	成果	1	E	評価視点	評価内容					
		198.3% D	2		効率性	4:高い	A 現状維持					
		総事業コスト	効率	1	D	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」				
	144.3% D	人件費			必要性	4:高い						
	担当評価	今後も引き続き、観光協会に補助金を支給していくとともに、産業祭の内容についても検討していく。										
	ACTION改善	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性										
		集客によって、継続的な売り上げに繋がる仕組みを構築する。										
		R6年度の方向性										
コスト改善		縮小↓	成果	拡充↑	①事業の進め方							
PLAN取り組み・DO実施	R5年度	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 4	1800000	市観光協会連携事業費								
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		23,438,000	8,176,000	153.6%		0	0	0	6,101,000	17,337,000		
		・観光協会運営事業費補助金の交付 ・菊川産業祭や観光イベントの開催協力及び連携事業の実施										
	R6年度	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		15,262,000	△ 8,176,000	65.1%		0	0	0	0	15,262,000		
		・観光協会運営事業費補助金の交付 ・菊川産業祭や観光イベントの開催協力及び連携事業の実施										
		R5年度比較増減要因										
		R7年度増減見込み										
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明												
観光協会は観光事業の振興を図り、産業の発展向上に資すること目的としていることから継続した支援が必要。また、産業祭は市で集客力のあるイベントであり、交流人口の増加に繋がる事業であり継続していく。												

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業
R4	事業名	マスコットキャラクター運営事業				
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち				
	政策	4 人が訪れるまちづくり				
	施策	2 マスコットを活用した情報発信を行います				
	事業の目的	マスコットを活用した情報発信をするため、マスコットキャラクター運営事業により、マスコットキャラクターのイベント参加による交流や情報発信を行うことで、市の認知度の向上に繋がる取り組みを推進し、交流人口増加を図る。		事業の概要		
事業の概要	マスコットキャラクターを様々な方法で広く活用し、菊川市の情報発信を行う。市内外・県外のイベントに参加することにより、菊川市の認知度を向上させ、交流人口の拡大を図る。					
事業成果	各イベントへの出演を通じて、菊川市の認知度向上を図ることができた。					
事業課題	他のゆるキャラと比べて、販売できるグッズが少ない。新たに売り上げに繋がるグッズ作成が必要。					
CHECK評価	各評価結果					
	事業コスト評価				指標評価	
CHECK評価	事業内容評価				総合判定評価	
	一般財源		指標評価		事業内容評価	
CHECK評価	282.5% D		成果 1		評価視点	
	95.4% B		効率 1 D		評価内容	
CHECK評価	総事業コスト		1 人件費		4:高い	
	R6年度の方向性		2 効率		A 現状維持	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	301,000		801,000		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年増減		前年比		①事業の進め方	
	500,000		266.1%		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	275,847		779,381		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	779,381		1,747,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	92.0% B		282.5% D		改善	
CHECK評価	R2年度		R3年度		R4年度	
	1,556,000		968,000		779,381	
CHECK評価	R3年度		R4年度		R6年度の方向性	
	968,000		779,381		コスト 縮小! 成果 維持→	
CHECK評価	前年比較		前年比		①事業の進め方	
	611.0% D		95.4% B		改善	
CHECK評価	R2年度</					

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業																								
R4	事業名	西部広域観光連携事業																												
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち																												
	政策	4 人が訪れるまちづくり																												
	施策	3 広域市町と連携した交流人口の増加を図ります																												
	事業の目的	広域市町と連携した交流人口の増加を図るため、静岡県西部地域における観光振興及び情報発信について連携して取り組み、圏域内の観光事業の活性化を図る。		事業の概要 静岡県西部5市1町により構成され、連携して観光を推進する静岡県遠州観光協議会の実施事業に参加する。																										
事業コスト分析	事業成果	遠州地域が連携して観光PRや来訪促進に取り組むことで、個々の市町の観光目的地としての集客力の弱さを補い、来訪意向につながる取組が図られた。																												
	事業課題	停滞していた観光関係が活発化することから、遠州広域での観光をPRしていく必要がある。																												
	各評価結果	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト評価</th> <th>指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>成果</td> <td>1</td> <td>評価視点</td> <td>評価内容</td> </tr> <tr> <td>100.0% C</td> <td>2</td> <td>効率性</td> <td>4:高い</td> <td>A 現状維持</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>効率</td> <td>1</td> <td>有効性</td> <td>4:高い</td> </tr> <tr> <td>66.1% A</td> <td>人件費</td> <td>必要性</td> <td>4:高い</td> <td>計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」</td> </tr> </table>				事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		一般財源	成果	1	評価視点	評価内容	100.0% C	2	効率性	4:高い	A 現状維持	総事業コスト	効率	1	有効性	4:高い	66.1% A	人件費	必要性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	総合判定評価 A 計画どおりに事業を進めることが R6年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方
	事業コスト評価	指標評価	事業内容評価																											
	一般財源	成果	1	評価視点	評価内容																									
	100.0% C	2	効率性	4:高い	A 現状維持																									
	総事業コスト	効率	1	有効性	4:高い																									
	66.1% A	人件費	必要性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」																									
	担当評価	6市1町で構成された広域の協議会へ負担金を支出した。																												
	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 引き続き、広域で有効な事業を実施していく。																												
CHECK評価	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称																								
		7	1	4	1400000	西部広域観光連携事業費																								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																			
		205,000	205,000	0	100.0%		0	0	0	0	205,000																			
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度																								
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳																								
		予算額	205,000	205,000	205,000	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0																					
		決算額	205,000	205,000	205,000	02 給料	0	17 備品購入費	0																					
		不用額	0	0	0	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	205,000																					
		執行率	100.0%	100.0%	100.0%	04 共済費	0	19 扶助費	0																					
	国庫支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0																						
	県支出金	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0																						
	地方債	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0																						
	その他	0	0	0	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0																						
	一般財源	205,000	205,000	205,000	09 交際費	0	24 積立金	0																						
	前年比較	—	—	100.0% C	100.0% C	10 需用費	0	25 寄附金	0																					
	職員人件費	0	273,000	111,000	11 役務費	0	26 公課費	0																						
	総事業コスト	205,000	478,000	316,000	12 委託料	0	27 繰出金	0																						
	前年比較	—	—	233.2% D	66.1% A	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0																					
	主財源																													
	コスト分析	広域団体への負担金であり、前年度と同額である。																												
CHECK評価	実行計画事業(円)	款	項	目	事業番号	事業名称																								
		7	1	4	1400000	西部広域観光連携事業費																								
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
		205,000	0	100.0%		0	0	0	0	205,000																				
		・遠州観光協議会負担金					下期実施内容変更見込み																							
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
		205,000	0	100.0%		0	0	0	0	205,000																				
		・広域観光キャンペーンへの参加 ・遠州地区の観光振興に係る調査研究事業の実施					R5年度比較増減要因																							
		R6年度実施内容					R7年度増減見込み																							
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 広域で組織された団体の負担金であり必要である。																												
指標・実施内容	事業指標・評価	指標名		単位	現状値	目標値	R2年度	R3年度	R4年度																					
		年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価																					
	成果1	負担金を支出する団体数	団体	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0																				
				1	7																									
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																				
				0	0																									
	効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																				
				0	0																									
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																				
				0	0																									
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 協議会構成市町共同での観光PRの実施 令和5年度実施予定のモニターツアーの調整、準備 																													

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	商工観光課	担当係	重点事業						
R4	事業名	消費者被害防止推進事業										
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 政策 5 消費者が安心して暮らせるまちづくり 施策 1 消費者被害の軽減に努めます										
	事業の目的	消費者被害を未然に防ぐため、消費者被害防止推進事業により、関連機関との連携や研修を実施し、消費者被害を未然に防ぐことで、消費者が安心・安全に暮らせるまちづくりを図る。										
	事業の概要	高齢者及び障がい消費者の消費者被害を防ぐため、市、民生児童委員、介護・福祉事務所との連携を強化し、研修会を実施するなど見守りネット事業を行う。また、成年年齢引下げにより新たに成年となる18・19歳への啓発活動を行う。										
	事業成果	研修会や注意喚起を通じて、消費者トラブルの軽減につなげた。										
事業課題	見守りネット研修には、民生委員及びケアマネジャーに参加依頼をしているが、参加者が減少している。講演内容の見直しが必要である。また、新成人への注意喚起を引き続き実施していく必要がある。											
事業コスト分析	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	0	519,420	0	04 共済費	0	19 扶助費	0			
		県支出金	74,000	241,045	100,000	05 災害補償費	0	20 貸付金	0			
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0			
		その他	30,000	10,470	40,470	07 報償費	30,000	22 償還金、料子及び割引料	0			
		一般財源	195,720	161,795	59,720	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0			
	前年比較	—	—	82.7% A	36.9% A	09 交際費	0	24 積立金	0			
	職員人件費	0	1,351,000	607,000	10 需用費	159,720	25 寄附金	0				
	総事業コスト	299,720	2,283,730	807,190	11 役務費	0	26 公課費	0				
	前年比較	—	—	762.0% D	35.3% A	12 委託料	0	27 繰出金	0			
	主財源	消費者行政強化促進事業補助金		100,000	13 使用料及び賃借料	10,470	予備費	0				
金融広報委員会推奨事業助成金		40,470	14 工事請負費	0								
			15 原材料費	0	合計	200,190						
新型コロナウイルス感染症に便乗した詐欺などの注意喚起のための啓発品や、成人年齢引下げによる新成人への消費者トラブル併発を実施したことによる増額。												
指標・実施内容	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度					
	指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
	成果1	研修会参加人数	人	47.0	0.0	0.0	47.0	0.0	43.0	0.0	32.0	
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	効率1	参加者一人当たりのコスト	円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
				0	0							
	・見守りネット研修会：1回、32人 ・成人年齢引き下げによる消費者トラブルの注意喚起 など											
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明											
	高齢消費者被害防止、早期救済のため啓発事業の継続が必要である。											
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		935,000	278,000	△ 657,000	29.7%		0	100,000	0	41,000	137,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	300,000	935,000	278,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	299,720	932,730	200,190	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	280	2,270	77,810	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	99.9%	99.8%	72.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
CHECK評価	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		7 1 5	100000	消費者被害防止推進費								

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業	○																																																																																																												
R4	事業名	地域特産物推進事業																																																																																																																	
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち																																																																																																																	
	政策	1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり																																																																																																																	
	施策	1 菊川型農業モデルの創出を図ります																																																																																																																	
	事業の目的	菊川型農業モデルの創出を図るため、地域特産物推進事業により、新たに地域特産物として推進する作物の産地化・ブランド化を推進し、農業者の所得向上と地域農業の活性化を図る。		新たに地域特産物として推進する作物(ちゃ豆、そら豆、オリーブ等)について、生産者の確保や販路開拓等を推進する。																																																																																																															
事業の概要																																																																																																																			
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特産物「ちゃ豆」の周知を図るため、市内スーパーでの販売を実施した。 ・地域特産物推進事業費補助金に関する周知を実施し続けてきた結果、オリーブに関する交付対象者及びちゃ豆の補助申請額が増加した。 ・そら豆の生産者数は現状維持、高麗人参は生産者不在が続いているため、農業振興会と協力して地域特産物の見直しを行い、高麗人参を外し、イチジク、白ネギを追加した。 																																																																																																																		
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各作物とも生産者が不足しているため、引き続き生産者の確保に向けた取組みを進めていく必要がある。 ・地域特産物の除外、追加した品目について、補助要綱の改正を行い、生産者確保に向けた取組を新たに進める必要がある。 																																																																																																																		
事業コスト分析	事業コスト評価	各評価結果					総合判定評価																																																																																																												
	決算前年比	一般財源	D	成果	1	B	評価視点	評価内容	B 事業の進め方の改善の検討																																																																																																										
		155.2%		D	2					効率性	4:高い	A 現状維持																																																																																																							
		総事業コスト		208.8%	D	効率	1	D		有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」																																																																																																							
担当評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特産物として推進する作物(オリーブ)について、昨年度より取組者が増加したことから、生産者の確保を推進することができた。 																																																																																																																		
CHECK評価	加える変化	<p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特産物候補からの除外(高麗人参)、追加(イチジク、白ネギ)について周知し、継続対象作物(ちゃ豆、そら豆、オリーブ)を合わせた5品目について推進し、特産物の定着及び産地化、ブランド化につなげていく。 ・生産者の確保や販路開拓等は継続的に推進していく。 																																																																																																																	
	実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																													
	R5年度	6	1	3	100000	地域特産物推進事業																																																																																																													
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																									
R6年度	1,120,000	550,000	196.5%		0	0	0	0	1,120,000																																																																																																										
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特産物の販路確保・拡充に係る旅費 ・地域特産物に係るPRイベントの開催 ・地域特産物推進に係る補助金の交付 				下期実施内容変更見込み																																																																																																														
実施内容	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																										
R6年度	1,120,000	0	100.0%		0	0	0	0	1,120,000																																																																																																										
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特産物の販路確保・拡充に係る旅費 ・地域特産物に係るPRイベントの開催 ・地域特産物推進に係る補助金の交付 				R5年度比較増減要因																																																																																																														
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹作物への人的、時間的、金銭的投資ができるように、また、地域農業の再活性ができるよう、地域特産物となる可能性のある農産物の生産の推進、知名度向上の取り組みを実施した。 ・生産者がいない、少ないと定着に繋がっていかないため、菊川市の地域特性や、販路等の確保を考慮し、地域特産物の見直しを行った。 																																																																																																																		
指標・実施内容	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p>																																																																																																																		
指標評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業指標・評価</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果1</td> <td>地域特産物の販売イベント実施回数</td> <td>回</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>0.0%</td> <td>E</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td>販売イベント来場者1人当たりの事業費コスト</td> <td>円</td> <td>133.0</td> <td>150.0</td> <td>0.0</td> <td>153.9</td> <td>130.0</td> <td>0.0</td> <td>150.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td>0.0%</td> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td>35.9%</td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td>人件費</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	成果1	地域特産物の販売イベント実施回数	回	1.0	1.0	0.0	1.0	3.0	0.0	1.0				1	7			0.0%	E	100.0%	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0						効率1	販売イベント来場者1人当たりの事業費コスト	円	133.0	150.0	0.0	153.9	130.0	0.0	150.0				1	7	0.0%	D			35.9%	効率	人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0					
事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度																																																																																																													
指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																																																										
		年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価																																																																																																										
成果1	地域特産物の販売イベント実施回数	回	1.0	1.0	0.0	1.0	3.0	0.0	1.0																																																																																																										
			1	7			0.0%	E	100.0%																																																																																																										
成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																										
			0	0																																																																																																															
効率1	販売イベント来場者1人当たりの事業費コスト	円	133.0	150.0	0.0	153.9	130.0	0.0	150.0																																																																																																										
			1	7	0.0%	D			35.9%																																																																																																										
効率	人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																										
			0	0																																																																																																															

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業	○								
R4	事業名	担い手確保育成推進事業													
総合計画	体系・概要	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち					事業成果							
	政策	1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり													
	施策	2 経営感覚に優れた担い手の確保と育成を図ります													
	事業の目的	経営感覚に優れた担い手の確保と育成を図るため、担い手確保育成推進事業により、農業の担い手である認定農業者や認定志向農業者等に対し、関係機関・団体の連携による経営指導・助言を行い、農用地等の有効利用並びに地域農業を担う農業者の育成に繋げ、地域農業の活性化を図る。													
事業の概要	担い手育成総合支援協議会を通じ、農業の担い手や新規就農者への経営指導、助言等支援や、人・農地プランの実質化を進めることで、担い手の経営の安定化を図る。					事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者更新及び認定審査を実施し、更新36名、新規3名が認定された。 ・新規就農者による青年等就農計画の認定審査を行い1名が認定された。 ・農業次世代人材投資資金について、1名の資金交付、支援状況の共有、助言等支援を実施した。 ・経営継承・発展等支援事業について、2経営体の支援を実施した。 ・地域計画のスケジュールを作成し、モデル地区1地区において協議を実施、本協議を上平川地区、横地地区において開始した。 								
事業コスト分析	決算(円)	款 項 目		事業番号	事業名称				事業の概要						
		6	1	3	500000	担い手確保育成推進費									
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比			財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		1,581,000		2,651,000		1,070,000	167.7%			0	1,164,000	0	702,000	785,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度		R3年度		R4年度							
		項目		R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳								
		予算額		1,572,000	1,581,000	2,651,000	節	決算額		節	決算額				
		決算額		1,539,000	822,000	2,625,729	01	報酬		0	16	公有財産購入費	0		
		不用額		33,000	759,000	25,271	02	給料		0	17	備品購入費	0		
		執行率		97.9%	52.0%	99.0%	03	職員手当等		0	18	負担金、補助及び交付金	2,568,729		
国庫支出金		0	0	0	04	共済費	0	19	扶助費	0					
県支出金		1,524,000	750,000	1,163,229	05	災害補償費	0	20	貸付金	0					
地方債		0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0					
その他		0	0	702,750	07	報償費	57,000	22	償還金、利子及び割引料	0					
一般財源		15,000	72,000	759,750	08	旅費	0	23	投資及び出資金	0					
前年比較		—	—	480.0%	D	1055.2%	D	09	交際費	0	24	積立金	0		
職員人件費		0	2,833,000	966,000	10	需用費	0	25	寄附金	0					
総事業コスト		1,539,000	3,655,000	3,591,729	11	役務費	0	26	公課費	0					
前年比較		—	—	237.5%	D	98.3%	B	12	委託料	0	27	繰出金	0		
主財源		担い手育成総合対策事業費補助金(農業次世代人材投資事業)		1,163,229	13	使用料及び賃借料	0		予備費	0					
		経営継承・発展等支援事業費補助金		702,750	14	工事請負費	0								
					15	原材料費	0	合計		2,625,729					
コスト分析		<ul style="list-style-type: none"> ・新たに経営継承・発展支援等事業費補助事業を実施したことから予算は増加している。 ・新たな事業の追加、農業次世代人材投資資金の中間評価の実施し、認定新規就農者の審査1件の実施等、事業の充実により事務は増加したが、R3の担い手育成総合支援協議会を対象とした会計検査への対応が減少したため、人件費は減となった。 ・協議会については審査会の実施により開催時間は増加したが、充実した内容の協議会とすることができた。 													
CHECK評価	指標・実施内容	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		事業実施内容					
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値		目標値	実績値			
		成果1	担い手育成総合支援協議会開催回数	回	3.0	3.0	0.0	4.0	3.0		3.0	3.0			
					1	7			100.0%		B	100.0%	B		
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0			
					0	0									
		効率1	担い手育成総合支援協議会の会議時間を前年度より縮減	時間	6.0	4.5	0.0	2.0	5.5		3.8	5.0	5.5		
					1	7	0.0%	E	144.7%		S	90.9%	B		
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0		
					0	0									
<ul style="list-style-type: none"> ・各種事業の審査、情報共有等を担う、担い手育成総合支援協議会を书面決議1回、協議会を3回開催した。 ・1名の青年等就農計画の認定審査、39経営体の認定農業者の経営改善計画新規・更新認定審査を行った。 ・実質化した人・農地プランの変更協議を行った。 ・人・農地プランの法定化に伴う地域計画の策定について、スケジュールの作成、モデル地区の協議の実施、本協議を1.5地区において実施した。 ・令和2年度に実施した高収益作物次期作支援交付金の継続状況を調査し、評価報告を行った。 															
CHECK評価	実行計画事業(円)	款 項 目		事業番号	事業名称				実行計画事業						
		6	1	3	500000	担い手確保育成推進費									
		予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金		地方債	その他	一般財源			
		15,659,000		13,008,000	590.7%	0	13,577,000	0		1,000,000	1,082,000				
		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度					
		実施内容		実施内容		実施内容		実施内容		実施内容					
		<ul style="list-style-type: none"> ・担い手育成総合支援協議会の開催 ・地域計画(人・農地プラン)の策定のための関係者協議の実施 ・新規就農者支援のための新規就農者育成総合対策事業の実施 ・経営継承・発展等支援事業費補助金 ・新規就農者育成総合対策(経営開始型)、(経営発展支援事業)の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・下期実施内容変更見込み 											
		計画額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金		地方債	その他	一般財源			
		18,385,000		2,726,000	117.4%	0	1,500,000	0		500,000	16,385,000				
		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度		R10年度					
実施内容		実施内容		実施内容		実施内容		実施内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・担い手育成総合支援協議会の開催 ・地域計画(人・農地プラン)の策定のための関係者協議の実施 ・新規就農者支援のための新規就農者育成総合対策事業の実施 ・経営継承支援のための経営継承・発展等支援事業の実施 ・新規就農者育成総合対策(経営開始型)、(経営発展支援事業)の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度比較増減要因 		<ul style="list-style-type: none"> ・R7年度増減見込み 											
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明															

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業						
R4	事業名	肥料価格高騰対策事業										
総合計画	体系・概要	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち									
	政策	1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり										
	施策	3 農業経営基盤の強化を促進します										
	事業の目的	肥料価格高騰による農業経営への影響を緩和するとともに、持続可能な農業への転換を進めるため、化学肥料の低減に向けて取り組む農業者に対し、国及び県の支援事業と併せ市独自に肥料費の上昇分の一部を助成する。		事業の概要								
事業コスト分析	決算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		6 1 3	2500000	肥料価格高騰対策事業費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	43,073,000	43,073,000			10,000,000	0	0	0	33,073,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	0	0	43,073,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	0	0	6,229,228	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	0	0	36,843,772	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率			14.5%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	6,229,228			
決算内訳	財源内訳	国庫支出金	0	0	6,229,228	04 共済費	0	19 扶助費	0			
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0			
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0			
		その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0			
		一般財源	0	0	0	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0			
		前年比較	—	—		09 交際費	0	24 積立金	0			
		職員人件費	0	0	0	10 需用費	0	25 寄附金	0			
		総事業コスト	0	0	6,229,228	11 役務費	0	26 公課費	0			
		前年比較	—	—		12 委託料	0	27 繰出金	0			
		主財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		6,229,228	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0			
コスト分析	・肥料価格高騰に対する緊急的な農業者支援として実施した。 ・R4は秋肥対象に43事業者に対し支援した。											
	事業指標・評価											
指標・実施内容	指標評価	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
					年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価
		成果1	支援事業者数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.0
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		・肥料価格高騰に対する緊急対策事業として国・県に合わせて支援を実施するため、補助要綱の制定、事業の周知、補助事業の実施、春肥に対応するための繰越手続きを行った。										
		事業実施内容										
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明										
CHECK評価	CHECK評価	事業成果										
		・事業周知:国の肥料価格高騰対策事業の上乗せ補助として12月補正に計上し、農業者の負担を軽減するため、農協や肥料販売業者等が取りまとめて申請する手続きとして、国の採択決定が発出された後の2月16日から受付を開始した。 ・秋肥に対する補助:43事業所、6,229,228円の補助を実施した。										
		事業課題										
		・国及び県が事業周知を進めている中、事業の進捗状況について情報を収集し、菊川市の申請対象者数などの正確な積算に努めなくてはならない。 ・農業者や申請者の手続き負担の軽減に努めながら、効果的な事務手続きについて検討する必要がある。										
		各評価結果										
		総合判定評価										
		B 事業の進め方の改善の検討										
		R6年度の方向性										
		コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方										
		・確実な対象者把握ができることを必須としながら、確認資料の簡素化を図ることで、その他の補助事業と比較し、人件費の軽減を図りながら、多くの農業者に対し迅速に補助を実施することができた。										
CHECK評価	CHECK評価	加える変化										
		課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性										
		・緊急対策事業であるため、肥料価格高騰の状況や、国や県の動向を見ながら今後について検討を進める。										
		実施内容										
		・春肥に対する補助の実施										
		下期実施内容変更見込み										
		R5年度										
		R6年度										
		R5年度比較増減要因										
		R7年度増減見込み										
R6年度												
R5年度												
R4年度												
R3年度												
R2年度												
R1年度												
R0年度												
R-1年度												
R-2年度												
R-3年度												
R-4年度												
R-5年度												
R-6年度												
R-7年度												
R-8年度												
R-9年度												
R-10年度												
R-11年度												
R-12年度												
R-13年度												
R-14年度												
R-15年度												
R-16年度												
R-17年度												
R-18年度												
R-19年度												
R-20年度												
R-21年度												
R-22年度												
R-23年度												
R-24年度												
R-25年度												
R-26年度												
R-27年度												
R-28年度												
R-29年度												
R-30年度												
R-31年度												
R-32年度												
R-33年度												
R-34年度												
R-35年度												
R-36年度												
R-37年度												
R-38年度												
R-39年度												
R-40年度												
R-41年度												
R-42年度												
R-43年度												
R-44年度												
R-45年度												
R-46年度												
R-47年度												
R-48年度												
R-49年度												
R-50年度												
R-51年度												
R-52年度												
R-53年度												
R-54年度												
R-55年度												
R-56年度												
R-57年度												
R-58年度												
R-59年度												
R-60年度												
R-61年度												
R-62年度												
R-63年度												
R-64年度												
R-65年度												
R-66年度												
R-67年度												
R-68年度												
R-69年度												
R-70年度												
R-71年度												
R-72年度												
R-73年度												
R-74年度												
R-75年度												
R-76年度												
R-77年度												
R-78年度												
R-79年度												
R-80年度												
R-81年度												
R-82年度												
R-83年度												
R-84年度												
R-85年度												
R-86年度												
R-87年度												
R-88年度												
R-89年度												
R-90年度												
R-91年度												
R-92年度												
R-93年度												
R-94年度												
R-95年度												
R-96年度												
R-97年度												
R-98年度												
R-99年度												
R-100年度												

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業							
R4	事業名	農業委員会総務事業											
総合計画	体系・概要	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち										
	政策	1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり											
	施策	4 農地の適正な管理と利用を促進します											
	事業の目的	農地の適正な管理と利用を促進するため、農業委員会総務事業により、農業委員会等に関する法律に基づき、農地の適正な管理や農業委員会の運営を行うことで、優良な農地の確保と保全を推進し、以って、農地の適正な管理を図る。	事業の概要	農地利用意向調査の実施や農地台帳システム等の管理を行い、農地の適正な管理を行う。また適正な農地法審査を行うための研修会への参加や県外視察研修を実施することで、農業委員及び農地利用最適化推進委員の知識向上を図るとともに、農業委員会だよりを発行し、農業委員会の活動を広く市民に周知する。									
事業コスト分析	決算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称									
		6 1 1	400000	農業委員会総務費									
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		7,841,000	9,526,000	1,685,000	121.5%		0	3,626,000	0	5,000	5,895,000		
		事業費割合(事業費/施策費)	R2年度	R3年度	R4年度								
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳							
		予算額	7,743,000	7,841,000	9,526,000	節	決算額	節	決算額				
		決算額	7,507,607	7,588,164	9,154,723	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0				
		不用額	235,393	252,836	371,277	02 給料	0	17 備品購入費	1,053,932				
		執行率	97.0%	96.8%	96.1%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	840,000				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0					
県支出金	381,000	2,384,000	3,626,932	05 災害補償費	0	20 貸付金	0						
地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0						
その他	0	5,000	5,000	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0						
一般財源	7,126,607	5,199,164	5,522,791	08 旅費	75,980	23 投資及び出資金	0						
前年比較	—	—	73.0% A	106.2% D	09 交際費	0	24 積立金	0					
職員人件費	0	9,723,000	7,035,000	10 需用費	548,254	25 寄附金	0						
総事業コスト	7,507,607	17,311,164	16,189,723	11 役務費	645,660	26 公課費	0						
前年比較	—	—	230.6% D	93.5% B	12 委託料	5,594,130	27 繰出金	0					
主財源	機構集積支援事業交付金	2,264,000		13 使用料及び賃借料	396,767	予備費	0						
農地利用最適化交付金	309,000		14 工事請負費	0									
農業委員会による情報収集等業務効率化支援事業	1,053,932		15 原材料費	0	合計	9,154,723							
コスト分析	農業委員会業務に関する旅費、消耗品費、農業委員会だより印刷製本費、農業委員会用茶葉購入費、通信運搬費、耕作放棄地調査図印刷業務委託費、農地台帳補完調査業務委託費、各種システム運用管理費について執行した。予算増は、農業委員、農地利用最適化推進委員用タブレット端末34台を購入したことによる予算が増額となった。各種システムに係る経費が一般財源となっている。職員人件費は減となった。												
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度					
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
		成果1	農地法に基づく許可申請の適正な処理	件	170.0	0.0	0.0	132.0	180.0	174.0	180.0	122.0	
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		効率1	農地法に基づく許可申請に係る事務処理手続きの改善件数	件	0.0	0.0	0.0	132.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		事業実施内容	農業委員会業務に関する研修会への参加、消耗品等の購入、農業委員会だよりの発行、耕作放棄地調査図面印刷業務委託、農地台帳補完調査業務委託などの事業、農業委員、農地利用最適化推進委員用タブレット端末34台を購入した。										
		CHECK評価	事業成果	農地法の申請について許可等の事務を行った。「農業委員会だより」を作成し、市民や関係者へ配布した。耕作放棄地調査図面の活用により、市内全域の荒廃農地について調査を実施し、現状を把握した。また、次年度以降の事務局、農業委員、農地利用最適化推進委員の業務負担軽減を目的として、農業委員会タブレット端末34台の導入ができた。 ・負担金 全体研修会や視察研修を開催し、小笠地区農業委員会協議会の連携と農業委員の資質向上を図ることができた。 静岡県農業会議の農業委員、農地利用最適化推進委員、事務局職員を対象とした研修会や講習会に参加し、資質向上を図ることができた。 女性の農業委員活動のための現地視察や研修会に参加し、西部地区の交流を深め活動強化を図ることができた。									
				各種システム面で経費がかかっているため、市費以外の財源活用が必要である。									
				事業課題									
CHECK評価	評価分析・総合判定評価	各評価結果								総合判定評価			
		事業コスト評価				指標評価		事業内容評価		C 事業規模・内容・主体の見直し検討			
		一般財源	106.2%	D	成果	1	E	評価視点	効率性	4:高い	A	現状維持	
		総事業コスト	93.5%	B	効率	1	B	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	R6年度の方向性		
		人件費			必要性	4:高い		改善	縮小↓	成果	拡充↑		
		適正に各種事務を行うことが出来た。											
		課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性											
		財源充当が可能な県費交付金や国費等のメニューを精査し、市の事業に充当させる。農業委員等の業務量が増加しており、負担軽減を図り活動を活性化して行く必要がある。											
		CHECK評価	実行計画事業(円)	款 項 目	事業番号	事業名称							
				6 1 1	400000	農業委員会総務費							
予算額	前年増減額			前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,607,000	1,081,000			111.3%		0	3,196,000	0	5,000	7,406,000			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県農業会議や関東農政局で行われる研修会への参加 農業委員会視察研修に係る費用弁償等 農業委員会だよりの発行 農地台帳補完調査の実施 耕作放棄地調査図の作成 農地台帳システムや農地情報管理システムの運用管理 小笠地区農業委員会協議会 静岡県農業会議や静岡農業委員会女性の会の運営に対する負担金 												
計画額	前年増減額			前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
8,769,000	△ 1,838,000			82.7%		0	2,380,000	0	0	6,389,000			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県農業会議や関東農政局で行われる研修会への参加 農業委員会視察研修に係る費用弁償等 農業委員会だよりの発行 農地台帳補完調査の実施 耕作放棄地調査図の作成 農地台帳システムや農地情報管理システムの運用管理 小笠地区農業委員会協議会 静岡県農業会議や静岡農業委員会女性の会の運営に対する負担金 												
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明													

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業																																																																																																			
R4	事業名	農業振興地域管理事業																																																																																																							
総合計画	体系・概要	<p>基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち</p> <p>政策 1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり</p> <p>施策 4 農地の適正な管理と利用を促進します</p>																																																																																																							
	事業の目的	<p>農地の適正な管理と利用を促進するため、農業振興地域管理事業により、各種施策の計画の作成・実施や用途変更の審議等を行い、農地の保全や振興策を推進し、農地の適正な管理を図る。</p>																																																																																																							
	事業の概要	<p>おおむね10年を見通し、優良な農地の確保・保全及び農業振興の各種施策を計画的・集中的に実施するため計画書を作成する。また除外や農業用施設用地などの用途変更についての審議を行う。</p>																																																																																																							
	事業成果	<p>・農業振興地域整備計画の随時変更を完了した。 ・公告・縦覧により市民へ農振区分の変更を周知した。</p>																																																																																																							
事業課題	<p>令和4年度は1回農振協議会を行った。協議会の開催について、例年2回としているが、協議内容や協議方法について内容を検討する余地がある。 市内の荒廃農地が増加する一方で、担い手が減っているため、農地の保全管理することが困難となっている。 今後、除外相談件数の増加が予想されるため、農業委員会としての役割が重要となってくる。</p>																																																																																																								
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																			
		6	1	2	100000	農業振興地域管理費																																																																																																			
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																												
		90,000		77,000		△ 13,000	85.6%		0	0	0	0	77,000																																																																																												
		事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																		
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳																																																																																																			
		予算額	5,077,000	90,000	77,000	節	決算額	節	決算額																																																																																																
		決算額	4,945,000	39,000	33,000	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0																																																																																																
		不用額	132,000	51,000	44,000	02 給料	0	17 備品購入費	0																																																																																																
		執行率	97.4%	43.3%	42.9%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0																																																																																																
	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0																																																																																																	
	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0																																																																																																	
	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0																																																																																																	
	その他	0	0	0	07 報償費	33,000	22 償還金、利子及び割引料	0																																																																																																	
	一般財源	4,945,000	39,000	33,000	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0																																																																																																	
	前年比較	—	—	0.8%	A	84.6%	A	09 交際費	0	24 積立金	0	0																																																																																													
	職員人件費	0	1,980,000	1,935,000	10 需用費	0	25 寄附金	0																																																																																																	
	総事業コスト	4,945,000	2,019,000	1,968,000	11 役務費	0	26 公課費	0																																																																																																	
	前年比較	—	—	40.8%	A	97.5%	B	12 委託料	0	27 繰出金	0	0																																																																																													
	主財源																																																																																																								
	13 使用料及び賃借料	0	予備費		0																																																																																																				
	14 工事請負費	0																																																																																																							
	15 原材料費	0	合計	33,000																																																																																																					
	コスト分析	例年2回農振協議会の開催を予定しているが、R4年度は、農振協議会開催が1回の開催で終了し、総事業コストは前年度と比べ減となったが、今後、除外相談件数が増えることが予想されるため、例年と同じ開催数が予想される。																																																																																																							
CHECK評価	事業コスト分析	<p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <p>市内で荒廃農地が増加することにより、非農地化の判断が増える可能性があるため、対応する必要がある。</p>																																																																																																							
	実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																			
		6	1	2	100000	農業振興地域管理費																																																																																																			
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																															
		101,000	24,000	131.2%		0	0	0	0	101,000																																																																																															
		<ul style="list-style-type: none"> 農振除外の個別案件の随時変更 農振協議会の開催(年2回) 制度説明会などの研修、県とのヒアリング・相談など 					下期実施内容変更見込み																																																																																																		
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																															
		5,821,000	5,720,000	5763.4%		0	0	0	0	5,821,000																																																																																															
		<ul style="list-style-type: none"> 農振除外の個別案件の随時変更 農振協議会の開催(年2回) 制度説明会などの研修、県とのヒアリング・相談など 農振整備計画に関する基礎調査 					R5年度比較増減要因																																																																																																		
		<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p>																																																																																																							
CHECK評価	指標・実施内容	<p>・農業振興地域整備計画の随時変更実施 ・市民へ変更した農振区分の周知</p>																																																																																																							
	指標評価	<p>事業指標・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> </tr> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果1 農業振興地域管理事業</td> <td>%</td> <td>100.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>33.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>B</td> <td>33.0%</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率1 農振協議会開催時間の短縮</td> <td>%</td> <td>100.0</td> <td>89.0</td> <td>0.0</td> <td>100.0</td> <td>90.0</td> <td>90.0</td> <td>89.0</td> <td>89.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0.0%</td> <td>D</td> <td>100.0%</td> <td>B</td> <td>100.0%</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率人件費</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果1 農業振興地域管理事業	%	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	33.0			1	7			100.0%	B	33.0%	E	成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0	0						効率1 農振協議会開催時間の短縮	%	100.0	89.0	0.0	100.0	90.0	90.0	89.0	89.0			1	4	0.0%	D	100.0%	B	100.0%	B	効率人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0	0						
	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度																																																																																																		
			現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																																															
	成果1 農業振興地域管理事業	%	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	33.0																																																																																																
			1	7			100.0%	B	33.0%	E																																																																																															
	成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																
			0	0																																																																																																					
	効率1 農振協議会開催時間の短縮	%	100.0	89.0	0.0	100.0	90.0	90.0	89.0	89.0																																																																																															
			1	4	0.0%	D	100.0%	B	100.0%	B																																																																																															
効率人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																
		0	0																																																																																																						
実施内容	<p>・農業振興地域整備計画の随時変更実施 ・市民へ変更した農振区分の周知</p>																																																																																																								
	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p>																																																																																																								
	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p>																																																																																																								
	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p>																																																																																																								
	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p>																																																																																																								
	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p>																																																																																																								
	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p>																																																																																																								
	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p>																																																																																																								

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業								
R4	事業名	農業委員報酬事業												
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 政策 1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり 施策 4 農地の適正な管理と利用を促進します												
	事業の目的	農地の適正な管理と利用を促進するため、農業委員報酬事業により、農業委員会等に関する法律等に基づき活動している委員に対して条例に基づき報酬を支払い、農業委員会の円滑な運営を行うことで、農地の適正な管理を図る。		事業の概要										
	事業の概要	農地法に基づく審査や担い手との調整、耕作放棄地現地調査などの活動を行っている農業委員と農地利用最適化推進委員に対して月額報酬を支払う。												
	事業成果	毎月開催している定例農業委員会において農地法の審査や市内の農地のパトロールを実施している。												
事業課題	農業委員と農地利用最適化推進委員の事務量が拡大しているため、月額報酬費増額の検討をする必要がある。													
事業コスト分析	決算(円)	款 項 目		事業番号	事業名称									
		6	1	1	100000	農業委員報酬費								
		R3年度		R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		7,416,000		7,416,000	0	100.0%		0	1,728,000	0	0	5,688,000		
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度								
	CHECK評価	決算(円)	項目		R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
			予算額	7,416,000	7,416,000	7,416,000	節	決算額	節	決算額				
			決算額	7,416,000	7,416,000	7,416,000	01 報酬	7,416,000	16 公有財産購入費	0				
			不用額	0	0	0	02 給料	0	17 備品購入費	0				
			執行率	100.0%	100.0%	100.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0				
主財源		国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0					
		県支出金	0	0	1,728,000	05 災害補償費	0	20 貸付金	0					
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0					
		その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0					
		一般財源	7,416,000	7,416,000	5,688,000	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0					
コスト分析	前年比較	—	—	100.0%	C	76.7%	A	09 交際費	0	24 積立金	0			
	職員人件費	0	33,000	132,000	10 需用費	0	25 寄附金	0						
	総事業コスト	7,416,000	7,449,000	7,548,000	11 役務費	0	26 公課費	0						
	前年比較	—	—	100.4%	D	101.3%	D	12 委託料	0	27 繰出金	0			
	農地利用最適化交付金			1,728,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0						
予算、決算について例年同額だが、農地による相談が多く、農業委員や農地利用最適化推進委員との打合せ等、その対応で職員人件費は増額した。														
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度						
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
		成果1	農業委員会委員に対する「農地利用の最適化活動」の促進	件	20.0	34.0	0.0	408.0	34.0	34.0	34.0	34.0		
					1	7			100.0%	B	100.0%	B		
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	事業実施内容	効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
		農業委員会等に関する法律等に基づき活動を行い、農業委員と農地利用最適化推進委員に対して、条例に基づいた月額報酬を支払い、農業委員会の適正な管理・運営を行う。												
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明												
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明												
CHECK評価	予算(円)	款 項 目		事業番号	事業名称									
		6	1	1	100000	農業委員報酬費								
		R3年度		R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		7,416,000		7,416,000	0	100.0%		0	1,745,000	0	0	5,671,000		
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度								
	実施内容	R5年度	実施内容	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 年々、業務量が増加しているため、タブレットを利用し、作業効率を図り、各種委員の負担軽減につなげる。										
		R6年度	実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明										
		R5年度	実施内容	課 目 事業番号 事業名称 6 1 1 100000 農業委員報酬費 予算額 前年増減額 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 7,416,000 0 100.0% 0 1,745,000 0 0 5,671,000 ・農業委員への月額報酬の支払い ・農地利用最適化推進委員への月額報酬の支払い ・農業委員会の改選 下期実施内容変更見込み ・特になし										
		R6年度	実施内容	計画額 前年増減額 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 7,416,000 0 100.0% 0 0 0 0 7,416,000 ・農業委員への月額報酬の支払い ・農地利用最適化推進委員への月額報酬の支払い										
		R5年度	実施内容	計画額 前年増減額 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 7,416,000 0 100.0% 0 0 0 0 7,416,000 ・農業委員への月額報酬の支払い ・農地利用最適化推進委員への月額報酬の支払い										
R6年度	実施内容	計画額 前年増減額 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 7,416,000 0 100.0% 0 0 0 0 7,416,000 ・農業委員への月額報酬の支払い ・農地利用最適化推進委員への月額報酬の支払い												

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業				
R4	事業名	農業者年金事務事業								
総合計画	体系・概要	基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 政策 1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり 施策 4 農地の適正な管理と利用を促進します								
	事業の目的	農地の適正な管理と利用を促進するため、農業者年金事務事業により、年金事務の適切な処理及び加入推進を行い、農業者の老後生活の安定と地域農業の維持・継続を図る。								
	事業の概要	農業者年金の適切な事務処理及び加入推進業務を行う。								
	事業成果	農業者年金に係る提出された届出、全ての処理を行った。農業者年金PRグッズの封筒を作成し、通知の発送等による加入推進業務を行った。新規加入者は0人。裁定請求は7人。								
事業課題	事業課題	年金受給者の届出提出必要の有無の確認に時間費やし、更に、手続きとして遠州夢咲農協、市、農業者年金基金に送付するため、受給者に届出提出の案内が遅れてしまう。								
	各評価結果	事業コスト評価 一般財源 240.6% D 総事業コスト 54.5% A				指標評価 1 B 2 1 B 人件費	事業内容評価 評価視点 効率性 4:高い 有効性 4:高い 必要性 4:高い			
	総合判定評価	B 事業の進め方の改善の検討 R6年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方								
	担当評価	農業者年金基金から支払われる受託事業費により事業を行った。その結果、適正な年金業務を進めることができた。								
事業コスト分析	予算(円)	款 6	項 1	目 1	事業番号 200000	事業名称 農業者年金事務費				
	決算(円)	R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳 国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 682,000 一般財源 54,000				
	事業費割合(事業費/施策費)	R2年度	R3年度	R4年度						
	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳					
	予算額	808,000	786,000	736,000	節	決算額				
	決算額	804,521	784,173	734,063	01 報酬	535,815				
	不用額	3,479	1,827	1,937	02 給料	0				
	執行率	99.6%	99.8%	99.7%	03 職員手当等	0				
	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0				
	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0				
地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0					
その他	803,100	782,900	731,000	07 報償費	0					
一般財源	1,421	1,273	3,063	08 旅費	6,160					
前年比較	—	—	89.6% A	240.6% D	09 交際費	0				
職員人件費	0	1,440,000	477,000	10 需用費	172,096					
総事業コスト	804,521	2,224,173	1,211,063	11 役務費	19,992					
前年比較	—	—	276.5% D	54.5% A	12 委託料	0				
主財源	農業者年金業務受託事業収入			731,000	13 使用料及び賃借料	0				
コスト分析	農業者年金加入の推進を行うことで、手数料が増加される。令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、個別の説明会や訪問等が困難であり、職員人件費、手数料が減った。									
指標・実施内容	事業指標・評価	指標名		単位	現状値	目標値	R2年度	R3年度	R4年度	
	成果1	届出処理件数	%	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	効率1	事務手続きの改善件数	件	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	事業実施内容	農業者年金に係る届出処理を行った。農業者年金PRグッズの作成や通知の発送等による加入推進業務を行った。								
	実施内容	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 ・年金受給者の届出提出必要の有無の確認が簡素化にできるように農地台帳システムの変更をする。 ・新型コロナウイルス感染対策を実施し、個別の説明会や訪問等を増加させ、積極的に農業者年金加入推進を行っていく必要がある。								
	実施内容	裁定請求書や各種届出の受付処理 ・農業者年金被保険者への事前指導 ・被保険者、受給権者等の相談対応や指導 ・現況届の受付処理 ・戸別訪問や個別相談、資料の配布など加入推進業務 ・各種研修会への参加								
	実施内容	計画額 736,000 前年増減額 80,000 前年比 112.2% 財源内訳 国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 782,000 一般財源 △46,000								
	実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明								

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業											
R4	事業名	水利施設整備事業															
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち															
	政策	1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり															
	施策	5 農業生産基盤の整備と維持管理を行います															
	事業の目的	農業生産基盤の整備と維持管理をするため、水利施設整備事業により、農業用水路を整備し、農業用水の安定供給を実現することで生産基盤の確保を図る。		事業の概要 県営用水整備事業に対し負担金を支払い、安定した農業用水の確保を図る。													
事業成果	川西地区において、令和4年度分用水整備事業が完了し、農業用生産基盤整備の整理が図られた。																
事業課題	現在川西地区が事業採択され、県営用水整備事業を実施しているが、他地区においても実施を希望する地区がある。しかし複数地区を平行して整備するには財政負担が大きい。																
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称											
		6	2	4	500000	水利施設整備事業費											
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
		10,798,000		6,886,000		△ 3,912,000	63.8%		0	0	1,100,000	1,500,000	4,286,000				
		事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度										
		項目		R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳										
		予算額		22,770,000	10,798,000	6,886,000	節	決算額	節	決算額							
		決算額		22,770,000	10,057,300	6,880,837	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0							
		不用額		0	740,700	5,163	02 給料	0	17 備品購入費	0							
		執行率		100.0%	93.1%	99.9%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	6,880,837							
	財源内訳	国庫支出金		0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0							
		県支出金		0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0							
		地方債		10,200,000	3,200,000	2,700,000	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0							
		その他		6,831,000	2,638,400	617,350	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0							
		一般財源		5,739,000	4,218,900	3,563,487	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0							
		前年比較		—	—	73.5%	A	84.5%	A	09 交際費	0	24 積立金	0				
		職員人件費		0	837,000	771,000	10 需用費	0	25 寄附金	0							
		総事業コスト		22,770,000	10,894,300	7,651,837	11 役務費	0	26 公課費	0							
		前年比較		—	—	47.8%	A	70.2%	A	12 委託料	0	27 繰出金	0				
	主財源	川西地区用水整備事業分担金			617,350	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0								
		農山漁村地域整備事業債			2,700,000	14 工事請負費	0										
		原材料費			0	合計	6,880,837										
	コスト分析	県営用水整備事業の減額に伴い、予算額は減少している。財源には事業債を充当している。															
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価															
		指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値					
					年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価					
		成果1	県への負担金支払い件数	件	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0					
					1	7					100.0%	B					
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
					0	0											
		効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
					0	0											
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
			0	0													
	事業実施内容	川西地区及び河東地区用水整備事業の負担金を支払った。															
CHECK評価	CHECK評価	各評価結果															
		事業コスト評価								指標評価		事業内容評価	総合判定評価				
		一般財源		A	成果	1	B	評価視点		評価内容		A	計画どおりに事業を進めることが適当				
		84.5%	A			2		効率性	4:高い	A	現状維持						
		総事業コスト				1		有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」							
		70.2%		A	効率		人件費		必要性	4:高い	R6年度の方向性		コスト	維持→	成果	維持→	
											R6年度の方向性		改善	①事業の進め方			
			担当評価	負担金により、県営用水整備事業の支援することができた。													
		CHECK評価	CHECK評価	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性													
				川西地区の整備完了時期を見込み、完了後スムーズに他地区の整備に移れるよう、県、地元と調整を図る。													
加える変化																	
R5年度 実施内容																	
款	項			目	事業番号	事業名称											
6	2			4	500000	水利施設整備事業費											
予算額				前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
6,178,000				△ 708,000		89.7%			0	0	1,700,000	950,000	3,528,000				
川西地区用水整備事業負担金					下期実施内容変更見込み												
平田用水地区長寿命化事業負担金																	
川西地区用地集積促進事業負担金																	
計画額		前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
17,742,000		11,564,000		287.2%			0	0	6,700,000	5,000,000	6,042,000						
川西地区用水整備事業負担金					R5年度比較増減要因												
平田用水地区長寿命化事業負担金																	
川西地区用地集積促進事業負担金																	
R6年度 実施内容																	
R7年度増減見込み																	
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明																	
農業用水路を整備し、農用地の有効利用を促進するためには、県営用水整備事業に対し負担金の支払いが必要である。																	

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業								
R4	事業名	有害鳥獣対策総務事業												
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち												
	政策	4 豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり												
	施策	1 地球温暖化対策・自然環境の保全を推進します												
	事業の目的	地球温暖化対策・自然環境の保全を推進するため、有害鳥獣対策総務事業により、鳥獣の住処となる森林原野の適切な管理を含め対策を実施することで、有害鳥獣による農作物被害削減に繋げ、市民生活への被害抑止と自然環境保全の推進を図る。		より効果的に被害を軽減させるため、有害鳥獣の捕獲と被害防除支援を併せて実施する。										
事業の概要														
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称								
		6	3	1	200000	有害鳥獣対策総務費								
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		4,849,000		4,900,000		51,000	101.1%		0	1,240,000	0	0	3,660,000	
		事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度							
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳								
		予算額	5,287,000	4,849,000	4,900,000	節	決算額	節	決算額					
		決算額	4,452,574	3,678,800	4,594,096	01	報酬	30,000	16	公有財産購入費	0			
		不用額	834,426	1,170,200	305,904	02	給料	0	17	備品購入費	0			
		執行率	84.2%	75.9%	93.8%	03	職員手当等	0	18	負担金、補助及び交付金	1,772,096			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	04	共済費	0	19	扶助費	0			
		県支出金	1,157,807	853,980	1,165,006	05	災害補償費	0	20	貸付金	0			
		地方債	0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0			
		その他	0	0	0	07	報償費	0	22	償還金、料子及び割引料	0			
		一般財源	3,294,767	2,824,820	3,429,090	08	旅費	0	23	投資及び出資金	0			
		前年比較	—	—	85.7%	A	121.4%	D	09	交際費	0	24	積立金	0
		職員人件費	0	1,676,000	999,000	10	需用費	0	25	寄附金	0			
		総事業コスト	4,452,574	5,354,800	5,593,096	11	役務費	0	26	公課費	0			
		前年比較	—	—	120.3%	D	104.5%	D	12	委託料	2,792,000	27	繰出金	0
	主財源	鳥獣被害防止総合対策交付金			1,165,006	13	使用料及び賃借料	0	予備費	0				
						14	工事請負費	0						
						15	原材料費	0	合計	4,594,096				
	コスト分析	*R3.4.1に鳥獣被害対策実施隊が発足したことにより、鳥獣被害防止総合対策交付金の鳥獣被害防止総合支援事業について、従来は補助率50%であったところ、鳥獣被害対策実施隊活動分は定額補助を受けられるようになり、市一般財源のコストを減少させることができた。 *R4年度は有害鳥獣(サル)の出没に伴う緊急出動がなかったため、人件費が減少した。												
CHECK評価	指標・実施内容	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度						
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
		成果1	イノシシ捕獲頭数	頭	142.0	140.0	0.0	125.0	120.0	95.0	140.0	166.0		
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		効率1	有害鳥獣被害防止対策協議会の会議時間を前年度より削減	時間	2.0	1.7	0.0	0.0	1.8	1.5	1.8	1.5		
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	事業実施内容	野生鳥獣による農作物への被害防止のため、 ・猟友会(菊川支部)への有害鳥獣捕獲業務の委託 ・有害鳥獣侵入防止柵及び狩猟免許(わな猟)取得等に係る有害鳥獣駆除補助金の交付 ・有害鳥獣被害防止対策協議会への有害鳥獣被害防止対策協議会補助金の交付等の取り組みを実施した。												
	CHECK評価	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 ・有害鳥獣駆除補助金については、今後も積極的な周知を行い、侵入防止柵設置農地の拡大を推進する。 ・鳥獣被害対策実施隊活動として市民向けの有害鳥獣被害対策研修会を開催し、市民間に被害防除についての知識を啓発していく。												
		款	項	目	事業番号	事業名称								
		6	3	1	200000	有害鳥獣対策総務費								
予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
5,055,000		155,000	103.2%		0	1,240,000	0	0	3,815,000					
R5年度	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・猟友会への有害鳥獣捕獲業務の委託 ・市民への被害対策研修会や有害捕獲用箱わなの購入を行う有害鳥獣対策協議会への補助 ・わな免許取得に要する経費の補助 ・電気柵の設置に要する資材費の補助 ・鳥獣被害対策に係る研修・会議への参加 ・鳥獣被害対策実施隊員への報酬 										R5年度比較増減要因		
CHECK評価	実施内容	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
		4,915,000	△ 140,000	97.2%		0	1,240,000	0	0	3,675,000				
		R6年度	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・猟友会への有害鳥獣捕獲業務の委託 ・市民への被害対策研修会や有害捕獲用箱わなの購入を行う有害鳥獣対策協議会への補助 ・わな免許取得に要する経費の補助 ・電気柵の設置に要する資材費の補助 ・鳥獣被害対策に係る研修・会議への参加 ・鳥獣被害対策実施隊員への報酬 										R7年度増減見込み
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明												
		有害鳥獣による農作物被害の減少と市民生活への被害防止の達成には猟友会への委託等による有害鳥獣の捕獲と市民への被害対策研修会や電気柵の設置に要する資材費の補助等による被害防除支援を併せて行う必要がある。												

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業																																																									
R4	事業名	林業振興総務事業																																																													
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																																																													
	政策	4 豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり																																																													
	施策	1 地球温暖化対策・自然環境の保全を推進します																																																													
	事業の目的	地球温暖化対策・自然環境の保全を推進するため、林業振興総務事業により、森林関係団体への支援等を行い森林の保全を推進することで、林業振興や災害防止による自然環境保全を図る。		事業の概要 森林情報システムの管理や森林関係団体への支援等を行う。																																																											
事業コスト分析	事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・上位計画である天竜地域森林計画の修正に合わせ、菊川市森林整備計画を変更した ・森林情報システムについて年次更新等の適切な処理を実施した ・県森の力再生事業により市内で約8haの森林が整備された 					事業課題	近年頻発している風水害発生動向を注視しつつ、引き続き菊川市森林整備計画に基づき森林の適正な管理を行う必要がある。																																																							
	事業内容	<table border="1"> <tr> <th colspan="6">各評価結果</th> <th colspan="2">総合判定評価</th> </tr> <tr> <th colspan="2">事業コスト評価</th> <th colspan="2">指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> <th colspan="2">A 計画どおりに事業を進めることが適当</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>94.8%</td> <td>1</td> <td>E</td> <td>評価視点</td> <td>評価内容</td> <td colspan="2">R6年度の方向性</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>34.5%</td> <td>1</td> <td>E</td> <td>効率</td> <td>有効性</td> <td>コスト</td> <td>維持→</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>4:高い</td> <td>A</td> <td>成果</td> <td>拡充↑</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>E</td> <td>4:高い</td> <td>計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」</td> <td>改善</td> <td>①事業の進め方</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人件費</td> <td></td> <td>4:高い</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						各評価結果						総合判定評価		事業コスト評価		指標評価		事業内容評価		A 計画どおりに事業を進めることが適当		一般財源	94.8%	1	E	評価視点	評価内容	R6年度の方向性		総事業コスト	34.5%	1	E	効率	有効性	コスト	維持→			2		4:高い	A	成果	拡充↑			1	E	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」	改善	①事業の進め方			人件費		4:高い			
	各評価結果						総合判定評価																																																								
	事業コスト評価		指標評価		事業内容評価		A 計画どおりに事業を進めることが適当																																																								
	一般財源	94.8%	1	E	評価視点	評価内容	R6年度の方向性																																																								
	総事業コスト	34.5%	1	E	効率	有効性	コスト	維持→																																																							
			2		4:高い	A	成果	拡充↑																																																							
			1	E	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」	改善	①事業の進め方																																																							
			人件費		4:高い																																																										
	担当評価	菊川市森林整備計画に基づく森林の適正な管理を推進できている。																																																													
加える変化	<p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <p>大規模風水害の頻発等の社会情勢に伴い、上位計画である全国森林計画、天竜地域森林計画の内容が大幅に修正される可能性がある。動向に注意しつつ、菊川市森林整備計画の適切な管理・運用を行う。</p>																																																														
CHECK評価	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称																																																									
		6	3	1	100000	林業振興総務費																																																									
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
		391,000	371,000	△ 20,000	94.9%		0	0	0	0	371,000																																																				
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度																																																									
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳																																																									
		予算額	390,000	391,000	371,000	節	決算額	節	決算額																																																						
		決算額	389,382	382,978	363,080	01	報酬	0	16	公有財産購入費	0																																																				
		不用額	618	8,022	7,920	02	給料	0	17	備品購入費	0																																																				
		執行率	99.8%	97.9%	97.9%	03	職員手当等	0	18	負担金、補助及び交付金	63,000																																																				
	国庫支出金	0	0	0	04	共済費	0	19	扶助費	0																																																					
	県支出金	0	0	0	05	災害補償費	0	20	貸付金	0																																																					
	地方債	0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0																																																					
	その他	0	0	0	07	報償費	0	22	償還金、料子及び割引料	0																																																					
	一般財源	389,382	382,978	363,080	08	旅費	3,080	23	投資及び出資金	0																																																					
	前年比較	—	—	98.4%	B	94.8%	B	09	交際費	0																																																					
	職員人件費	0	741,000	25,000	10	需用費	0	25	寄附金	0																																																					
	総事業コスト	389,382	1,123,978	388,080	11	役務費	0	26	公課費	0																																																					
	前年比較	—	—	288.7%	D	34.5%	A	12	委託料	297,000																																																					
	主財源				13	使用料及び賃借料	0		予備費	0																																																					
					14	工事請負費	0																																																								
					15	原材料費	0	合計		363,080																																																					
	コスト分析	<ul style="list-style-type: none"> ・天竜流域林業活性化センター負担金について、コロナウイルス感染拡大の影響による活動縮小に伴い、付加会費が減額された。 ・人件費が減少している。 																																																													
CHECK評価	実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称																																																									
		6	3	1	100000	林業振興総務費																																																									
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																					
		387,000	16,000	104.3%		0	0	0	0	387,000																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・森林施策に係る研修、会議等への旅費 ・森林情報システムの管理 ・森林関係団体への負担金の交付 						下期実施内容変更見込み																																																							
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																					
		391,000	4,000	101.0%		0	0	0	0	391,000																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・森林施策に係る研修、会議等への旅費 ・森林情報システムの管理 ・森林関係団体への負担金の交付 						R5年度比較増減要因																																																							
		<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>森林の保全を推進し、林業振興や災害防止を図るためには森林情報システムの適切な管理や森林施策に係る最新の情報を研修等で習得し、菊川市森林整備計画に基づく森林の適正な管理を推進する必要がある。</p>																																																													
	指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度																																																						
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																				
		成果1	森林簿データの更新回数	回	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0																																																				
					1	7			100.0%	B	0.0%																																																				
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																				
					0	0																																																									
		効率1	事務手続きの改善件数	件	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0																																																				
					1	7			0.0%	E	0.0%																																																				
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																				
					0	0																																																									

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業																																					
R4	事業名	森林整備事業																																									
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																																									
	政策	4 豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり																																									
	施策	1 地球温暖化対策・自然環境の保全を推進します																																									
	事業の目的	地球温暖化対策・自然環境の保全を推進するため、森林整備事業により、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の推進により、温室効果ガスの排出量削減や災害防止に繋げ、地球温暖化対策・自然環境の保全を図る。		事業の概要 間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に係る事業を実施する。																																							
事業コスト分析	事業成果	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年に実施した事前調査の回答に基づき、モデル地区の森林約9.6haで森林の境界・流木の現況等を確認するための現地調査を実施した。 重要インフラ施設周辺の民有林・市有林について約1haの森林整備を実施した。 																																									
	事業課題	近年頻発している大規模な土砂災害や洪水などの災害防止の観点から、森林の整備の必要性が高まっている。令和元年度に作成した全体計画等に基づき、森林環境譲与税を活用した森林整備を推進していく必要がある。																																									
	各評価結果	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト評価</th> <th>指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>成果</td> <td>1</td> <td>B</td> <td>評価視点</td> <td>評価内容</td> </tr> <tr> <td>129.9%</td> <td>D</td> <td>2</td> <td></td> <td>効率性</td> <td>4:高い</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>効率</td> <td>1</td> <td>D</td> <td>有効性</td> <td>4:高い</td> </tr> <tr> <td>124.2%</td> <td>D</td> <td>人件費</td> <td></td> <td>必要性</td> <td>4:高い</td> </tr> </table>				事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		一般財源	成果	1	B	評価視点	評価内容	129.9%	D	2		効率性	4:高い	総事業コスト	効率	1	D	有効性	4:高い	124.2%	D	人件費		必要性	4:高い	総合判定評価 B 事業の進め方の改善の検討									
	事業コスト評価	指標評価	事業内容評価																																								
	一般財源	成果	1	B	評価視点	評価内容																																					
	129.9%	D	2		効率性	4:高い																																					
	総事業コスト	効率	1	D	有効性	4:高い																																					
	124.2%	D	人件費		必要性	4:高い																																					
	事業の進め方の改善の検討	R6年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ ①事業の進め方																																									
	担当評価	令和元年度に作成した全体計画等に基づき、森林環境譲与税を活用した森林整備を推進できている。																																									
加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 令和元年度に作成した全体計画等に基づき、整備優先順位の高い区域の森林の整備を推進するとともに、風水害の頻発等の社会情勢の変化に合わせ、定期的に優先順位の判定手法を見直すこととする。																																										
実行計画事業	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> <tr> <td>6</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>100000</td> <td>森林整備費</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>8,304,000</td> <td>3,000</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8,304,000</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> 市内森林整備手法の検討 市内森林整備促進のための事前調査及び意向調査の実施 市内森林整備促進のための森林現況調査及び現地調査の実施 市有林の整備 民有林(モデル林)の整備 森林経営管理法に係る研修・会議等への旅費 </td> </tr> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称	6	3	3	100000	森林整備費	<table border="1"> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>8,304,000</td> <td>3,000</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8,304,000</td> </tr> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	8,304,000	3,000	100.0%		0	0	0	0	8,304,000	<ul style="list-style-type: none"> 市内森林整備手法の検討 市内森林整備促進のための事前調査及び意向調査の実施 市内森林整備促進のための森林現況調査及び現地調査の実施 市有林の整備 民有林(モデル林)の整備 森林経営管理法に係る研修・会議等への旅費 				
款	項	目	事業番号	事業名称																																							
6	3	3	100000	森林整備費																																							
<table border="1"> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>8,304,000</td> <td>3,000</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8,304,000</td> </tr> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	8,304,000	3,000	100.0%		0	0	0	0	8,304,000																					
予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																			
8,304,000	3,000	100.0%		0	0	0	0	8,304,000																																			
<ul style="list-style-type: none"> 市内森林整備手法の検討 市内森林整備促進のための事前調査及び意向調査の実施 市内森林整備促進のための森林現況調査及び現地調査の実施 市有林の整備 民有林(モデル林)の整備 森林経営管理法に係る研修・会議等への旅費 																																											
実施内容	<table border="1"> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>10,204,000</td> <td>1,900,000</td> <td>122.9%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10,204,000</td> </tr> </table>					計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	10,204,000	1,900,000	122.9%		0	0	0	0	10,204,000																				
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																			
10,204,000	1,900,000	122.9%		0	0	0	0	10,204,000																																			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内森林整備手法の検討 市内森林整備促進のための事前調査及び意向調査の実施 市内森林整備促進のための森林現況調査及び現地調査の実施 市有林の整備 民有林(モデル林)の整備 森林経営管理法に係る研修・会議等への旅費 																																										
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内森林整備手法の検討 市内森林整備促進のための事前調査及び意向調査の実施 市内森林整備促進のための森林現況調査及び現地調査の実施 市有林の整備 民有林(モデル林)の整備 森林経営管理法に係る研修・会議等への旅費 																																										
事業実施内容	温室効果ガスの排出量削減や災害防止を図るため、令和2年に実施した事前調査の回答に基づく現地調査・森林環境譲与税を活用した重要インフラ施設周辺の民有林・市有林整備を実施した。																																										
事業実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 温室効果ガスの排出量削減や災害防止を図るためには、市内森林の適切な整備や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備の促進活動を推進していく必要がある。																																										
指標・実施内容	事業指標・評価		R2年度	R3年度	R4年度																																						
指標評価	指標名	単位	現状値 年度	目標値 年度	目標値 達成率	実績値 評価	目標値 達成率	実績値 評価	目標値 達成率	実績値 評価																																	
成果1	森林整備面積	ha	150.0	215.0	0.0	0.0	171.0	165.6	182.0	173.9																																	
成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																	
効率1	事務手続きの改善件数	件	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0																																	
効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																	

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	農林課	担当係	重点事業
R4	事業名	農村公園管理事業				
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち				
	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり				
	施策	3 公園などの整備を進めます				
	事業の目的	公園などの整備を進めるため、農村公園管理事業により、公園遊具の保守点検等を行うことで、遊具等での事故防止など、農村公園内施設の適正な維持管理に努め、農村地域のコミュニティの場としての活用を図る。		公園内施設の適正な維持管理を実施する。		
事業の概要						
事業成果	下倉沢、東富田、加茂、稲荷部及び井之宮公園において維持管理業務、修繕業務を実施し、農村公園設備の健全な機能を維持することができた。					
事業課題	建設から期間が経過し、経年劣化等が進んでいることから、維持修繕費の増加が見込まれる。					
事業コスト分析	各評価結果					
	事業コスト評価				指標評価	
	一般財源		成果		1 B	
	143.5% D		D		2	
	総事業コスト		効率		1	
	149.1% D		D		人件費	
					有効性 4:高い	
					必要性 4:高い	
					評価視点	
					評価内容	
B 事業の進め方の改善の検討				R6年度の方向性		
コスト 縮小↓ 成果 維持→				①事業の進め方		
担当評価						
業務を完了し、不具合箇所の使用を中止して事故等発生の防止を図った。						
CHECK評価	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性					
	遊具等の設備は計画的に維持修繕を行う必要がある。					
	加える変化					
	AC T I O N 改善					
	課 項 目 事業番号 事業名称					
	6 2 3 300000 農村公園管理費					
	R3年度 R4年度 前年増減 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源					
	1,347,000 1,935,000 588,000 143.7% 0 0 0 0 1,935,000					
	事業費割合(事業費/施策費) R2年度 R3年度 R4年度					
	項目 R2年度 R3年度 R4年度 事業費内訳					
予算額 1,529,000 1,347,000 1,935,000 節 決算額 節 決算額						
決算額 1,118,564 1,162,130 1,667,949 01 報酬 0 16 公有財産購入費 0						
不用額 410,436 184,870 267,051 02 給料 0 17 備品購入費 0						
執行率 73.2% 86.3% 86.2% 03 職員手当等 0 18 負担金、補助及び交付金 0						
国庫支出金 0 0 0 04 共済費 0 19 扶助費 0						
県支出金 0 0 0 05 災害補償費 0 20 貸付金 0						
地方債 0 0 0 06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 0						
その他 0 0 0 07 報償費 0 22 償還金、料子及び割引料 0						
一般財源 1,118,564 1,162,130 1,667,949 08 旅費 0 23 投資及び出資金 0						
前年比較 — — 103.9% D 143.5% D 09 交際費 0 24 積立金 0						
職員人件費 0 449,000 734,000 10 需用費 853,699 25 寄附金 0						
総事業コスト 1,118,564 1,611,130 2,401,949 11 役務費 23,200 26 公課費 0						
前年比較 — — 144.0% D 149.1% D 12 委託料 783,350 27 繰出金 0						
主財源 13 使用料及び賃借料 0 予備費 0						
14 工事請負費 0						
15 原材料費 7,700 合計 1,667,949						
コスト分析						
公園施設修繕料増額に伴い予算額・人件費が増額している。遊具等の不具合により発生する事故の未然防止を図るため、安全点検結果を受けて随時対応するため必要な費用は変動する。						
CHECK評価	事業指標・評価					
	指標名		単位	現状値	目標値	目標値
	R2年度 R3年度 R4年度		年度	年度	達成率	評価
	成果1	公園遊具保守点検の実施	件	1.0	1.0	0.0
				1	7	0.0
	成果2			0.0	0.0	0.0
				0	0	0.0
	効率1			0.0	0.0	0.0
				0	0	0.0
	効率人件費			0.0	0.0	0.0
			0	0	0.0	
市内5箇所の農村公園施設の維持管理及び修繕を実施した。						
事業実施内容						
R5年度 実施内容						
課 項 目 事業番号 事業名称						
6 2 3 300000 農村公園管理費						
予算額 前年増減額 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源						
1,994,000 59,000 103.0% 0 0 0 0 1,994,000						
・農村公園施設修繕 下期実施内容変更見込み						
・浄化槽保守点検業務委託						
・農村公園管理業務委託						
・公園遊具保守点検業務委託						
R6年度 実施内容						
計画額 前年増減額 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源						
1,525,000 △ 469,000 76.5% 0 0 0 0 1,525,000						
・農村公園施設修繕 R5年度比較増減要因						
・浄化槽保守点検業務委託						
・農村公園管理業務委託						
・公園遊具保守点検業務委託 R7年度増減見込み						
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明						
遊具ほかの整備不良に起因する事故を防ぐため、適切な点検、修繕及び管理が必要である。						

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	茶業振興課	担当係	重点事業					
R4	事業名	茶園管理推進事業									
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち									
	政策	2 活力と魅力のある茶のまちづくり									
	施策	1 活力ある茶業の振興を推進します									
	事業の目的	活力ある茶業の振興を推進するため、茶園管理推進事業により、茶園整備及び農地利用集積、GAP制度等の活用を推進することで、生産性と信頼性の高い茶業生産体制の克立を図る。		事業の概要 茶園整備事業、品評会出品、残留農薬分析等に対する支援を行う。							
CHECK評価	事業成果	茶品評会出品奨励金支出により、菊川茶の評価と生産者の意向向上が図られた。また、茶園集積事業により、3事業者の生産性の向上における経営の安定と担い手への集積による耕作放棄地の未然防止が図られた。									
	事業課題	集積事業実施について、中間管理設定が行えない箇所があるなど、事前に調査しておく必要がある。									
	各評価結果	事業コスト評価				総合判定評価					
	評価分析・総合判定評価	指標評価		事業内容評価		A 計画どおりに事業を進めることが 適当					
		一般財源	成果	1	E		評価視点	評価内容			
	決算前年比	89.7%	A	2		効率性	4:高い	A	現状維持		
	担当評価	総事業コスト	91.1%	B	1	S	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」		
		人件費					必要性	4:高い	R6年度の方向性 コスト 維持→ 成果 拡充↑ 改善 ①事業の進め方		
	茶園集積事業を実施したことにより、耕作放棄地の発生の防止が行えた。										
	CHECK評価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 各組織や茶園の流動化の動きが急遽持ち上がる場合があるので、事前の情報収集に努める。								
実行計画事業(円)		款	項	目	事業番号	事業名称					
		6	1	3	1900000	茶園管理推進事業費					
		予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		6,005,000		950,000	118.8%		0	1,575,000	0	479,000	3,951,000
		R5年度	実施内容		茶園集積推進事業費補助 ・茶品評会出品に対する奨励 ・茶園整備補助 ・残留農薬分析実施に対する補助 ・環境保全茶栽培事業への補助				下期実施内容変更見込み		
			R6年度		実施内容		茶園集積推進事業費補助 ・茶品評会出品に対する奨励 ・茶園整備補助 ・残留農薬分析実施に対する補助 ・環境保全茶栽培事業への補助				R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み
		計画額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		6,297,000		292,000	104.9%		0	1,500,000	0	0	4,797,000
		CHECK評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		
	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
成果1	農地中間管理事業により借受けた茶園面積		7.7	20.0	0.0	1.4	0.0	4.8	20.0	5.0	
成果2			1	7					25.0%	E	
効率1	茶園管理推進事業の特定財源率		9.1	20.0	0.0	100.0	20.0	100.0	20.0	100.0	
効率人件費			1	7			500.0%	S	500.0%	S	
				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
				0	0						
農地中間管理事業を活用し、茶樹改良により耕作放棄地の発生の防止と集積事業を実施した。 ・茶品評会出品奨励金 全国、関東ブロック、県の品評会を対象に10団体に支出 ・茶園集積推進事業費補助金 ①六郷地区 榊美緑園 1.87ha ②内田地区榊堀川園 1.23ha ③小笠南・東地区 したんだ園 1.90ha 集積計5.0ha ・茶園再編整備事業補助金 抜根(2箇所)0.19ha、0.05ha及び作業道整備25mを実施 ・安心安全の菊川茶生産推進事業補助金 荒茶分析:番茶検査数28件、生葉検査:JGAP検査数23件 ・環境保全茶栽培事業補助金 土壌分析調査、防除層会議、農薬残留分析を実施 ・農地転換費用軽減支援事業費補助金 オリーブへの転換0.2haと芽キャベツへの転換0.3haを実施											
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 農地中間管理事業を活用しての集積事業を行うことで、耕作放棄地の発生を防止することができるため、実施は妥当である。											

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	茶業振興課	担当係	重点事業				
R4	事業名	茶生産経営体育成推進事業								
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								
	政策	2 活力と魅力のある茶のまちづくり								
	施策	1 活力ある茶業の振興を推進します								
	事業の目的	活力ある茶業の振興を推進するため、茶生産経営体育成推進事業により、経営体の生産計画や経営計画作成支援等を行い、将来にわたる安定的な営農が可能な茶生産経営体を育成し、地域茶業の維持・活性化を図る。		茶生産経営体の育成等を目的に組織され、事業を行う団体を支援する。						
事業の概要										
事業成果	<p>連絡協議会への補助により、広く茶業振興を掲げる事業が円滑に実施され、振興が図られた。また、育成推進事業への補助により、生産計画や収支計画等の作成において、新たな制度を説明することにより、茶関係者に対する経営支援が図られ、インストラクター資格受験費を補助したことで、資格認定者の増加に繋がり、後継者の育成支援が図られた。</p> <p>委員会負担金については、市内外の子供から大人まで菊川茶の知識普及やPRがされ、菊川茶の認知度向上が図られた。</p>									
事業課題	市の基幹作物である茶の生産を持続的なものとするため、若手生産者の経営力の向上と地域リーダーの育成に取り組む必要がある。									
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称				
		6	1	3	1700000	茶生産経営体育成推進事業費				
事業コスト分析	決算(円)	R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳				
		1,350,000	1,450,000	100,000	107.4%	国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 1,450,000				
事業コスト分析	事業費内訳	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳				
		予算額	1,450,000	1,350,000	1,450,000	01 報酬 0 16 公有財産購入費 0				
事業コスト分析	主財源	決算額	1,450,000	1,350,000	1,450,000	02 給料 0 17 備品購入費 0				
		不用額	0	0	0	03 職員手当等 0 18 負担金、補助及び交付金 1,450,000				
事業コスト分析	主財源	執行率	100.0%	100.0%	100.0%	04 共済費 0 19 扶助費 0				
		国庫支出金	0	0	0	05 災害補償費 0 20 貸付金 0				
事業コスト分析	主財源	県支出金	0	0	0	06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 0				
		地方債	0	0	0	07 報償費 0 22 償還金、利子及び割引料 0				
事業コスト分析	主財源	その他	0	0	0	08 旅費 0 23 投資及び出資金 0				
		一般財源	1,450,000	1,350,000	1,450,000	09 交際費 0 24 積立金 0				
事業コスト分析	主財源	前年比較	—	—	93.1% B	10 需用費 0 25 寄附金 0				
		職員人件費	0	1,041,000	998,000	0 26 公課費 0				
事業コスト分析	主財源	総事業コスト	1,450,000	2,391,000	2,448,000	11 役務費 0 27 繰出金 0				
		前年比較	—	—	164.9% D	12 委託料 0 27 繰出金 0				
事業コスト分析	主財源	13 使用料及び賃借料				0 予備費 0				
		14 工事請負費				0				
事業コスト分析	主財源	15 原材料費				0 合計 1,450,000				
		コスト分析	経営体組織育成強化に向け、今後も補助金、負担金において財源確保が必要である。							
指標・実施内容	事業指標・評価	指標名	単位	現状値	目標値	R2年度	R3年度	R4年度		
		成果1	茶工場経営改善計画作成工場数	13.0	23.0	0.0	1.0	0.0		
指標・実施内容	事業実施内容	成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		効率1		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
指標・実施内容	事業実施内容	効率2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		人件費		0.0	0.0	0.0	1,041.0	0.0		
指標・実施内容	事業実施内容	<p>茶生産組織体制や人材育成を推進する茶生産経営体育成事業への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠州夢咲茶業振興連絡協議会事業費補助金 ・荒茶品評会、防除研修会等の開催に対し、補助金を支出 ・茶生産経営体育成推進事業費補助金 ・インボイス制度説明会及び税理士個別相談会の実施及びアンケート、資格認定試験等への補助金を支出 ・茶業委員会負担金 ・市内内外のイベント等に出席し、呈茶、茶販売、ワークショップを行なう「菊川茶業委員会」、「小笠茶業委員会」への負担金を支出 								
		<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>茶価格低迷や生産費高騰による経営圧迫や担い手不足から将来に渡る安定的な茶生産の維持危惧されるなか、生産組織体制や人材育成を推進していく本事業の実施は妥当である。</p>								
CHECK評価	各評価結果	事業コスト評価	指標評価	事業内容評価	総合判定評価					
	<p>決算前年比</p> <p>107.4% D</p> <p>総事業コスト</p> <p>102.4% D</p>	<p>成果</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>効率</p> <p>1</p> <p>人件費</p>	<p>評価視点</p> <p>4:高い</p> <p>4:高い</p> <p>4:高い</p>	<p>評価内容</p> <p>A 現状維持</p> <p>計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」</p>	<p>C 事業規模・内容・主体の見直し検討</p> <p>R6年度の方向性</p> <p>コスト 縮小↓ 成果 拡充↑</p> <p>改善 ①事業の進め方</p>					
CHECK評価	担当評価	<p>今後も経営体強化に向けモデル地区との話し合いを行い、各組織の経営体強化に向け状況確認や支援が必要である。</p>								
	加える変化	<p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <p>各組織や茶園の流動化に対応するため、国や県からの情報を収集するよう努めるとともに、生産者から課題や展望を聞き取り、今後の施策に取り入れていく。</p>								
CHECK評価	実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称				
		6	1	3	1700000	茶生産経営体育成推進事業費				
CHECK評価	実施内容	予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		1,450,000	0	100.0%		0	0	0	0	1,450,000
CHECK評価	実施内容	<p>・茶業委員会への支援</p> <p>・遠州夢咲茶業振興連絡協議会への補助</p> <p>・茶生産経営体育成事業への支援</p>					下期実施内容変更見込み			
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
CHECK評価	実施内容	1,450,000	0	100.0%		0	0	0	0	1,450,000
		<p>・茶業委員会への支援</p> <p>・遠州夢咲茶業振興連絡協議会への補助</p> <p>・茶生産経営体育成事業への支援</p>					R5年度比較増減要因			
CHECK評価	実施内容	<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>茶価格低迷や生産費高騰による経営圧迫や担い手不足から将来に渡る安定的な茶生産の維持危惧されるなか、生産組織体制や人材育成を推進していく本事業の実施は妥当である。</p>								
		<p>R7年度増減見込み</p>								

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	茶業振興課	担当係	重点事業											
R4	事業名	農業振興総務事業(茶業振興課)															
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち															
	政策	2 活力と魅力のある茶のまちづくり															
	施策	1 活力ある茶業の振興を推進します															
	事業の目的	活力ある茶業の振興を推進するため、農業振興総務事業(茶業振興課)により、計画審議や各種事業の進捗管理を行い、事業を円滑進めることで市の茶業振興の推進を図る。		菊川市茶業振興計画の進捗を図るため、茶業審議会・茶業振興計画検討委員会・農地転換費用軽減支援事業検討委員会を開催する。 また、茶文化の継承、海外への普及事業を推進する世界緑茶協会を支援する。													
事業成果	茶業審議会等を開催し、計画審議や各種事業の進捗管理を行なうことで、第2次菊川市茶業振興計画が完成し、市茶業施策の方向性を示すことができた。また、進捗管理を行ったことで事業の円滑な推進が図られた。																
事業課題	第2次菊川市茶業振興計画が策定され、新たな指標を目標に茶業審議会・茶業振興計画検討委員会を今後開催するにあたり、行政やJA、茶商など茶業関係者と一体となって取り組むことが必須であり、一体感をどのようにまとめていくかが課題である。																
事業コスト分析	事業の概要																
	事業の目的																
	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称											
		6	1	3	1600000	農業振興総務費(茶業振興課)											
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
		639,000		4,844,000		4,205,000	758.1%		0	0	0	0	4,844,000				
		事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度										
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳											
		予算額	546,000	639,000	4,844,000	節	決算額	節	決算額								
		決算額	536,960	623,960	4,819,000	01	報酬	168,000	16	公有財産購入費	0						
	不用額	9,040	15,040	25,000	02	給料	0	17	備品購入費	0							
	執行率	98.3%	97.6%	99.5%	03	職員手当等	0	18	負担金、補助及び交付金	480,000							
	国庫支出金	0	0	0	04	共済費	0	19	扶助費	0							
	県支出金	0	0	0	05	災害補償費	0	20	貸付金	0							
	地方債	0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0							
	その他	0	0	300,000	07	報償費	27,000	22	償還金、料子及び割引料	0							
	一般財源	536,960	623,960	4,519,000	08	旅費	14,240	23	投資及び出資金	0							
	前年比較	—	—	116.2%	D	724.2%	D	09	交際費	0	24	積立金	0				
	職員人件費	0	1,090,000	1,893,000	10	需用費	6,960	25	寄附金	0							
	総事業コスト	536,960	1,713,960	6,712,000	11	役務費	0	26	公課費	0							
	前年比較	—	—	319.2%	D	391.6%	D	12	委託料	4,122,800	27	繰出金	0				
	主財源	企業版ふるさと納税		300,000	13	使用料及び賃借料	0		予備費	0							
					14	工事請負費	0										
					15	原材料費	0	合計	4,819,000								
コスト分析	第2次菊川市茶業振興計画が策定され、取組指標を目標に進捗状況など検討を行うことは今後も必要である。																
指標・実施内容	事業指標・評価																
	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値				
				年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価				
	成果1	茶業審議会の開催回数	回	1.0	3.0	0.0	0.0	3.0	2.0	3.0	4.0						
				1	7			66.7%	D	133.3%	S						
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
				0	0												
	効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
				0	0												
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,090.0	0.0	0.0						
			0	0													
事業実施内容	茶業審議会及び茶業振興計画検討委員会の開催と世界緑茶会への支援 茶業審議会委員報酬 茶業審議会 4回(R4.5/25・8/22・11/22・R5.3/20) 茶業振興計画検討委員報酬 茶業振興計画検討委員会 3回(R4.7/4・9/9・R5.3/13) 普通旅費 小谷村でのPRや農林水産省へのGI登録関連出張 消耗品費 月刊誌「茶」12冊購入 茶業振興計画策定委託料 委託先: ㈱フジヤマ 計画作成部数(本冊410冊、概要版1,000部) 世界緑茶協会負担金 海外への茶普及や輸出促進等を行なう協会へ負担金支出																
各評価結果	事業コスト評価 一般財源 724.2% D 総事業コスト 391.6% D 指標評価 1 S 2 1 1 効率 1 1 人件費 1 1 必要性 4: 高い										事業内容評価 評価視点 4: 高い 4: 高い 4: 高い			評価内容 A 現状維持 計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」		総合判定評価 B 事業の進め方の改善の検討 R6年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方	
担当評価	第2次菊川市茶業振興計画策定に向け、茶業審議会、茶業振興計画検討委員会他各部会の開催を行い、意見集約し計画の策定できた。																
加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 計画の主要な取組みについてアクションプランを作成し、茶業審議会・茶業振興計画検討委員会を交えた行政やJA、茶商など茶業関係者と一体となって取り組む。																
実行計画事業(円)	R5年度 実施内容																
	款	項	目	事業番号	事業名称												
	6	1	3	1600000	農業振興総務費(茶業振興課)												
	予算額		前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	805,000		△ 4,039,000		16.6%			0	0	0	0	805,000					
	・茶業審議会の開催 ・茶業振興計画検討委員会の開催 ・茶園集積整備、茶工場再編及び有機栽培及び国外輸出への協議会設置及び支援 ・世界緑茶協会への支援																
	下期実施内容変更見込み																
	計画額		前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	978,000		173,000		121.5%			0	0	0	0	978,000					
	・茶業審議会の開催 ・茶業振興計画検討委員会の開催 ・茶園集積整備、茶工場再編及び有機栽培及び国外輸出への協議会設置及び支援 ・世界緑茶協会への支援																
R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み																	
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 菊川市の茶業振興を進めるうえで、基本となる重要な計画であり、本事業の実施は妥当である。																	

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	茶業振興課	担当係	重点事業	○																																																																																																																											
R4	事業名	茶業振興事業																																																																																																																																
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち						事業成果																																																																																																																										
	政策	2 活力と魅力のある茶のまちづくり							事業課題																																																																																																																									
	施策	2 茶の消費拡大を図ります																																																																																																																																
	事業の目的	茶の消費を拡大するため、茶業振興事業により、茶の魅力発信や交流事業を実施し、消費拡大を推進することにより、地域産業の活性化を図る。		菊川茶の宣伝及び消費拡大事業等を実践し、茶業の安定及び発展を図ることを目的とした、菊川市茶業協会への負担金。また、菊川茶の宣伝や、県内外消費者を招き茶産地からの情報発信を行うグリーンツーリズム事業を実施する。																																																																																																																														
事業の概要	<p>各評価結果</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">事業コスト評価</th> <th colspan="2">指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> <th colspan="2">総合判定評価</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> <td>成果</td> <td>1</td> <td>B</td> <td>評価視点</td> <td colspan="2">評価内容</td> <td rowspan="2">A</td> <td rowspan="2">計画どおりに事業を進めることが適当</td> </tr> <tr> <td>95.0%</td> <td>B</td> <td>効率</td> <td>2</td> <td></td> <td>効率性</td> <td>4:高い</td> <td>A</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td></td> <td>効率</td> <td>1</td> <td>S</td> <td>有効性</td> <td>4:高い</td> <td colspan="2">計画の進捗と成果に近い状態⇔計画通り</td> <td>R6年度の方向性</td> </tr> <tr> <td>85.7%</td> <td>A</td> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td>必要性</td> <td>4:高い</td> <td colspan="2"></td> <td>コスト 維持→ 成果 維持→</td> </tr> </table> <p>担当評価</p> <p>新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、県外・市外在住者を対象とした交流事業の実施を8回実施した。事業の必要性は高い。</p>							事業コスト評価				指標評価		事業内容評価		総合判定評価		一般財源		成果	1	B	評価視点	評価内容		A	計画どおりに事業を進めることが適当	95.0%	B	効率	2		効率性	4:高い	A	現状維持	総事業コスト		効率	1	S	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔計画通り		R6年度の方向性	85.7%	A	人件費			必要性	4:高い			コスト 維持→ 成果 維持→																																																																										
事業コスト評価				指標評価		事業内容評価		総合判定評価																																																																																																																										
一般財源		成果	1	B	評価視点	評価内容		A	計画どおりに事業を進めることが適当																																																																																																																									
95.0%	B	効率	2		効率性	4:高い	A			現状維持																																																																																																																								
総事業コスト		効率	1	S	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔計画通り		R6年度の方向性																																																																																																																									
85.7%	A	人件費			必要性	4:高い			コスト 維持→ 成果 維持→																																																																																																																									
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																												
		6	1	3	1500000	茶業振興費																																																																																																																												
		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																					
		14,416,000		12,354,000		△ 2,062,000	85.7%	内訳	130,000	0	0	0	12,224,000																																																																																																																					
		事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																											
		項目			R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳																																																																																																																										
		予算額			12,182,000	14,416,000	12,354,000	節	決算額	節	決算額																																																																																																																							
		決算額			11,633,394	12,969,521	12,046,362	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0																																																																																																																							
		不用額			548,606	1,446,479	307,638	02 給料	0	17 備品購入費	0																																																																																																																							
		執行率			95.5%	90.0%	97.5%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	10,314,888																																																																																																																							
CHECK評価	決算(円)	財源内訳	国庫支出金	0	425,612	130,701	04 共済費	0	19 扶助費	0																																																																																																																								
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0																																																																																																																									
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0																																																																																																																									
		その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0																																																																																																																									
		一般財源	11,633,394	12,543,909	11,915,661	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0																																																																																																																									
		前年比較	—	—	107.8% D	95.0% B	09 交際費	0	24 積立金	0																																																																																																																								
		職員人件費	0	2,728,000	1,407,000	10 需用費	534,575	25 寄附金	0																																																																																																																									
		総事業コスト	11,633,394	15,697,521	13,453,362	11 役務費	0	26 公課費	0																																																																																																																									
		前年比較	—	—	134.9% D	85.7% A	12 委託料	1,176,901	27 繰出金	0																																																																																																																								
		主財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		130,701	13 使用料及び賃借料	19,998	予備費	0																																																																																																																									
					14 工事請負費	0																																																																																																																												
					15 原材料費	0	合計	12,046,362																																																																																																																										
	コスト分析	今後も、菊川茶の振興を行ううえで宣伝及び消費拡大事業等を継続的に実施していく必要がある。あわせて、計画的に事業を実施できるよう茶の振興事業予算の財源確保が必要である。																																																																																																																																
CHECK評価	指標評価	事業指標・評価				R2年度		R3年度		R4年度																																																																																																																								
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	達成率	評価																																																																																																																					
		成果1	グリーンツーリズム市外参加者数	人	568.0	700.0	0.0	62.0	700.0	244.0	700.0	723.0																																																																																																																						
					1	7			34.9%	E	103.3%	B																																																																																																																						
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																						
					0	0																																																																																																																												
		効率1	グリーンツーリズム市外参加者一人当たりのコスト	千円/人	1.3	0.7	0.0	5.0	0.7	0.2	0.7	0.1																																																																																																																						
					1	7	0.0%	D	355.0%	S	1014.3%	S																																																																																																																						
		効率	人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																						
					0	0																																																																																																																												
	事業実施内容	<p>※菊川市茶業協会委託 給茶機設置やグリーンツーリズム事業等により菊川茶のPRを実施した。 ・消耗品費 給茶機設置に伴う紙コップ、専用カートリッジ等を購入した。 ・食糧費 給茶機用茶葉を市内生産者やJAから購入した。(菊川茶・べにふうき) ※茶消費拡大事業委託料 市が宣伝のため会議や訪問時に渡す贈答茶の管理・提供 93件 696品 ・給茶機管理委託料 消耗部品交換及びメンテナンス(随時)保守点検(1回/年) ※茶交流促進事業委託料 グリーンツーリズム事業を8回開催した。(交流人口1,341人) ※(臨)茶交流促進事業委託料 グリーンツーリズム事業を1回開催した。(交流人口43人) ・給茶機借上料 給茶機をリースした。(12ヶ月) ・茶業協会負担金茶業協会事業費(3,000千円)及び茶業協会職員人件費(約7,315千円)</p>																																																																																																																																
	実施内容	<p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <p>グリーンツーリズム事業の実施主体を、市・協会主導で行う以外に生産者側が自ら事業を実施する取り組みとともに、GIを前面に出した展開をしていく。</p>																																																																																																																																
	実施内容	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th colspan="8">事業名称</th> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1500000</td> <td colspan="8">茶業振興費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td>前年増減額</td> <td>前年比</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>県支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td>一般財源</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">13,571,000</td> <td>1,217,000</td> <td>109.9%</td> <td>内訳</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>13,571,000</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R5年度</td> <td rowspan="2">実施内容</td> <td colspan="9"> <ul style="list-style-type: none"> ・菊川市茶業協会への支援 ・菊川茶消費拡大事業(菊川茶宣伝事業、ペットボトルPR、給茶機設置) ・茶交流促進(グリーンツーリズム)事業委託 </td> <td colspan="2">下期実施内容変更見込み</td> </tr> <tr> <td colspan="11"> <table border="1"> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>12,118,000</td> <td>△ 1,453,000</td> <td>89.3%</td> <td>内訳</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12,118,000</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R6年度</td> <td rowspan="2">実施内容</td> <td colspan="9"> <ul style="list-style-type: none"> ・菊川市茶業協会への支援 ・菊川茶消費拡大事業(菊川茶宣伝事業、ペットボトルPR、給茶機設置) ・茶交流促進(グリーンツーリズム)事業委託 </td> <td colspan="2">R5年度比較増減要因</td> </tr> <tr> <td colspan="11"> <p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>県外、市外在住者を対象とした交流事業を行い、市の自然環境や住環境、菊川茶を始めとする特産品・名物商品を紹介することにより、交流人口の増加を図ることができる。よって、本事業の実施は妥当である。</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>											款	項	目	事業番号	事業名称								6	1	3	1500000	茶業振興費								予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			13,571,000		1,217,000	109.9%	内訳	0	0	0	0	13,571,000			R5年度	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市茶業協会への支援 ・菊川茶消費拡大事業(菊川茶宣伝事業、ペットボトルPR、給茶機設置) ・茶交流促進(グリーンツーリズム)事業委託 									下期実施内容変更見込み		<table border="1"> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>12,118,000</td> <td>△ 1,453,000</td> <td>89.3%</td> <td>内訳</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12,118,000</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R6年度</td> <td rowspan="2">実施内容</td> <td colspan="9"> <ul style="list-style-type: none"> ・菊川市茶業協会への支援 ・菊川茶消費拡大事業(菊川茶宣伝事業、ペットボトルPR、給茶機設置) ・茶交流促進(グリーンツーリズム)事業委託 </td> <td colspan="2">R5年度比較増減要因</td> </tr> <tr> <td colspan="11"> <p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>県外、市外在住者を対象とした交流事業を行い、市の自然環境や住環境、菊川茶を始めとする特産品・名物商品を紹介することにより、交流人口の増加を図ることができる。よって、本事業の実施は妥当である。</p> </td> </tr> </table>											計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			12,118,000	△ 1,453,000	89.3%	内訳	0	0	0	0	12,118,000			R6年度	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市茶業協会への支援 ・菊川茶消費拡大事業(菊川茶宣伝事業、ペットボトルPR、給茶機設置) ・茶交流促進(グリーンツーリズム)事業委託 									R5年度比較増減要因		<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>県外、市外在住者を対象とした交流事業を行い、市の自然環境や住環境、菊川茶を始めとする特産品・名物商品を紹介することにより、交流人口の増加を図ることができる。よって、本事業の実施は妥当である。</p>										
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																														
6	1	3	1500000	茶業振興費																																																																																																																														
予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																									
13,571,000		1,217,000	109.9%	内訳	0	0	0	0	13,571,000																																																																																																																									
R5年度	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市茶業協会への支援 ・菊川茶消費拡大事業(菊川茶宣伝事業、ペットボトルPR、給茶機設置) ・茶交流促進(グリーンツーリズム)事業委託 									下期実施内容変更見込み																																																																																																																							
		<table border="1"> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td>12,118,000</td> <td>△ 1,453,000</td> <td>89.3%</td> <td>内訳</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12,118,000</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R6年度</td> <td rowspan="2">実施内容</td> <td colspan="9"> <ul style="list-style-type: none"> ・菊川市茶業協会への支援 ・菊川茶消費拡大事業(菊川茶宣伝事業、ペットボトルPR、給茶機設置) ・茶交流促進(グリーンツーリズム)事業委託 </td> <td colspan="2">R5年度比較増減要因</td> </tr> <tr> <td colspan="11"> <p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>県外、市外在住者を対象とした交流事業を行い、市の自然環境や住環境、菊川茶を始めとする特産品・名物商品を紹介することにより、交流人口の増加を図ることができる。よって、本事業の実施は妥当である。</p> </td> </tr> </table>											計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			12,118,000	△ 1,453,000	89.3%	内訳	0	0	0	0	12,118,000			R6年度	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市茶業協会への支援 ・菊川茶消費拡大事業(菊川茶宣伝事業、ペットボトルPR、給茶機設置) ・茶交流促進(グリーンツーリズム)事業委託 									R5年度比較増減要因		<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>県外、市外在住者を対象とした交流事業を行い、市の自然環境や住環境、菊川茶を始めとする特産品・名物商品を紹介することにより、交流人口の増加を図ることができる。よって、本事業の実施は妥当である。</p>																																																																																		
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																										
12,118,000	△ 1,453,000	89.3%	内訳	0	0	0	0	12,118,000																																																																																																																										
R6年度	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市茶業協会への支援 ・菊川茶消費拡大事業(菊川茶宣伝事業、ペットボトルPR、給茶機設置) ・茶交流促進(グリーンツーリズム)事業委託 									R5年度比較増減要因																																																																																																																							
		<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>県外、市外在住者を対象とした交流事業を行い、市の自然環境や住環境、菊川茶を始めとする特産品・名物商品を紹介することにより、交流人口の増加を図ることができる。よって、本事業の実施は妥当である。</p>																																																																																																																																

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	茶業振興課	担当係	重点事業	○					
R4	事業名	農業経営基盤強化推進事業(茶業振興課)										
総合計画	体系・概要	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち									
	政策	2 活力と魅力のある茶のまちづくり										
	施策	2 茶の消費拡大を図ります										
	事業の目的	茶の消費拡大を図るため、農業経営基盤強化推進事業(茶業振興課)により、経営規模の拡大や経営の多角化を支援することにより、茶業経営の経営基盤の強化を図る。		事業の概要			国や県の補助制度を活用し、経営規模の拡大や経営の多角化を図る取組み等を支援する。					
事業コスト分析	決算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称						
		6	1	3	2100000	農業経営基盤強化推進費(茶業振興課)						
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		408,832,000	5,504,000	△ 403,328,000	1.3%		0	5,504,000	0	0	0	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	403,945,000	408,832,000	5,504,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	0	403,327,000	5,200,000	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	403,945,000	5,505,000	304,000	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	0.0%	98.7%	94.5%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	5,200,000			
国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0					
県支出金	0	0	5,200,000	05 災害補償費	0	20 貸付金	0					
地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0					
その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0					
一般財源	0	403,327,000	0	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0					
前年比較	—	—	0.0%	A	09 交際費	0	24 積立金	0				
職員人件費	0	0	214,000	10 需用費	0	25 寄附金	0					
総事業コスト	0	403,327,000	5,414,000	11 役務費	0	26 公課費	0					
前年比較	—	—	1.3%	A	12 委託料	0	27 繰出金	0				
主財源	強い農業・担い手づくり総合支援交付金			5,200,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0				
コスト分析	国・県等が実施する事業を活用し、生産者が実施する機械・施設等の導入に対し今後も支援する必要があるため、財源確保が今後も必要である。											
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度				
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
		成果1	国庫補助事業活用件数	件	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	1.0
					1	4					33.3%	D
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					0	0						
		効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					0	0						
		効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					0	0						
事業実施内容	強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業(担い手確保・経営強化支援事業) (株)美緑園 乗用型茶摘採機等購入 国庫補助事業補助金関係事務手続き ・令和4年4月1日:年度終了実績報告 ・令和4年7月29日:交付金変更申請 ・令和4年8月4日:変更交付決定 ・令和4年9月22日:事業完成検査 ・令和4年10月11日:支払請求 ・令和4年11月4日:交付金事業実績報告書提出											
CHECK評価	CHECK評価	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明										
		課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性										
		事業の実施にあたり、事業主体(生産者)が事業計画に沿って今後取組みを行うための確認や支援を継続して行っていく。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		R6年度の方向性										
		コスト	改善	拡充↑	成果	拡充↑	①事業の進め方					
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
CHECK評価	CHECK評価	事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										
		事業を実施したことで、乗用型茶摘採機により茶園の集積を進め面積拡大を今後図ることが可能となった。										

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	茶業振興課	担当係	重点事業							
R4	事業名	茶文化継承事業											
総合計画	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち											
	政策	2 活力と魅力のある茶のまちづくり											
	施策	3 茶文化を継承します											
	事業の目的	茶文化を継承するため、茶文化継承事業により、「静岡の茶草場農法」のPRや小学生への茶業学習、市内外の人との交流を推進し、若年層への緑茶普及等を継続的に実施することで、歴史と緑豊かな茶園景観、茶文化の継承を図る。		事業の概要 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」を推進し、本農法によりつくられたお茶のPRを実施する。併せて、教育ツアー事業の体制整備を実施する。また、小学生への茶業学習や市内外の人を対象としたお茶の淹れ方教室を実施する。									
事業成果	事業課題 小学生への茶業学習や出前行政講座の実施及び「静岡の茶草場農法」推進協議会への負担金を支出したことにより、茶文化の継承や「静岡の茶草場農法」のPRが図られ、菊川茶の魅力と重要性の周知が広く図られた。												
	お茶の淹れ方教室を通じ、菊川茶文化継承に繋げる必要性はあるが、対象年齢を柔軟に変更するなど、継承に繋がる効果的な事業にしていく必要がある。												
	各評価結果												
	事業コスト評価				指標評価		事業内容評価		総合判定評価				
	一般財源		D		成果		1 S		B 事業の進め方の改善の検討				
	109.1%		D		2		効率性 4:高い		A 現状維持				
	総事業コスト		D		効率		1 E		R6年度の方向性				
	129.7%		D		1		有効性 4:高い		コスト 縮小↓ 成果 維持→				
					2		必要性 4:高い		R6年度の方向性				
					人件費				①事業の進め方				
担当評価 お茶の淹れ方教室を実施したことにより、お茶の魅力など茶文化の継承が図られた。今後も継続していくことで、菊川茶文化継承が図られるため事業の必要性は高い。													
事業コスト分析	予算(円)												
	款	項	目	事業番号	事業名称								
	6	1	3	2000000	茶文化継承事業費								
	R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,552,000		1,715,000		163,000	110.5%		0	0	0	1,166,000	549,000	
	事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度							
	項目		R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳							
	予算額		1,678,000	1,552,000	1,715,000	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0				
	決算額		1,672,806	1,551,550	1,680,180	02 給料	0	17 備品購入費	0				
	不用額		5,194	450	34,820	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	360,000				
執行率		99.7%	100.0%	98.0%	04 共済費	0	19 扶助費	0					
CHECK評価	決算(円)												
	国庫支出金		1,210,000	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0				
	県支出金		0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0				
	地方債		0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0				
	その他		0	1,049,950	1,133,000	08 旅費	39,580	23 投資及び出資金	0				
	一般財源		462,806	501,600	547,180	09 交際費	0	24 積立金	0				
	前年比較		—	—	108.4% D	109.1% D	10 需用費	0	25 寄附金	0			
	職員人件費		0	754,000	1,309,000	11 役務費	0	26 公課費	0				
	総事業コスト		1,672,806	2,305,550	2,989,180	12 委託料	1,280,600	27 繰出金	0				
	前年比較		—	—	137.8% D	129.7% D	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0			
主財源		市町村振興協会地域づくり推進事業費助成金		1,133,000	14 工事請負費	0							
コスト分析		お茶の魅力など茶文化の継承が今後も必要であり、継続していくことで菊川茶文化継承が図られるため事業の必要は高いため事業実施ができるよう財源確保が必要である。											
CHECK評価	R5年度 実施内容												
	款	項	目	事業番号	事業名称								
	6	1	3	2000000	茶文化継承事業費								
	予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	849,000		△ 866,000	49.5%		0	0	0	0	849,000			
	・世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会への支援 ・茶草場農法PR実施に関する費用 ・教育ツアー事業委託 ・お茶の淹れ方事業委託						下期実施内容変更見込み						
	R6年度 実施内容												
	計画額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	1,640,000		791,000	193.2%		0	0	0	0	1,640,000			
	・世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会への支援 ・茶草場農法PR実施に関する費用 ・お茶の淹れ方事業委託						R5年度比較増減要因 R7年度増減見込み						
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明													
お茶の淹れ方教室を通じ、菊川茶文化を継承する本事業の実施は妥当である。													
指標・実施内容	事業指標・評価												
	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
				年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価		
	成果1	お茶の淹れ方教室実施(単年度実施回数)		21.0	16.0	0.0	9.0	16.0	6.0	16.0	27.0		
				1	7			37.5%	E	168.8%	S		
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
				0	0								
	効率1	お茶の淹れ方教室実施一回当たりのコスト	千円/回	7.0	9.0	0.0	12.0	9.4	0.0	9.0	0.0		
				1	7			0.0%	E	0.0%	E		
	効率	人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
			0	0									
事業実施内容 ※菊川市茶業協会委託 お茶の淹れ方教室や茶草場農法の推進により、茶文化の普及と継承を行った。 ・普通旅費 茶草場農法幹事会出席(静岡) ・パートタイム職員旅費分 茶草場農法イベント参加(東京都) ※お茶の淹れ方教室事業委託料 小学校対象:12回実施、出前行政講座等:10回実施 ・教育ツアー事業委託料 事業内容検討及びワークブック100冊、チラシ500部作成 ・世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会負担金 茶草場農法の推進、PRをする協議会への負担金支出													